
年 報

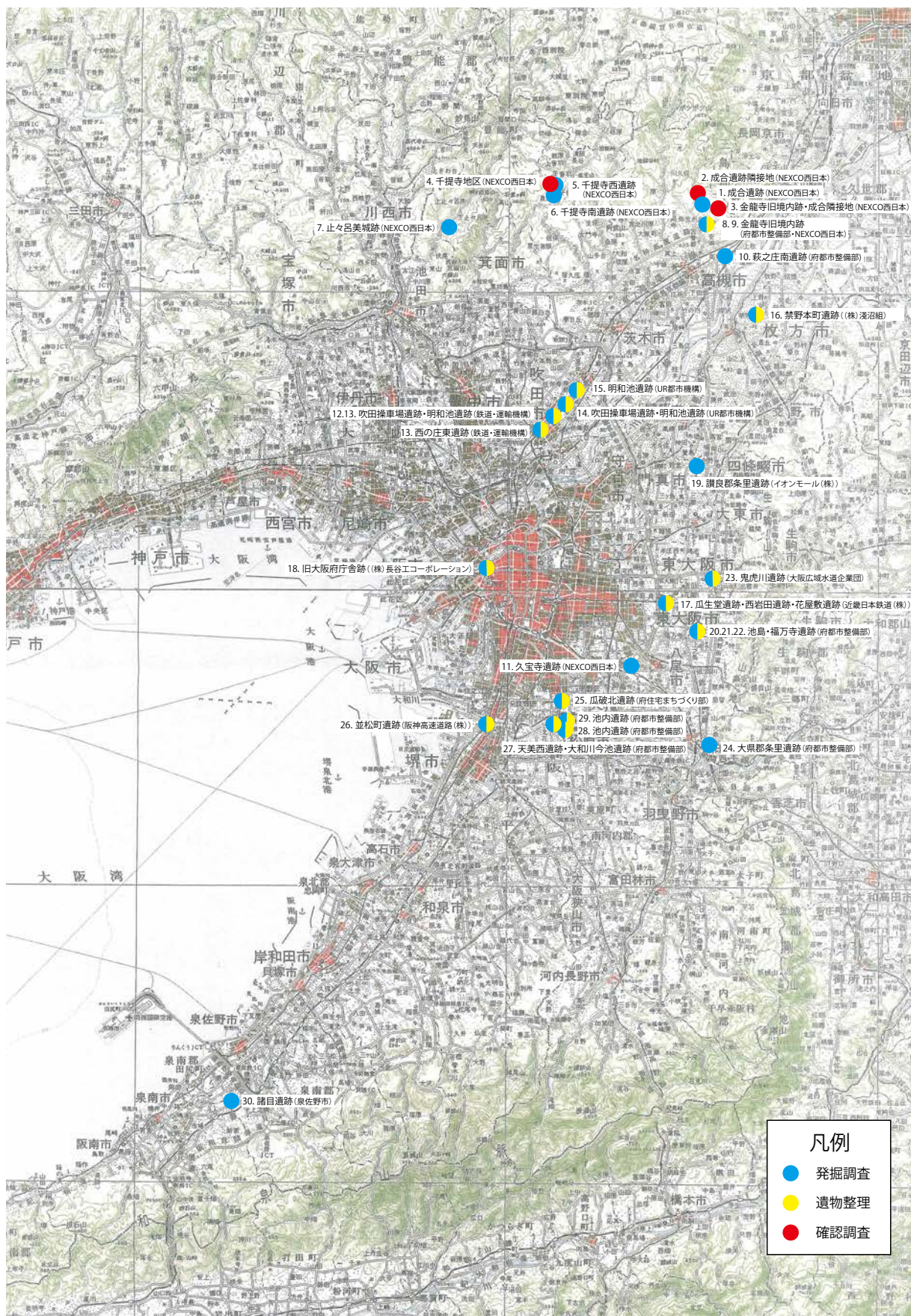
平成 23 年度



公益財団法人 大阪府文化財センター



旧大阪府庁舎跡検出遺構（上：階段 下：暖炉）



平成 23 年度調査事業実施位置図

(地図は国土地理院平成 11 年 8 月 1 日発行 1/20 万 京都および大阪、和歌山を縮小した)

11 資料貸出	58	8 サービス事業	70
12 研究事業	58	(1) 開館時間の変更	70
(1) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所、 大阪府教育委員会との連携	58	(2) 特別開館日の設定	70
(2) 海外の研究者との学術交流	58	(3) マーケットリサーチの実施	70
13 資料製作事業	59	(4) ミュージアムスタッフの人材育成研修	70
14 サービス事業	59	(5) 設備の更新等	70
(1) アンケート調査の実施	59	9 入館者数および入館料収入	71
(2) 音声ガイド	59		
(3) 館内紹介ビデオ・DVD	59	VII 日本民家集落博物館事業	72
(4) 設備	59		
15 自主事業	60	1 展示事業	72
(1) ミュージアムショップの整備	60	(1) 常設展示	72
16 入館者数および入館料収入	60	(2) 市民展示	72
		(3) 文化庁地域伝統文化総合活性化事業に関わる展示	73
VI 大阪府立近つ飛鳥博物館事業	61	(4) 企画展示「岩手県・南部地方の民家と暮らし2」	73
1 常設展示	61	(5) 特別展示「昔の暮らし」	73
(1) 常設展示	61	2 各種催し開催事業	74
2 特展企画展事業	61	(1) 季節行事	74
(1) 春季特別展「倭人と文字の出会い」	61	(2) 参加体験型事業	74
(2) 夏季企画展「動物大百科―出土品から さぐる動物とのかかわり―」	61	(3) 展示民家を活用しての催し	75
(3) 秋季特別展「百舌鳥・古市の陵墓古墳 ―巨大前方後円墳の実像―」	62	(4) 特別企画事業	76
(4) 冬季特別展「歴史発掘おおさか 2011 ―大阪府発掘調査最新情報―」	62	3 普及啓発事業	77
3 その他展示事業	62	(1) 民家解説等の開催	77
(1) スポット展示	62	(2) 囲炉裏体験	77
4 普及啓発事業	62	(3) 古民家再生協会との連携	77
(1) 歴史セミナー、シンポジウム及び解説トークの実施	63	(4) 連続講座	77
(2) 近つ飛鳥入門講座	65	(5) 企画展関連イベント「岩手県早池峰神楽」	78
(3) 土曜講座	65	4 学校教育連携事業	78
(4) アウトリーチ（出前授業）	65	(1) 大学博物館実習	78
(5) 古墳の森コンサート	66	(2) 中学生の職場体験学習	78
(6) 体験学習	66	(3) こども囲碁クラブ	78
(7) こどもファーストデイ・こども博物館探検ツアー・こども古墳探検ツアー	66	(4) みんな伝統文化体験教室	78
(8) こども一日館長	67	(5) 小学校の体験学習	78
(9) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」	67	(6) みんな子ども絵画教室	79
(10) 校外学習の受入れ（ワークショップ）	67	5 ボランティア受入活動事業	79
(11) 大学生・高校生・中学生のインターンシップ	67	6 施設整備事業	79
(12) 大学生博物館実習及び大学実習	67	(1) 土間たたき保存修理工事	79
(13) 教員の研修、研究団体の受け入れ	67	(朝日新聞文化財団文化財保護助成事業)	
(14) 「どこでも博物館」事業	67	(2) 危険高木の伐採	79
(15) 開会式の実施	68	(3) 施設案内表示板の刷新	79
(16) 「桜まつり」の実施	68	7 広報事業	79
(17) 近つ飛鳥ギャラリー	68	(1) 広報リーフレットの作成	79
5 広報出版事業	69	(2) インターネットによる広報	80
(1) 広報事業	69	(3) DVD・ビデオによる広報	80
(2) 出版事業	69	(4) 諸団体との連携	80
6 研究事業	69	(5) 資料の作成・頒布	80
(1) 他博物館連携との研究活動	69	8 資料収集・研究事業	80
(2) 海外研究者との学術交流	70	9 入館者数及び入館料収入一覧表	81
7 資料調査収集事業	70		
(1) 図書購入	70	事業所一覧	
(2) 資料の修理・保存処理	70		

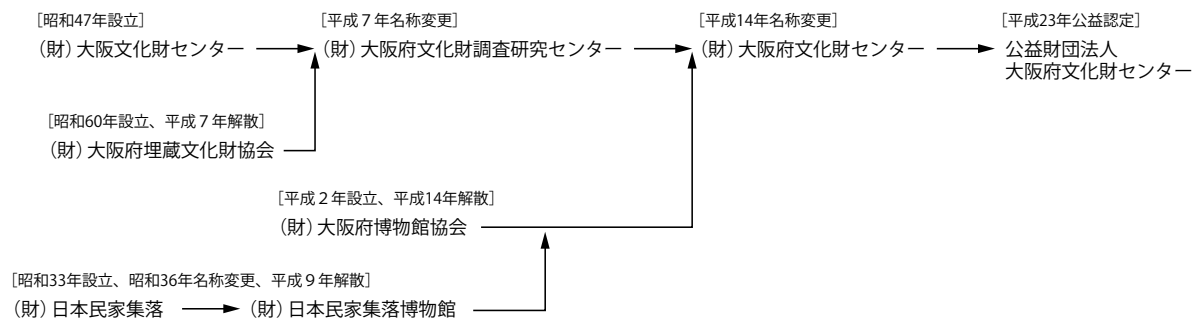
I 公益財団法人大阪府文化財センター沿革と機構

1 沿革

1970年代、高度経済成長によって急速に開発行為が増大、これに伴い自然環境や歴史的景観が大きく変貌することとなった。このようななか、大規模開発に伴う発掘調査に対応し、文化財を後世に伝えることを目的として、当財団は昭和47年11月、財団法人大阪文化財センターとしてその産声をあげた。

爾来、大阪府の埋蔵文化財行政の一翼を担い、埋蔵文化財の発掘調査のみならず様々な事業を展開し、現在までに40年の道のりを歩んできた。その間、平成7年には関西国際空港建設事業に関連して設立された財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、財団法人大阪府文化財調査研究センターに名称変更、さらには平成14年には財団法人大阪府博物館協会と統合し、新たに財団法人大阪府文化財センターとなった。

そして、平成23年4月、当財団は文化財の調査・研究・保存・公開展示及び普及啓発をより一層推進するために公益認定を受け、公益財団法人大阪府文化財センターとして新たなスタートを切った。



昭和 47 . 11 . 28	・ 大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
48 . 1 . 10	・ 事務所を大阪市東区大手前之町 5-1 番地大阪府庁分館 1 号館内に設置。職員 3 名により事務、普及啓発、遺物整理、分布試掘調査を分担。 第二阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
48 . 4 . 1	・ 事務局を設置（職員数 12 名）。
48 . 5 . 25	・ 第 1 回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
48 . 9 . 1	・ 事務所を大阪府庁分館 3 号館内に移転。
51 . 7 . 26	・ 近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
51 . 9 . 7	・ 事務所を大阪市城東区蒲生 2 丁目 10 番 28 号大阪府城東庁舎内に移転。
55 . 8 . 19	・ 全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
57 . 11 . 27	・ 財団法人大阪文化財センター設立 10 周年記念式典を開催。
58 . 9 . 1	・ 近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
59 . 6 . 1	・ 都市計画道路と近畿自動車道と歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
60 . 4 . 1	・ 財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
61 . 2 . 28	・ 近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業（写真パネル展、講演会、映画会）を開催。
～ 3 . 4	
平成 元 . 4 . 1	・ 都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道と歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。 ・ 大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。

	2 . 4 . 1	・ 大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
	2 . 9 . 1	・ 財団法人大阪府博物館協会設立。
	3 . 3 . 1	・ 大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
	4 . 11 . 27	・ 財団法人大阪文化財センター設立 20 周年記念式典を開催。
平成	7 . 4 . 1	・ 財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、財団法人大阪府文化財調査研究センターと名称変更。
		・ 本部事務所を大阪市城東区蒲生 2 丁目 11 番 3 号小森ビル内に設置。新たに北部調査事務所を茨木市横江 1 丁目 17 番 34 号に開設。旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調査事務所とし、旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所を南部調査事務所とする。
		・ 組織の改正により、総務部、調査部の 2 部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、調査部に調整課及び北部、中部、南部の 3 調査事務所を置く。
	7 . 10 . 3	・ 史跡整備事業に初めて着手（池上曾根遺跡）。
	7 . 12 . 15	・ 南部調査事務所を堺市熊野町西 1 丁 2 番 22 号に移転。
	8 . 6 . 6	・ 全国埋蔵文化財法人連絡協議会の会長に選任される。
	8 . 9 . 30	・ 北部調査事務所を箕面市今宮 3 丁目 19 番 2 号に移転。
	9 . 2 . 12	・ 泉佐野収蔵庫竣工。
	9 . 3 . 31	・ 泉ヶ丘資料室（堺市竹城台 3 丁 21 番 4 号）竣工。
	10 . 1 . 12	・ 南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市 軽里 3 丁目 1 番 13 号に開設。
	10 . 3 . 31	・ 南部調査事務所泉北分室を閉鎖。
	12 . 8 . 21	・ 本部事務所を 堺市竹城台 3 丁 21 番 4 号に移転する。
	13 . 2 . 1	・ 南部調査事務所を 堺市南田出井町 1 丁 1 番 10 号に移転する。
	13 . 10 . 31	・ 泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
	14 . 4 . 1	・ 財団法人大阪府博物館協会と統合し、財団法人大阪府文化財センターに名称変更。
		・ 組織の改正により、総務部、調査部、普及部の 3 部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の 3 博物館部を置く。
		・ 日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
	14 . 11 . 1	・ 泉佐野収蔵庫（市に移管した収蔵庫の北西隣接地に）竣工。
	15 . 3 . 31	・ 北部調査事務所を閉鎖。
	15 . 4 . 1	・ 第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝 1 丁目 1 番 15 号に開設、京阪支所交野分室を交野市藤が丘 1 丁目 2 に開設。
	16 . 4 . 1	・ 京阪支所を京阪調査事務所に、中部調査事務所池島分室を池島支所に名称変更。
	18 . 1 . 31	・ 泉佐野第二収蔵庫を泉佐野市高松西 2 丁目に竣工。
	18 . 4 . 1	・ 大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘の管理運営を指定管理者として受託。
	19 . 4 . 1	・ 京阪調査事務所交野分室を京阪調査事務所に、京阪調査事務所整理棟を寝屋川分室に名称変更。京阪調査事務所門真分室を門真市岸和田 2 丁目 5 番 32 号に開設。
	20 . 4 . 1	・ 組織の改正により、総務部を総務企画部に改め、普及部を廃止し、調査部に資料活用課を置く。
	20 . 7 . 31	・ 京阪調査事務所門真分室を閉鎖。
	21 . 3 . 31	・ 京阪調査事務所寝屋川分室を閉鎖。
	21 . 4 . 1	・ 組織の改正により、調査事務所及び係制を廃止。総務企画課に総務企画グループを置く。調整課を廃止して調査課を置き、調査課に調整グループ及び調査グループを置く（各調査事務所、分室、支所は施設名とする）。本部事務所に南部調査事務所を併設。
	21 . 5 . 31	・ 古市分室を閉鎖。
	23 . 3 . 31	・ 京阪調査事務所を閉鎖。
	23 . 4 . 1	・ 大阪府より公益認定を受け、「公益財団法人 大阪府文化財センター」に名称変更。

2 概 要

(1) 目 的

大阪府下における文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用をおこない、大阪府の文化財の保護並びに文化財に対する理解と認識を深めることに寄与する。

(2) 事 業

設立趣旨に基づき次の事業をおこなう

- ① 埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究及び活用
- ② 史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
- ③ 有形・無形・民俗文化財の調査、保存、研究、整備及び活用
- ④ 文化財に関する資料、情報の収集及び管理
- ⑤ 文化財の普及啓発
- ⑥ 日本民家集落博物館の管理及び運営
- ⑦ 大阪府が設置する博物館の管理及び運営の受託
- ⑧ 大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理及び運営の受託
- ⑨ その他目的を達成するために必要な事業

(3) 出 資 者

財団法人大阪府博物館協会、大阪府、パナソニック株式会社、住吉大社、四天王寺、財団法人藤田美術館

(4) 基本財産

116,700 千円

(5) 機 構《施設所在地》

本部事務所	堺市南区竹城台 3 丁 21 番 4 号
中部調査事務所・資料室	東大阪市長田東 1 丁目 9 番 16 号
南部調査事務所	堺市南区竹城台 3 丁 21 番 4 号
中部調査事務所池島支所	八尾市福万寺町 8 丁目地先
高石収蔵庫	高石市綾園 4 丁目地先
岸和田収蔵庫	岸和田市磯上町 1 丁目地先
泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷（地内）
泉佐野第二収蔵庫	泉佐野市高松西 2 丁目 2430-1
大阪府立弥生文化博物館	和泉市池上町 4 丁目 8 番 27 号
大阪府立近つ飛鳥博物館	南河内郡河南町大字東山 299 番地
日本民家集落博物館	豊中市服部緑地 1 番 2 号

(6) 役員・評議員及び職員

a 役員

(平成24年3月31日 現在)

理 事 長	水野 正好	奈良大学文学部 名誉教授
専 務 理 事	山野 重和	公益財団法人大阪府文化財センター 事務局長
理 事	岡崎 尚喜 興津 厚志 金関 恕 坂井 秀弥 白石 太一郎 野口 雅昭 狭間 恵三子 濱元 博之 福永 伸哉 秋山 芳廣	堺市文化観光局 文化部長 大阪商工会議所人材開発部 次長 大阪企業家ミュージアム 事務局長 大阪府立弥生文化博物館 館長 奈良大学 教授 大阪府立近つ飛鳥博物館 館長 大阪府教育委員会事務局 文化財保護課長 サントリー株式会社大阪秘書室 課長 財団法人大阪観光コンベンション協会 情報発信担当部長 歴史街道推進協議会 メインルート事業部長 大阪大学 教授 公益財団法人大阪府文化財センター 総務企画課長
監 事	鳴澤 成泰 真川 正満	行政書士 公認会計士・税理士
顧 問	坪井 清足	財団法人元興寺文化財研究所 副理事長兼所長

b 評議員

(平成24年3月31日 現在)

池田 良治	弁護士
蔵口 康裕	あずさ監査法人大阪事務所 公認会計士
須藤 健一	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館 館長
高井 道弘	住吉大社 権宮司
竹林 弘美	大阪府都市教育長協議会 代表(藤井寺市教育委員会教育長)
田邊 征夫	前独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所所長
中西 正人	大阪府教育委員会 教育長
那谷 定彦	大阪府町村教育長会 会長(太子町教育委員会教育長)
南谷 恵敬	和宗総本山四天王寺 執事法務部長兼勸学部長

c 職 員

(平成24年3月31日 現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
事務局長兼日本民家集落博物館館長	山野 重和	主 査（南部総括）	西村 歩
総務企画部長	井上 忠	主 査	小野 久隆
総務企画課長	秋山 芳廣	主 査	中村 淳磯
総務企画グループ長	白橋 哲	主 査	井上 智博
総括学芸員（主査）	山城 統	副主査	川瀬 貴子
副主査	宮本 哲男	副主査	島崎 久恵
副主査	栗山 さよ子	技 師	河本 純一
嘱 託	酒井 則和	主 幹（新名神総括）	金光 正裕
専門事務員	川村 さおり	主 査	合田 幸美
専門事務員	中尾 明子	副主査	岡本 圭司
調査部調査課長	江浦 洋	副主査	信田 真美世
調整グループ長	岡本 茂史	副主査	伊藤 武
主 査	佐伯 博光	副主査	黒須 亜希子
主 査	亀井 聡	技 師	笹栗 拓
主 査	駒井 正明	技 師	永野 仁
主 査	後藤 信義	技 師	志田 真吾
副主査	中尾 智行	専門調査員	入江 正則
副主査	田淵 紀江	専門調査員	松本 吉弘
技 師	竹内 秀喜	弥生文化博物館副館長兼学芸課長	三好 孝一
調査グループ長	岡戸 哲紀	総括主任（副主査）	峠 美穂
主 査	山口 誠治	専門事務員	宮城 芳典
専門調査員	倉賀野 健	主任学芸員	塚本 浩司
副主査	河端 智	主任学芸員	正岡 大実
専門調査員	片山 彰一	教育専門員	山本 清
主 査（中部総括）	秋山 浩三	学芸員	角南 なつみ
主 査	陣内 暢子	学芸員	木野戸 直
副主査	本間 元樹	学芸員	柴田 妃三光
副主査	市村 慎太郎	近つ飛鳥博物館副館長兼学芸課長	市本 芳三
副主査	奥村 茂輝	企画管理課長	川中 秀樹
技 師	鹿野 塁	広報主任	松浦 暢久
技 師	奈良 拓弥	総括学芸員（主査）	森本 徹
技 師	新海 正博	総括学芸員（副主査）	廣瀬 時習
技 師	福佐 美智子	教育専門員	横山 幸子
専門調査員	水久保 祥子	学芸員	飯田 浩光
主 査（池島・福万寺総括）	森屋 美佐子	学芸員	関本 優美子
副主査	三宮 昌弘	学芸員	鈴 千夏
副主査	若林 幸子	日本民家集落博物館副館長	金田 真人
副主査	後川 恵太郎	総括学芸員（副主査）	小島 久美

d 機 構



Ⅱ 平成 23 年度の理事会・評議員会の開催及び決算

1 理事会及び評議員会

以下のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認又は可決された。

年月日	会議名称	場所	議案
平成23年6月7日	第1回理事会	公益財団法人大阪府文化財センター 1階講義室	1. 平成22年度事業報告及び収支決算について 2. 定時評議員会の招集事項について
平成23年6月16日	定時評議員会	公益財団法人大阪府文化財センター 1階講義室	1. 平成22年度事業報告及び収支決算について 2. 理事の選任について
平成23年10月19日	第2回理事会	大阪府立弥生文化博物館 1階ホール	1. 平成23年度補正予算書（案）について 2. 平成23年度事業の進捗について 3. 中期経営計画の作成について
平成24年1月18日	理事会	書面表決	1. 臨時評議員会の招集事項について
平成24年2月21日	臨時評議員会	大阪赤十字会館 4階401会議室	1. 理事の選任（案）について 2. 評議員の選任（案）について
平成24年3月22日	第3回理事会	公益財団法人大阪府文化財センター 1階講義室	1. 代表理事の選定について 2. 平成23年度第二次補正予算書（案）について 3. 平成24年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について

2 決 算

資金収支計算書 総括表
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

科目	公益目的事業会計			
	埋蔵文化財調査 事業会計	文化財資料活用 事業会計	弥生文化博物館 事業会計	近つ飛鳥博物館 事業会計
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	248,822	0	0	0
② 特定資産運用収入	16,610,128	207,411	0	0
③ 会費収入	0	0	0	0
④ 事業収入	930,898,455	11,848,026	129,754,286	141,526,057
⑤ 補助金等収入	0	15,407,000	0	0
⑥ 寄附金収入	0	1,150,000	0	0
⑦ 雑収入	446,254	1,491,644	52,993	50,954
⑧ 他会計からの繰入金収入	8,987,853	0	1,150,873	1,099,919
事業活動収入計	957,191,512	30,104,081	130,958,152	142,676,930
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	874,242,023	24,179,206	127,952,572	139,264,063
② 管理費支出	0	0	0	0
③ 他会計への繰入金支出	1,668,550	2,541,792	3,005,580	3,412,867
事業活動支出計	875,910,573	26,720,998	130,958,152	142,676,930
事業活動収支差額	81,280,939	3,383,083	0	0
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	28,773,758	0	0	0
② 敷金・保証金戻り収入	30,000	0	0	0
投資活動収入計	28,803,758	0	0	0
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	168,365,357	4,787,986	0	0
② 固定資産取得支出	3,618,600	233,334	0	0
③ 敷金・保証金支出	60,000	0	0	0
投資活動支出計	172,043,957	5,021,320	0	0
投資活動収支差額	△ 143,240,199	△ 5,021,320	0	0
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0
当期収支差額	△ 61,959,260	△ 1,638,237	0	0
前期繰越収支差額	64,907,573	5,031,353	0	0
次期繰越収支差額	2,948,313	3,393,116	0	0

(単位：円)

日本民家集落博物館 事業会計	内部取引消去	法人会計	内部取引消去	合 計
1,409,708	0	0	0	1,658,530
644,831	0	0	0	17,462,370
3,200,000	0	0	0	3,200,000
10,432,286	△ 141,306	21,059,410	0	1,245,377,214
10,885,265	0	0	0	26,292,265
192,503	0	0	0	1,342,503
500,250	0	0	0	2,542,095
1,668,550	△ 11,600,789	0	△ 1,306,406	0
28,933,393	△ 11,742,095	21,059,410	△ 1,306,406	1,297,874,977
24,147,979	△ 141,306	0	0	1,189,644,537
0	0	19,753,004	0	19,753,004
972,000	△ 11,600,789	1,306,406	△ 1,306,406	0
25,119,979	△ 11,742,095	21,059,410	△ 1,306,406	1,209,397,541
3,813,414	0	0	0	88,477,436
1,251,304	0	0	0	30,025,062
0	0	0	0	30,000
1,251,304	0	0	0	30,055,062
5,815,403	0	0	0	178,968,746
0	0	0	0	3,851,934
0	0	0	0	60,000
5,815,403	0	0	0	182,880,680
△ 4,564,099	0	0	0	△ 152,825,618
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
△ 750,685	0	0	0	△ 64,348,182
750,685	0	0	0	70,689,611
0	0	0	0	6,341,429

III 埋蔵文化財調査事業

1 調査事業一覧

埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理を、事業施行者の委託を受けて、下記のとおり実施した。

管轄	NO.	遺跡名 [内容]	調査地	受託事業名	委託名・報告書名 ○：工 事 □：航空測量 ●：報 告 書	事業者	事業の種類
中部調査事務所	1	成合遺跡 [調査]	高槻市成合地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（高槻市域）その2	○事業者発注 □成合遺跡発掘調査に伴う航空測量	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	2	成合遺跡隣接地 [確認]	高槻市成合地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（高槻市域）その1	○事業者発注 □成合遺跡隣接地発掘調査（確認）に伴う基準点測量	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	3	金龍寺旧境内跡成合遺跡隣接地 [確認]	高槻市成合地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（高槻市域）その3	○事業者発注 □金龍寺旧境内跡他（確認）発掘調査に伴う基準点測量	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	4	茨木市千提寺地区 [確認]	茨木市千提寺地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（茨木市域）その2	○事業者発注 □千提寺地区発掘調査（確認その2）に伴う基準点測量	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	5	千提寺西遺跡 [調査]	茨木市千提寺地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（茨木市域）その3	○事業者発注 □千提寺西遺跡発掘調査に伴う航空測量	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	6	千提寺南遺跡 [調査]	茨木市千提寺地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（茨木市域）その4	○事業者発注 □千提寺南遺跡発掘調査に伴う航空測量	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	7	止々呂美城跡 [調査]	箕面市下止々呂美地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（箕面市域）その2	○止々呂美城跡発掘調査に伴う工事 □止々呂美城跡発掘調査に伴う航空測量	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	8	金龍寺旧境内跡 [調査・整理]	高槻市成合南の町地内	主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス（高槻東道路 成合工区）整備に伴う埋蔵文化財調査業務委託	○事業者発注 □金龍寺旧境内跡発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部 茨木土木事務所	道路建設
	9			近畿自動車道名古屋神戸線新設事業（高槻～箕面間）と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス（高槻東道路 成合工区）事業との同時施行に伴う埋蔵文化財調査（その2）		西日本高速道路株式会社関西支社	
	10	萩之庄南遺跡 [調査]	高槻市萩之庄2丁目地内	主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路梶原工区）工事用進入路工事に伴う埋蔵文化財調査業務委託	○事業者発注 □萩之庄南遺跡発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部 茨木土木事務所	道路建設
	11	久宝寺遺跡 [調査]	八尾市西久宝寺・北久宝寺3丁目地内	高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線八尾パーキングエリア新設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（八尾市域）	○事業者発注 □久宝寺遺跡（P A）発掘調査に伴う航空測量	西日本高速道路株式会社関西支社吹田管理事務所	P A 建設

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担 当 者	備考
H23.7.1～ H24.12.28	37,121,700	6,291	弥生 集落	竪穴建物・土坑 土師器・須恵器・黒色土器・陶器・弥生 土器	伊藤 武 笹栗 拓	平成 23～24 年度
H23.6.1～ H23.7.15	2,124,150	57	古代～中世	土師器・須恵器・瓦器	伊藤 武	
H24.2.1～ H24.5.31	4,316,550	700	弥生・古墳 ・古代～中世 生産・集落・墓	土坑・ピット・溝・高まり 弥生土器・土師器・須恵器	永野 仁	平成 23～24 年度
H23.6.1～ H24.1.31	17,783,850	2,119	縄文～中世 生産・集落・墓	溝・鋤溝・土坑・ピット・石組墓・落ち 込み 縄文土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質 土器・陶器・磁器・石器・石製品・漆器 ・種子・銭・煙管・鉄滓	合田 幸美 河本 純一 入江 正則	
H23.11.1～ H24.5.31	12,442,500	1,382	古代～中世	水田・溝・鋤溝・ピット・土坑・窯 土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器・石 器・銭貨	合田 幸美 河本 純一 入江 正則	平成 23～24 年度
H24.2.1～ H25.2.28	6,168,750	1,600	縄文～中世 生産	水田・焼土坑・土坑 縄文土器・石器・土師器・瓦器	金光 正裕 小野 久隆 合田 幸美 入江 正則	平成 23～24 年度
H22.2.1～ H24.9.28	136,210,200	9,436	中世 城跡	城跡	岡本 圭司 信田真美世 志田 真吾	平成 21～24 年度
H23.6.1～ H24.5.31	15,245,075	2,935	奈良・平安 ・鎌倉・室町 集落	溝・土坑・ピット・井戸・建物・流路 縄文土器・弥生土器・埴輪・土師器・須 恵器・瓦器・陶磁器・緑釉陶器・瓦・製 塩土器・円面硯・埴・土管・土馬・巡方 ・宋銭・刀子	金光 正裕	平成 23～24 年度
	4,787,875					
H23.12.1～ H25.3.29	10,249,050	1,074	弥生～中世 生産・集落・墓域	竪穴建物・掘立柱建物・柱穴・井戸・土 坑・溝・周溝・水田・杭列・貯木遺構 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質 土器・陶磁器・瓦・木製品（板状・棒状・ 曲物底板・下駄・付木）・石製品（砥石・ 石斧）・サヌカイト剥片・鉄鏝・銭貨	黒須亜希子 松本 吉弘	平成 23～24 年度
H22.11.1～ H25.9.30	45,510,150	1,250	弥生～中世 生産・集落	竪穴建物・土坑・溝・水田・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 木製品・石器	福佐美智子 河本 純一 水久保祥子	平成 22～25 年度

管轄	NO.	遺跡名 [内容]	調査地	受託事業名	委託名・報告書名 ○：工 事 □：航空測量 ●：報 告 書	事業者	事業の種類
中部調査事務所	12	吹田操車場遺跡 [整理]	吹田市片山町 1 丁目地内	吹田（信）基盤整備工事（貨物専用道路）に伴う吹田操車場遺跡発掘調査 12	●吹田操車場跡Ⅶ	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構国鉄清算事業西日本支社	信号場基盤整備（貨物専用道路）
		明和池遺跡 [調査]	摂津市千里丘 7 丁目地内		○事業者発注 □明和池遺跡（基盤整備）発掘調査に伴う航空測量		構造物基礎撤去 土壌汚染
	13	西ノ庄東遺跡 [調査・整理]	吹田市西の庄町地内	吹田（信）基盤整備工事（貨物専用道路）に伴う西の庄東遺跡発掘調査	○事業者発注 □西の庄東・吹田操車場遺跡（基盤整備）発掘調査に伴う航空測量	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構国鉄清算事業西日本支社	信号場基盤整備（貨物専用道路）
		吹田操車場遺跡 [調査・整理]	吹田市芝田町地内		○事業者発注 □西の庄東・吹田操車場遺跡（基盤整備）発掘調査発掘調査に伴う航空測量		土壌汚染
		明和池遺跡 [整理]	摂津市千里丘 7 丁目地内		—		構造物基礎撤去 土壌汚染
	14	吹田操車場遺跡 [調査]	吹田市芝田町地内	吹田操車場跡地区平成 23 年度埋蔵文化財発掘調査業務	○事業者発注 □吹田操車場遺跡・明和池遺跡（区画整理その 3）発掘調査に伴う航空測量	独立行政法人都市再生機構西日本支社	土地区画整理
		明和池遺跡 [調査]	摂津市千里丘 4 丁目・7 丁目地内		○明和池遺跡（区画整理その 3）発掘調査に伴う工事一部、事業者発注 □吹田操車場遺跡・明和池遺跡（区画整理その 3）発掘調査に伴う航空測量		
		吹田操車場遺跡 [整理]	吹田市芝田町地内他		—		
	15	明和池遺跡 [調査・整理]	摂津市千里丘 4 丁目地内	防災公園街区整備事業摂津市千里丘四丁目地区平成 23 年度埋蔵文化財発掘調査業務	○明和池遺跡（防災公園）発掘調査に伴う工事 □明和池遺跡（防災公園）発掘調査に伴う航空測量	独立行政法人都市再生機構西日本支社	防災公園 街区整備
	16	禁野本町遺跡 [調査・整理]	枚方市禁野本町 2 丁目 1844-1 他	公務員宿舍枚方住宅（1 期）整備事業民活プロジェクトに伴う禁野本町遺跡発掘調査	○事業者発注 □事業者発注	株式会社浅沼組（財務省近畿財務局）	公務員宿舍建設
	17	瓜生堂遺跡 岩田遺跡 花屋敷遺跡 [調査・整理]	東大阪市西岩田 1・2 丁目、同岩田 4 丁目、同吉田 1 丁目地内	近畿日本鉄道奈良線連続立体交差化に伴う瓜生堂遺跡他発掘調査	○事業者発注（詰所のみセンター発注） □瓜生堂遺跡・岩田遺跡・花屋敷遺跡発掘調査に伴う航空測量 ●瓜生堂遺跡 4・岩田遺跡 2・花屋敷遺跡 3	近畿日本鉄道株式会社	鉄道建設
	18	旧大阪府庁跡 [調査・整理]	大阪市西区江之子島 2 丁目 32 番	（仮称）阿波座駅前プロジェクトに伴う旧大阪府庁舎跡発掘調査	○事業者発注 □事業者発注	株式会社長谷工コーポレーション	駅前再開発
	19	讃良郡条里遺跡 [調査]	四條畷市砂寝屋川市新家 2 丁目地内	（仮称）イオンモール四條畷建設に伴う讃良郡条里遺跡発掘調査	○事業者発注 □事業者発注	イオンモール株式会社	店舗建設
	20	池島・福万寺遺跡 [調査・整理]	八尾市福万寺町 6 丁目地内	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その 11）	○池島・福万寺遺跡Ⅱ（その 11-1）発掘調査に伴う工事 □池島・福万寺遺跡Ⅱ（その 11-1）発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	21	池島・福万寺遺跡 [調査・整理]	東大阪市池島町 7 丁目他	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その 12）	○池島・福万寺遺跡Ⅱ（その 12-1）発掘調査に伴う工事 □池島・福万寺遺跡Ⅱ（その 12-1）発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担 当 者	備考
H22.8.2～ H23.9.30	14,952,000	[15]	古代～中近世 集落・生産	耕作溝・区画溝・土坑・谷状地形 土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・陶磁器・瓦	秋 山 浩 三 奥 村 茂 輝	平成 22 ～ 23 年度
		1,492	弥生～中近世 集落・生産	流路・井戸・土坑・耕作溝 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・ 瓦器・陶磁器	奥 村 茂 輝 島 崎 久 恵 新 海 正 博	
H23.7.1～ H24.12.28	24,368,400	2,923	縄文～近世 集落・生産	流路・井戸・土坑・耕作溝・柱穴・溝・ 自然流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 黒色土器・瓦器	新 海 正 博 松 本 吉 弘	平成 23 ～ 24 年度
		813				
		—	弥生～中近世 生産・集落	流路・井戸・土坑・耕作溝 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・ 瓦器・陶磁器	新 海 正 博	
H23.4.1～ H24.3.31	108,703,350	3,298	縄文～中世 集落・生産	竪穴建物・掘立柱建物・井戸・土坑・ピ ット・落ち込み・溝・流路・畦畔 陶磁器・灰釉陶器・瓦器・黒色土器・土 師器・墨書土器・人面墨書土器・土馬・ ミニチュア甕・製塩土器・丸瓦・平瓦・ 軒丸瓦・軒平瓦・須恵器・弥生土器・縄 文土器・埴埴・サヌカイト剥片・銭貨・ 漆器椀、木製品	岡 戸 哲 紀 後川恵太郎 奥 村 茂 樹 鹿 野 塁 笹 栗 拓 奈 良 拓 弥	
		6,619				
		—	弥生～中世 集落・生産	掘立柱建物・井戸・土坑・ピット・溝 陶磁器・瓦器・黒色土器・土師器・須恵 器・瓦・木製品・石製品	秋 山 浩 三 陣 内 暢 子	これまでの整理一括
H23.12.2～ H24.3.31	11,106,900	245	弥生～中世 集落・生産	竪穴建物・掘立柱建物・井戸・土坑・ピ ット・溝・畦畔 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・ 瓦器・陶磁器	奥 村 茂 輝	
H22.5.1～ H24.7.31	47,787,600	1,716	弥生～中世・近代 生産・集落・軍事施設	掘立柱建物・柵列・溝・井戸・土坑・柱 穴・落ち込み・倉庫・土塁・軌道敷 弥生土器・土師器・須恵器・緑釉陶器・ 灰釉陶器・墨書土器・製塩土器・瓦器・ 陶磁器・瓦・砲弾・煉瓦・枕木	陣 内 暢 子 本 間 元 樹 島 崎 久 恵 市村慎太郎 水久保祥子	平成 22 ～ 24 年度
H22.9.1～ H24.2.29	26,064,150	158	弥生～中世 生産・集落・墓域	掘立柱建物柱穴・井戸・土坑・溝・流路 ・方形周溝墓・水田・落ち込み・土器棺 墓 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質 土器・陶磁器・瓦・木製品・石製品・土 製品・サヌカイト剥片・銭貨	井 上 智 博 黒須並希子 島 崎 久 恵 松 本 吉 弘	平成 22 ～ 23 年度
H23.5.2～ H24.7.31	21,087,150	4,990	近代 建築遺構	庁舎基礎、暗渠、煉瓦壁体、暖炉 煉瓦、土管、瓦、タイル、銅製品、石製品、 柱頭飾り、衛生陶器	市村慎太郎	平成 23 ～ 24 年度
H23.8.1～ H26.8.29	24,675,000	5,269	弥生～中世 生産・集落	竪穴建物・掘立柱建物・井戸・土坑・ピ ット・溝・畦畔 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁 器・木製品・石製品・土製品・銭貨	森屋美佐子 後川恵太郎	平成 23 ～ 26 年度
H21.6.1～ H23.6.30	76,446,300	3,826	縄文～中近世 生産・集落	水田・畦畔・島畠・溝	若 林 幸 子 新 海 正 博 藤 田 憲 司	平成 21 ～ 23 年度
H21.6.1～ H23.6.30	73,014,900	4,220	縄文～中近世 生産・集落	水田・畦畔・島畠・溝	森屋美佐子 三 宮 昌 弘 入 江 正 則	平成 21 ～ 23 年度

管轄	NO.	遺跡名 [内容]	調査地	受託事業名	委託名・報告書名 ○：工 事 □：航空測量 ●：報 告 書	事業者	事業の種別
中部調査事務所	22	池島・福万寺遺跡 [整理]	八尾市福万寺町6丁目地内	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ遺物整理（その2）	●池島・福万寺遺跡 12（福万寺Ⅱ期地区 08-1 調査区）	大阪府都市整備部 寝屋川水系改修工 営所	治水緑地造成
		池島・福万寺遺跡 [整理]	東大阪市池島町7丁目他		●池島・福万寺遺跡 13（池島Ⅱ期地区 08-2 調査区）		
南部調査事務所	23	鬼虎川遺跡 [調査・整理]	東大阪市西石切町5丁目・宝町地内	送水管布設替工事（4 拡南部幹線・東大阪市）に伴う鬼虎川遺跡発掘調査委託	○事業者発注 □鬼虎川遺跡発掘調査に伴う航空測量	大阪広域水道企業 団東部水道事業所	送水管敷設
	24	大県郡条里遺跡 [調査]	柏原市法善寺4丁目地内	寝屋川水系改良事業（一般河川恩智川法善寺多目的遊水地）に伴う大県郡条里遺跡発掘調査（その1）	○事業者発注 □大県郡条里遺跡発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部 八尾土木事務所	治水緑地建設
	25	瓜破北遺跡 [調査]	大阪市平野区瓜破西1丁目地内	大阪府営瓜破西（第3期）住宅（建て替え）建設工事に伴う瓜破北遺跡発掘調査	○瓜破北遺跡発掘調査に伴う工事 □瓜破北遺跡発掘調査に伴う航空測量	大阪府（住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課）	府営住宅建設
	26	並松町遺跡 [調査・整理]	堺市堺区並松町外	大阪府道高速大和川線建設事業理蔵文化財（並松町遺跡）発掘調査業務	○事業者発注 ○並松町発掘調査に伴う工事（詰所のみ） □並松町遺跡発掘調査に伴う航空測量	阪神高速道路株式会社	道路建設
	27	天美西遺跡 大和川今池遺跡 [調査・整理]	松原市天美西3丁目地内 ・大阪市東住吉区矢田7丁目地内	都市計画道路大和川線外大和川今池遺跡（その5）発掘調査委託	○事業者発注 □なし ●大和川今池遺跡・天美西遺跡	大阪府都市整備部 富田林土木事務所	道路建設
	28	池内遺跡 [調査・整理]	松原市天美東1・2・4丁目地内	都市計画道路大阪河内長野線池内遺跡（その2）発掘調査委託	○事業者発注 □池内遺跡（府道その3）発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部 富田林土木事務所	道路建設
	29	池内遺跡 [調査]	松原市天美北1丁目地内	都市計画道路 大阪河内長野線外（松原市道（仮称）天美北105号線）池内遺跡発掘調査委託（その3）	○池内遺跡（市道）発掘調査に伴う工事 □池内遺跡（市道）発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部 富田林土木事務所	道路建設
	30	諸目遺跡 [調査]	泉佐野市長滝 418	長南小学校屋内運動場増改築工事に伴う文化財調査業務委託	○諸目遺跡発掘調査に伴う工事 □諸目遺跡発掘調査に伴う航空測量	泉佐野市	小学校建替

2 主な調査の概要

（1）中部調査事務所

1. 成合遺跡11-1 [調査]

当遺跡は、高槻市成合の丘陵上に所在する弥生時代の遺跡として以前より知られていたが、これまで一度も発掘調査されることがなかったため、その実態については全く明らかになっていなかった。今回、7月より新名神高速道路高槻インターチェンジ建設工事に伴う本格的な発掘調査を実施し、弥生時代だけでなく、9世紀前半の遺構も広がっていることが確認された。弥生時代の主な



成合遺跡：調査区全景

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積 [コンテナ数]	時期・性格	主な遺構・遺物	担 当 者	備考
H23.7.1～ H24.9.28	38,704,050	—	縄文～中近世 生産・集落	水田・畦畔・島畠・溝	若 林 幸 子	平成 23～24 年度
		—	縄文～中近世 生産・集落	水田・畦畔・島畠・溝	三 宮 昌 弘	
H22.12.1～ H24.4.27	22,894,200	149	弥生～中世 生産・集落	溝・土坑・ピット・落ち込み・流路・畦畔・足跡 弥生土器・土製品・石器・動物遺体・須恵器・古式土師器・土師器小皿・瓦器・陶磁器	小 野 久 隆 松 本 吉 弘	平成 22～24 年度
H23.6.1～ H25.2.28	38,853,150	2,073	縄文・古代～中世 生産	水田遺構・畠遺構・土坑・ピット・溝・河川	西 村 歩 島 崎 久 恵	平成 23～24 年度
H23.4.1～ H24.1.31	57,152,550	3,310	旧石器～中世 集落	井戸・土坑・溝・流路 ナイフ形石器・石鏃・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦	井 上 智 博	
H23.2.1～ H24.9.28	27,099,450	1,694	古墳～中世 道路跡・集落	道路跡・溝・井戸・土坑 須恵器・陶磁器・堺当時・土師質土器・土製品・瓦類・銅銭・貝類・金属製品・木製品・石製品	中 村 淳 磯	平成 22～24 年度
H23.5.2～ H23.11.30	7,572,600	64	弥生～中世 集落	溝・土坑・ピット 弥生土器・須恵器・土師器・埴輪・黒色土器・土師器皿	永 野 仁	
H21.11.2～ H24.3.30	25,150,650	1,058	弥生・古代～中世・近世 生産・集落	溝・水路・井戸・土坑・足跡・畑・堤 弥生土器・石器・須恵器・土師器・黒色土器・瓦器・陶磁器・軒丸瓦・平瓦・木製品・銭貨	川 瀬 貴 子	平成 21～23 年度
H23.9.1～ H24.2.29	22,241,100	1,629	弥生・古墳・奈良・平安・中世・近世 生産・集落	溝・土坑・流路・ピット・水田 弥生土器・石器・須恵器・土師器・黒色土器・瓦器・陶磁器・瓦・木製品・瓦質土器	永 野 仁	
H23.12.12～ H25.3.29	6,388,200	1,131	弥生～中世 集落	竪穴建物・掘立柱建物・井戸・溝・土坑・ピット・落ち込み 縄文土器・弥生土器・埴輪・須恵器・土師器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・青磁・白磁・石器・木製品	河 本 純 一	平成 23～24 年度

遺構は竪穴建物で、調査区中央の谷部を挟んで、東西南北に整然と配置されていた。出土する遺物は中期後葉のものがほとんどで、なかには粘板岩製の石製品やヒスイ製の勾玉もあった。9世紀の遺構には掘立柱建物や多数の焼土坑がある。焼土坑は火葬に伴うものと、土師器焼成に伴うものの2種があるようである。また遺跡の南東斜面からは須恵器窯もみついている。

2. 成合遺跡隣接地11-1 [確認]

調査対象地は、成合遺跡北側を流れる東檜尾川左岸の、成合遺跡に向かってのびる小谷の開口部にあたる。成合遺跡に関連する遺構や遺物が残存する可能性が考えられたため、2×6.5 mのトレンチを丘陵裾に、2×22 mのトレンチを川寄りに設定して確認調査を実施した。その結果、丘陵裾のトレンチで古代から中世の遺物包含層を確認し、成合遺跡として括られている範囲外にも、この時期の遺跡が広がっていることが判明した。

3. 金龍寺旧境内跡11-2・成合遺跡隣接地11-2 [確認]

高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴い実施した埋蔵文化財の確認調査である。調

査区は、高槻市成合に所在する成合遺跡から、同市成合字内供谷に所在する金龍寺旧境内跡範囲内に至る7地点に設定し、調査区の総面積は1,144㎡を測る。

調査の結果、3地点において遺構ならびに遺物の出土を確認し、弥生時代後期から古代にかけての遺跡が広がっていることが明らかとなった。

4. 茨木市千提寺地区11-1〔確認〕

高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財の確認調査で、対象地は、茨木市千提寺地区である。調査地は、茨木市北部にひろがる北摂山中にあり、竜王山の南、標高250m前後の丘陵地および谷部である。平成23年6月1日から平成24年1月31日にかけて、41箇所の調査区(2119㎡)を設定して確認調査を実施した。

その結果、縄文土器ならびに中世の遺物が出土し、遺物包含層の存在が明らかになったほか、「墓の丸」の字名をもつ丘陵上からは中世墓とみられる石組みが確認された。

千提寺地区は、ザビエル像をはじめとするキリシタン遺物が発見された地であり、キリシタン墓碑も存在することから、キリシタン関連の遺構、遺物の存在が期待される。

5. 茨木市千提寺西遺跡11-1〔調査〕

千提寺西遺跡は、千提寺地区確認調査の結果をうけて、新たに認定された遺跡である。茨木市千提寺地区のほぼ中央北側に位置し、遺跡の範囲には中世墓地とみられる字「墓の丸」を含む。今回の調査は、「墓の丸」の南側に位置する谷部を中心に実施した。

調査では中世の棚田、焼土坑、ピットを検出し、この山間の開発が平安時代後半から始まったことが明らかとなった。棚田は、谷頭の湧水を利用し、当初幅が狭く、段差が小さいものが、年代が降るにつれて、幅が広く、段差が大きくなる傾向が認められ、最終的に現在みることができる石垣が組まれた棚田の景観にいたることがわかった。山間の開発における人々の工夫と労苦がしのばれる。

6. 千提寺南遺跡11-1〔調査〕

千提寺南遺跡もまた、千提寺地区確認調査の結果をうけて、新たに認定された遺跡である。茨木市千提寺地区のほぼ中央南側、千提寺西遺跡の南側に位置する。今回の調査は、遺跡範囲の東端北側の谷部において実施した。

調査では中世の棚田、焼土坑、ピットを検出したほか、下層では縄文時代の土坑を検出し、縄文土器がまとまって出土した。縄文土器は、縄文時代中期末の北白川C式が主体であり、これに縄文時代早期の押型文とみられる土器が混在する。北摂の山間部における縄文人の足跡をおうことができた。

7. 止々呂美城跡09-1〔調査〕

調査地は城跡本丸推定地より100～300m程離れた丘陵部である。頂上部近辺にて炭や焼土を含み、なかには比熱痕跡を持つ土坑などを検出した。炭を放射性炭素年代測定にて分析すると16世紀代とその前後の年代が示された。釘、土師器皿、数珠玉、骨片が出土する土坑があり、火葬に係る遺構と思われる。丹波型瓦器碗の完形品が出土した方形の土坑もある。遺物包含層からは五輪塔、石仏なども出土している。

8. 金龍寺旧境内跡11-1〔調査・整理〕／ 9. 金龍寺旧境内跡11-1〔調査・整理〕

当遺跡は高槻市成合に所在する。平成22年度の確認



金龍寺旧境内跡：2区南部全景

調査において新規に発見された遺跡である。調査地東方山中には、延暦9（790）年創建とされる金龍寺跡が存在する。調査の結果、ピット・土坑・井戸・大溝や縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・埴輪・製塩土器・宋銭・刀子などが検出された。大半は8～9世紀と12～13世紀のものが占め、識字層や高位な階層との交流を示唆する土馬・円面硯・白色の巡方・埴・土管など注目すべき遺物も見られる。



萩之庄南遺跡
検出された大溝群（弥生時代後期～古墳時代初頭）

調査終了後引き続き整理作業をおこない、平成24年5月に「金龍寺旧境内跡」を刊行した。

10. 萩之庄南遺跡11-1〔調査〕

萩之庄南遺跡は、北摂丘陵の裾野に位置する。平成22年度に実施された確認調査によって新規に発見された遺跡である。今年度は、予定調査区の約3分の1にあたる面積の調査を完了した。主な検出遺構面は、弥生時代後期～古墳時代初頭、古代、中世である。このうち、弥生時代後期～古墳時代初頭の遺構面では、大規模な溝群、周溝、竪穴建物を確認した。溝の埋土からは弥生土

器のほか、柳葉形の鉄鏃が出土した。

11. 久宝寺遺跡10-1〔調査〕

今回の調査は、高速自動車国道近畿自動車道天理吹田線八尾パーキングエリア新設工事に先立ち、盛土及び橋脚箇所を対象として実施した。南北に350mの範囲内に9箇所の調査区を設け、そのうち今年度は5箇所での調査を終了した。今回の調査では弥生時代～中世にわたって遺構・遺物を検出した。特にこれまでの隣接する既往調査では明らかになっていなかった弥生時代中期については水田域であったことが判明した。

12. 吹田操車場遺跡10-3〔整理〕 明和池遺跡11-2〔調査〕

吹田信号場基盤整備工事（貨物専用道路）に伴う調査を平成22年8月から平成23年2月まで吹田操車場遺跡西端部でおこなった。引き続き、平成23年2月から6月まで出土遺物の実測、写真撮影、遺構図作成、原稿執筆等の整理作業をおこない、平成23年9月29日に『吹田操車場遺跡Ⅶ』を刊行した。また、整理作業と併行して平成23年4月から6月まで明和池遺跡で調査を実施した。明和池遺跡では中世・古代の井戸や土坑、弥生時代後期の土器溜まりや自然流路等を検出した。

13. 西ノ庄東遺跡11-1〔調査・整理〕 吹田操車場遺跡11-2〔調査・整理〕 明和池遺跡11-2〔整理〕



明和池遺跡
古墳時代の河川跡（須恵器出土状況）

吹田信号場基盤整備工事（貨物専用道路）に伴う調査を平成23年7月から9月まで吹田操車場遺跡で、同年9月から平成24年2月まで西の庄東遺跡でおこなった。吹田操車場遺跡では古墳時代後期から古代にかけて掘削された粘土採掘坑と想定される土坑群を検出した。土坑群は周辺でおこなわれた従前の調査においても多数確認されており、その範囲が広がることが明らかになった。西の庄東遺跡では中世の大溝や土坑群、平安時代の井戸や奈良時代の溝や土坑を検出した。特に、平安期に掘削された井戸からは多量の遺物が出土しており注目された。現地調査終了後、平成24年度に上記2遺跡と明和

池遺跡 11－2 とを併せて整理作業を実施し、報告書を刊行する予定である。

14. 吹田操車場遺跡11-1〔調査〕 明和池遺跡11-1〔調査〕 吹田操車場遺跡11-1〔整理〕

調査は、吹田市と摂津市にまたがる吹田操車場跡地の土地区画整理事業に伴うもので、区画街路に当たる箇所を対象とした。

吹田操車場遺跡の調査では、岸辺駅前付近で古墳時代後期から古代に属する土坑を多数検出した。この土坑は粘土採掘坑の可能性が高く、これまでの調査でも多数みつかっており、その範囲がさらに拡がることを確認した。また、同じく岸辺駅前付近で、新たに平安時代の集落を検出した。

明和池遺跡の調査では、弥生時代後期の集落跡を検出した。また、調査地内を流れる山田川付近で、弥生時代・古墳時代・古代・中世の各時代の河川跡を検出した。古墳時代の河川跡からは大量の須恵器が出土し、古代の河川跡からは墨書人面土器・土馬など祭祀に関連すると思われる遺物が出土した。整理は、吹田操車場遺跡で出土した遺物の分類、抽出、接合、実測図作成の各作業をおこなった。

15. 明和池遺跡11-3〔調査・整理〕

防災公園街区整備事業に伴う調査で、摂津市千里丘四丁目に所在する。平成24年1～2月に現地調査、3月に整理作業をおこなった。

中世では、15世紀代の水田に伴う高まりや畦畔が検出され、13世紀代でも同様の遺構がみついている。古代では、8～9世紀の総柱の掘立柱建物や土坑、溝などが検出された。古墳時代では、中期（5世紀中頃～6世紀初頭）の井戸や土坑が検出された。弥生時代では、後期末の竪穴建物や建物に伴う溝などが検出された。周囲の調査成果から、弥生時代の集落が営まれていた可能性が考えられる。



禁野本町遺跡：禁野火薬庫

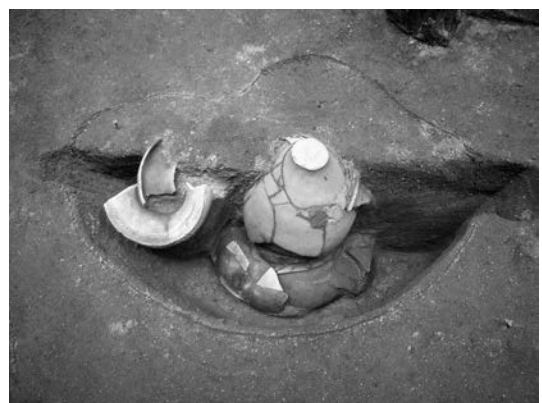
16. 禁野本町遺跡10-1〔調査・整理〕

今回の調査では縄文時代から近代までの遺物・遺構を検出した。その中心は、奈良時代後半から平安時代初頭を中心とする集落跡と明治時代後葉から太平洋戦争終結までの陸軍の火薬庫である。

発掘調査とその後の整理作業によって、古代の集落については周辺の調査と関連付けその変遷を辿ることができた。近代の禁野火薬庫については、実物資料を通してその実態を鮮明にするとともに、個々の構造物の実年代の特定や配置の変遷も把握することができた。

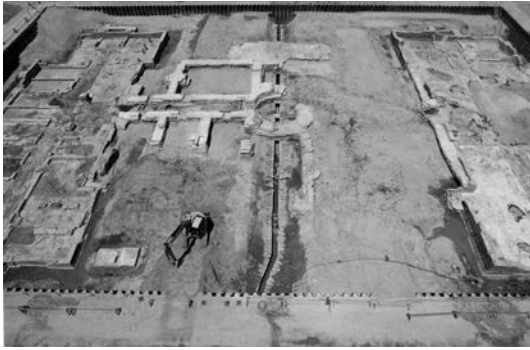
17. 瓜生堂遺跡10-1・岩田遺跡10-1・花屋敷遺跡10-1〔調査・整理〕

瓜生堂遺跡、岩田遺跡、花屋敷遺跡の範囲内を東西に貫く、近畿日本鉄道の立体交差化に伴う調査である。今年度は計10ヶ所に及ぶ調査区のうち、3ヶ所の調査を完了した。



瓜生堂遺跡：土器棺墓検出状況（弥生時代中期後半）

弥生時代中期後半の墓域にあたる瓜生堂遺跡の調査区では、3基の土器棺墓を新たに確認した。また室町時代の屋敷地と推測される花屋敷遺跡内の調査区では、居住域がさらに南へ広がることを追認した。敷地の東端で検出した土坑からは、銅銭15,391枚がまとまって出土し、注目を集めた。調査に



旧大阪府庁舎跡

続く整理作業では、すべての調査区について成果をまとめた報告書を刊行した。

18. 旧大阪府庁跡11-1〔調査・整理〕

本調査は、大阪府2代目庁舎の発掘調査である。庁舎建築に関する仕様書、設計図類が確認されていないなかで、その基礎構造や間取り、施行方法、使用材料を窺うことができる資料が得られた。大正期の庁舎は、地階を検出し、コンクリート基礎上の煉瓦壁体が良好に確認できた。

出土品は、明治期・大正期の煉瓦、福島県天鏡閣にも見られるロゴマークがある衛生陶器、大正期に増築に際して使用されたと考えられる柱飾り等がある。

19. 讃良郡条里遺跡11-1〔調査〕

平成23年8月から大型店舗開発に先立ち、四條畷市教育委員会・寝屋川市教育委員会・公益財団法人大阪府文化財センターと共同で発掘調査を実施した。調査地は、大阪府四條畷市砂・寝屋川市新家2丁目地内に位置する。

発掘調査では、弥生時代前期から中世に至る各時代の遺構を確認し、多種多様な遺物が出土した。弥生時代では、前期～中期後葉の水田、中期前葉～後葉の集落を確認した。古墳時代では、前期～後期の集落・水田を確認した。特筆すべき遺物として、古墳時代の滑石石製品がある。子持勾玉・管玉・勾玉・白玉など、総数5000点以上出土している。

20. 池島・福万寺遺跡09-1〔調査〕／ 22. 池島・福万寺遺跡09-1〔整理〕

池島・福万寺遺跡は、生駒山地の西裾の扇状地と、玉串川の天井川化に伴って発達した自然堤防に挟まれた後背湿地上に展開する広大な遺跡である。当調査区においては、弥生時代から近世にかけての時期の遺構面の累積を調査した。検出した遺構はおおむね農耕に関連するもので、特に弥生時代前期末～中期初頭、弥生時代後期と中期後半、古代後葉の遺構面で明瞭な水田区画を検出したほか、古代前半では自然流路を条里地割として利用するため、手を加えた経緯をとらえた。

出土した遺物量は、コンテナバット（60×40×15cm）に換算して100箱を数える。これらの遺物は、発掘調査の際、地区割に基づいて層ごとに切り上げ、順次洗浄・注記等の基礎的な整理作業をおこなった。発掘調査終了後は出土遺物の登録台帳を作成し、遺物の接合・復元・実測・写真撮影、図版類の作成を進めながら遺構面や遺構の形成時期の把握、時期的変遷の理解につとめ、その内容を報告書にまとめる予定である。

21. 池島・福万寺遺跡09-2〔調査〕／ 22. 池島・福万寺遺跡09-2〔整理〕

「一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その12）」として、平成21年8月24日から平成23年5月31日まで発掘調査をおこない、平成23年7月1日から平成24年6月30日までの予定で整理事業をおこなった。弥生時代中期前葉の、竪穴式住居などが見られる居住域が検出された調査区であるが、整理事業ではその居住域の土器群の組成が、生駒西麓産胎土のものは半数ほどしかなく、壺の比率が高いことなどが判明した他、池島Ⅱ期地区の既往の調査の基本層序の再検討をおこなった。報告書は平成24年9月刊行予定である。

（2）南部調査事務所

23. 鬼虎川遺跡10-1〔調査・整理〕

本調査は、国道170号沿いの送水管敷設替工事に先がけて、国道308号を挟んだ2ヶ所（北よりその

1 調査区、その 2 調査区）で実施した。その 1 調査区では、明治41（1908）年に埋められた井路、近世・中世の井路・溝・足跡、古代の溝・足跡を検出した。その 2 調査区では、平安時代から奈良時代の溝・ピット・足跡を、古墳時代では畦畔・ピット・溝・足跡を検出した。弥生時代では、厚い遺物包含層（0.6～0.7m）から多量の土器（Ⅲ～Ⅳ様式が多い）・土製品・石製品（打製・磨製）・動物遺体等が出土した。遺構面（包含層の下面）では、土坑・溝・ピットを検出した。Ⅲ様式の土器が多いが、Ⅱ様式、Ⅰ様式の土器も含む。遺物のなかで注目されるのは 2 点の多孔土器と、乾燥時に割れた土器に粘土を貼り付けて焼成した高杯である。



大県郡条里遺跡：中世の水田畦畔

24. 大県郡条里遺跡11-1〔調査〕

大県郡条里遺跡は大阪府柏原市に所在する遺跡で、周辺一帯には条里地割が良好に残存している。調査では近世以降の 0～2 層を機械掘削し、中世末以前の 3 層以下を人力掘削の対象とした。その結果、3-1a 面以下 10a 面まで条里畦畔に区画された水田、畠などの遺構面が検出された。10a 層の時期は 10 世紀頃であり、条里遺構は少なくともこの段階までさかのぼる可能性がある。第 12a・b 面ではピット・土坑・溝を検出しており、前者が古墳時代後期～古代、後者が縄文時代晩期に帰属するとみられる。このように弥生時代の遺構面は確認されず、下層では時期が一気に遡るようである。包含層から「博」と墨書された須恵器杯蓋が出土したほか、下層では縄文時代晩期の浅鉢がほぼ完形で出土した。

25. 瓜破北遺跡11-1〔調査〕

今回の調査は府営瓜破西住宅の建て替え工事に伴うものであり、調査地は遺跡範囲の南部と北西部の 2 箇所に分かれていた。前者の調査地では、弥生時代後期後半から古墳時代前期後半にかけての遺構を検出した。また、後者の調査地の南端からは、石器がまとまって出土した。石器は二つの層準から出土し、上層には石鏃、下層にはナイフ形石器が含まれていた。ナイフ形石器の形態から、下層の時期は後期旧石器時代後半期と推定される。



並松町遺跡：紀州街道東側の遺構群

26. 並松町遺跡10-1〔調査・整理〕

大阪府道高速大和川線（阪神高速大和川線）建設に伴う調査で、堺市堺区並松町および七道東町、七道西町に所在する。中央に大阪と和歌山を結ぶ紀州街道がある。

平成 23 年 2 月より調査を開始し、街道の西側では数次にわたる洪水による砂層のほか、街道部分では道路の堆積状況が明らかになった。街道の東側では、ゴミ穴や井戸、水溜め遺構などがまとまって検出され、多くの廃棄物で埋められていた。大和川が開削された後の江戸時代後半が主体である。平成 24 年 2 月より整理作業に入り、平成 24 年度に報告書刊行予定である。

27. 天美西遺跡11-1・大和川今池遺跡11-1〔調査・整理〕

本調査は、都市計画道路大和川線建設における付帯工事である、送水管の布設工事に伴い実施した。調査地は、府道 26 号線（大阪狭山線）上にあたり、調査区の面積は 64m²を測る。

本調査区では、広範囲にわたり現代の開発に伴う攪乱を受けており、包含層および遺構面の遺存状

況は良好とはいえないものであった。しかしながら、かろうじて攪乱の影響を免れた箇所では、弥生時代から古墳時代・古代・中世に帰属する、3面の遺構面を確認することができた。

調査において出土した遺物は、大和川今池・天美西両遺跡あわせて、コンテナに換算して1箱を数える。出土した遺物については、現地において洗浄・注記等の基礎的な整理作業をおこなった。発掘調査終了後は、出土遺物の登録台帳を作成するとともに、同一個体と判断される遺物の接合・復元、報告書に掲載する遺物の抽出ならびに実測・写真撮影をおこなった。遺物整理と並行して遺構図の整理および図版類の作成をおこない、検出した遺構の帰属時期、および遺構面の時期的変遷の把握につとめ、報告書にまとめた。

28. 池内遺跡09-3〔調査・整理〕

今年度の発掘調査のうち大堀堺線の拡幅部では、東西あるいは南北に並ぶ中世の耕作溝を多数検出した。また、河内長野線範囲内の上之池南堤部では近世の堤や水路、中世以前の溝や土坑を検出した。

平成23年度後半に整理作業をおこない、報告書を刊行した。平安時代の建物群の存在や東西坪境溝が少なくとも2町にわたり確認された。12世紀前半にはこの地域で条里制が施行されていた事が明らかになった。

29. 池内遺跡11-1〔調査・整理〕

池内遺跡は松原市に所在する、弥生時代から近世にかけての複合遺跡である。本調査は都市計画道路大阪河内長野線外（松原市道（仮称）天美北105号線）建設に伴い実施したものであり、調査面積は1,629㎡を測る。



諸目遺跡：調査区全景

調査区は、遺跡範囲の北東部にあたり、現況では南から北にかけて緩やかに下降する地形を呈する。調査の結果、古代から中世にかけての遺構ならびに遺物を確認した。特筆すべき遺構としては、古代末から中世初頭に帰属する、区画溝を有する居住域が挙げられる。検出した居住域の範囲は部分的であるため詳細は明らかにしえないが、既往の調査成果とあわせ、当地の開発における在地領主層との関連が想定される。

30. 諸目遺跡

11-1〔調査〕

泉佐野市立長南小学校の屋内運動場増改築工事に伴う調査である。古墳時代初頭の竪穴建物2棟、飛鳥・奈良時代の掘立柱建物13棟のほか、多数のピット・土坑・溝・井戸を検出した。奈良時代の土師器・須恵器が多量に出土しており、なかには他に類例を見ない亀形須恵器のほか、圈足硯・墨書土器・環状突帯付蓋などがある。

建物が集中して営まれており、一般の集落では出土しないような遺物もみられることから、当遺跡が泉南地域における地方官庁的な性格を持ち合わせていた可能性が考えられる。

3 他府県調査技術支援

平成 21・22 年度に引き続き、鳥取西道路建設事業地内で実施された高住井手添遺跡・高住平田遺跡・良田平田遺跡の発掘調査について、財団法人鳥取県教育文化財団からの依頼に基づいて 3 名の職員を同財団に出向させ、発掘調査の技術支援をおこなった。

4 保存処理事業

調査事業に関連して以下のとおり保存処理事業を実施した。

遺 跡 名	処 理 種 別	処理方法	処理数量
近 畿 道 関 連	木 製 品	整理・点検	400 点
大 坂 城 跡	木 製 品	整理・点検	800 点
池島・福万寺遺跡	木 製 品	整理・点検	250 点
下 田 遺 跡	木 製 品	整理・点検	150 点
讃良郡条里遺跡	木 製 品	PEG-FD 処理	200 点
大 坂 城 跡 III	木 製 品	PEG-FD 処理	1,500 点
巢 本 遺 跡	木 製 品	PEG-FD 処理	150 点
新上小阪遺跡	木 製 品	PEG-FD 処理	50 点
若 江 北 遺 跡	木 製 品	PEG-FD 処理	70 点
私 部 南 遺 跡	金 属 遺 物	アクリル樹脂処理	120 点
讃良郡条里遺跡	金 属 遺 物	アクリル樹脂処理	50 点
大 坂 城 跡	金 属 遺 物	アクリル樹脂処理	800 点
金龍寺旧境内跡	金 属 遺 物	アクリル樹脂処理	20 点
有 池 遺 跡	金 属 遺 物	アクリル樹脂処理	50 点
花 屋 敷 遺 跡	金 属 遺 物	アクリル樹脂処理	300 点
並 松 町 遺 跡	金 属 遺 物	アクリル樹脂処理	20 点
讃良郡条里遺跡	植 物 遺 体	分類・鑑定	コンテナ 5 箱
私 部 南 遺 跡	植 物 遺 体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
禁 野 本 町 遺 跡	植 物 遺 体	分類・鑑定	コンテナ 5 箱
有 池 遺 跡	植 物 遺 体	分類・鑑定	コンテナ 3 箱
池島・福万寺遺跡	植 物 遺 体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
X 線 調 査	各 種 遺 物	X 線透視撮影	金属・有機遺物 50 点

PEG：ポリエチレングリコール FD：真空凍結乾燥を示す。

IV 資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、次の事業を実施した。

1 文化財講演会事業

a. 平成 23 年度の講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加 人数	備 考
5 月 22 日	滋京阪連携歴史講演会 2011『祈る・作る・運ぶの考古学』 「祈るの考古学」	一般	滋賀県立図書館	61	東日本大震災復興支援事業として京都府・滋賀県と連携して実施、三好が講演
6 月 16 日	「古墳時代の台所革命－ 炉から竈へ－」	一般	大阪府立中央図書館	64	「大阪歴史探訪」第 1 回目として博物館と連携して実施、合田が講演
6 月 19 日	滋京阪連携歴史講演会 2011『祈る・作る・運ぶの考古学』 「作るの考古学」	一般	大阪府立弥生文化博物館	58	東日本大震災復興支援事業として、京都府・滋賀県と連携して実施、黒須が講演
7 月 3 日	滋京阪連携歴史講演会 2011『祈る・作る・運ぶの考古学』 「運ぶの考古学」	一般	長岡京市産業文化館	102	東日本大震災復興支援事業として、京都府・滋賀県と連携して実施。信田が講演
8 月 18 日	「民家と風土考－日本発 の野外博物館でみる各地 の様相－」	一般	大阪府立中央図書館	47	「大阪歴史探訪」第 3 回目として博物館と連携して実施、小島が講演
10 月 2 日	「触れて学ぶ 秀吉の大 坂城」	一般	近鉄文化サロン 阿倍野	41	近鉄文化サロン阿倍野との共催講座として実施、江浦が講演
11 月 27 日	「古市古墳群とその周辺」	一般	国民会館	283	平成 23 年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業として実施
12 月 15 日	「豊臣氏滅亡への序章－ 考古学からみた大坂冬の 陣」	一般	大阪府立中央図書館	82	大阪歴史探訪」第 1 回目として博物館と連携して実施、江浦が講演
1 月 15 日	「卑弥呼の時代の農耕技術」	一般	大阪府立弥生文化博物館	65	弥生文化博物館「古代史発掘－この大阪－」において江浦が講演
1 月 21 日	『天下の台所「大坂」－ 魚食文化の歴史を語る』 第 1 回「貝は語る」	一般	大阪府立弥生文化博物館	60	平成 23 年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業として実施
1 月 24 日	「発掘された水田と畑の まつり」	一般	大阪府立弥生文化博物館	67	弥生文化博物館「古代史発掘－この大阪－」において水野理事長が講演
1 月 29 日	「旧大阪府庁舎跡の調査」	一般	大阪府立弥生文化博物館	32	弥生文化博物館「古代史発掘－この大阪－」において市村が講演
2 月 5 日	『天下の台所「大坂」－ 魚食文化の歴史を語る』 第 2 回「魚は語る」	一般	大阪府環境農林水産総合研究所	63	平成 23 年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業として実施

3月11日	『天下の台所「大坂」－魚食文化の歴史を探る』	一般	エル・シアター	206	平成23年度文化庁地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業として実施
3月18日	調査成果報告会「おおさかを掘る－最新発掘調査の成果－」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	44	大阪市・大阪府立近つ飛鳥博物館との共催事業
3月20日	「難波大道の発掘調査成果」	一般	太子町立竹内街道歴史資料館	29	共催展示の関連事業、福佐が講演
計				1,304名	

b. 外部団体からの依頼を受けて、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
5月7日	「八尾の遺跡を知ろう－久宝寺遺跡の墳墓と古墳」	一般	八尾市立しおんじやま古墳学習館	30	「しおんじやま学び場」において亀井が講演
5月22日	「弥生のムラの物語」	一般	大阪府立弥生文化博物館	79	「考古学セミナー」において三宮が講演
6月11日	「ムラの地形の変化」	一般	大阪府立弥生文化博物館	87	「考古学セミナー」において井上が講演
6月14日	「池島・福万寺遺跡の調査」	一般	くすのきプラザ会議室	40	「平成23年度くすのきカレッジ（日本史・郷土史）」において塚本が講演
7月7日	「女王卑弥呼と堺」	一般	堺市立女性センター	43	「堺 自由の泉大学 歴史探訪と考古学講座」において鹿野が講演
7月12日	「花屋敷遺跡の調査」	一般	くすのきプラザ会議室	46	「平成23年度くすのきカレッジ（日本史・郷土史）」において黒須が講演
7月20日	「埋蔵文化財調査中間報告」	関係者	止々呂美自治会館	15	止々呂美地域まちづくり協議会の依頼を受けて信田が講演
7月27日	「岩田地区周辺の発掘調査から」	一般	岩田自治会館	40	東大阪市立岩田西小学校の依頼を受けて黒須が講演
9月24日	「寝屋川市高宮遺跡の発掘調査成果」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	17	大阪府立近つ飛鳥博物館土曜講座において奥村が講演
10月6日	「止々呂美城跡の発掘調査」	自治会	JA 止々呂美特産物センター	35	止々呂美自治会への説明会において信田が講演
11月24日	「弥生文化博物館の明日」	学生	桃山学院大学	5	桃山学院大学「就業力 GP」において江浦が講義
12月3日	「旧大阪府庁跡の調査」	関係者	道頓堀ホテル	143	平成23年度大阪市西区体育厚生協会反省会で市村が講演
2月25日	難波宮大極殿発見50周年記念『難波宮 百花斉放』	一般	中央公会堂	724	当センター後援事業 水野理事長・江浦が講演
計				1,304名	

2 現地説明会等

平成 23 年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7 月 30 日	現地説明会	一般	18. 旧大阪府庁舎跡	923
10 月 29 日	現地説明会	一般	14. 明和池遺跡	158
3 月 24 日	現地説明会	一般	19. 讃良郡条里遺跡	281
計				1,362 名

明和池遺跡現地説明会

平成 23 年 10 月 29 日（土）午後 1 時から 3 時まで、明和池遺跡の発掘調査の現場と出土遺物を公開しました。明和池遺跡は、摂津市千里丘付近にある遺跡です。これまでの調査で、弥生時代から近世の遺構や遺物がみつかっています。

当日、普段は入ることのできない発掘現場に小学生も含め 158 名の参加がありました。参加していただいた皆さんは、調査でみつかった古墳時代の掘立柱建物や竪穴建物の説明や、川からみつかったたくさんの須恵器の説明に熱心に耳を傾けてくれました。

また、須恵器をさわるコーナーでは、大きな甕の破片を二人がかりでくっつけていました。



3 文化財体験学習事業

a. 体験学習等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7 月 27 日～ 8 月 2 日	夏季集中講座 「考古学入門」	大阪府立今宮高校 2 年生	瓜破北遺跡ほか	7
10 月 14 日	平成 23 年度 「古代史研究旅行」	和光高校 2 年生	瓜破北遺跡	21
12 月 8 日～9 日	「職業体験学習」	東大阪市立池島中学校 2 年生	池島支所ほか	3
12 月 9 日	集中講座 「考古学入門」	大阪府立大手前高校生	瓜破北遺跡	20
計				51 名

b. 発掘現場等の見学の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数	備 考
8 月 23 日	発掘現場見学	外国人研修者	瓜破北遺跡	3	独立行政法人国際協力機構（JICA）「考古資料の発掘と保存管理」研修の一環
12 月 7 日	発掘現場見学	幼稚園園児	大和川今池遺跡	110	木の実幼稚園（年長組 4 クラス）が見学
計				113 名	

4 文化財展示事業

博物館等と連携し、次の展示会等に協力した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	備 考
9 月 17 日～ 10 月 10 日	スポット展示「寝屋川市高宮遺跡の発掘調査成果」	一般	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館でのスポット展示
11 月 5 日～8 日	「旧大阪府庁舎跡の発掘調査写真パネル展」	一般	大阪市立中央図書館	「西区民まつり 文化のつどい」での関連展示
2 月 22 日～	パネル展示 「大阪考古楽」第一話	一般	りそな銀行泉北支店	りそな銀行特定寄付信託の寄付先の一つとして連携
3 月 7 日～	「最古の官道・竹内街道の源流―難波大道の発掘調査―」	一般	太子町立竹内街道歴史資料館	太子町立竹内街道歴史資料館との共催事業

5 文化財広報事業

（１）事業年報の編集・発行

当センターの事業年報（平成 22 年度）を編集し、発行した。

（２）インターネットの活用

ホームページにより、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。また、当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地公開資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。

（３）その他広報活動

報道機関等に積極的に情報提供した。

（４）全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックを通じた活動

「関西考古学の日」へ参加した。「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成 20 年度を初回として実施したものである。当センターは、パンフレットの編集・作成をおこなった。

6 文化財研究事業

a. 近畿ブロック埋文研修会への参加

第 17 回の平成 23 年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター

が開催法人となり、平成 23 年 11 月 11 日（金）、京都府長岡京市中央生涯学習センターで開催された。『文字、記号、絵画の世界』というテーマで 8 本の研究発表がおこなわれ、当センターからは永野 仁が「龍を描いた土器」と題して発表をおこなった。

7 文化財資料収集整理事業

（１）文献及び文化財情報の収集・整理

a. 平成 23 年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	355 冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,945 冊
計	2,300 冊
累 計	81,130 冊

b. 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力をおこなった。

蔵書データベース	総計 80,600 レコード
----------	----------------

（２）発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

8 文化財資料提供事業

（１）発掘資料の出品、写真・映画等の貸出

a. 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品をおこなった。

貸出先／期間	展示等名称	資 料 名	点数
堺市博物館 5月23日～9月9日	平成 23 年度企画展「祈りをこめた瓦－和泉・南河内地域における 11 ～ 13 世紀の寺院」	観音寺遺跡：灯明台 2、平瓦 3／真福寺遺跡：平瓦／日置荘遺跡：軒丸瓦 10、軒平瓦 4	20
大阪府立弥生文化博物館 6月24日～10月5日	平成 23 年度夏季特別展「豊饒をもたらす響き 銅鐸」	上フジ遺跡：銅鐸形銅製品／下田遺跡：銅鐸／野々井西遺跡：銅鐸形土製品／東奈良遺跡：銅鐸形土製品 2／瓜生堂遺跡：青銅器鋳型、銅鐸形土製品、弥生土器 4／亀井遺跡：青銅器鋳造関連遺物 3、銅鐸 2、銅鐸形土製品 7、冠状木製品、弥生土器 10／山賀遺跡：弥生土器 2	36
交野市文化財事業団 7月6日～8月14日	平成 23 年度企画展「七夕伝説と星の信仰」	茄子作遺跡：布巻具	1
但馬国府・国分寺館 7月14日～8月30日	速報展「国内最古のコウノトリの足跡」	池島・福万寺遺跡遺跡：コウノトリの足跡（石膏型）、弥生土器	2
出雲弥生の森博物館 7月16日～9月19日	特別展「弥生人の姿－倭人伝の人々－」	亀井遺跡：分銅形土製品、邪視文土器／溝咋遺跡：人面線刻土器／池島・福万寺遺跡：人形土製品	4
大阪府立近つ飛鳥博物館 7月16日～9月4日	平成 23 年度夏季企画展「動物大百科－出土品から探る動物との関わり－」	瓜生堂遺跡：線刻須恵器、鳥形木製品／亀井遺跡：イヌ骨格、絵画土器、鉤形鹿製品、鹿角製ハンマー、鹿角製紡錘車、鹿角装刀子、ト骨 2／亀井北遺跡：鳥形木製品／巨摩遺跡：壺形土器／小阪合遺跡：須恵質鳥形土製品 2／城山遺跡：土馬／難波宮跡：絵馬／東奈良遺跡：絵画土器／船橋遺跡：土馬、土師質鳥形土製品／溝咋遺跡：土師質鳥形土製品／山賀遺跡：鳥形木製品／讃良郡条里遺跡：絵馬、絵馬（レプリカ）、須恵質鳥形土製品／池島・福万寺遺跡：馬鍬歯 2、素環式鏡板付轡、鳥形土製品	28

貸出先／期間	展示等名称	資 料 名	点数
大阪府立弥生文化博物館 7月16日～9月11日	平成23年度春季企画展「河内の ムラの物語ー池島・福万寺遺跡の 3500年ー」	池島・福万寺遺跡:銅鏃3、鏡4、土製鋳型5、 石錘4、縄文土器18、昆虫の羽根、猪牙製 装身具、土偶3、石斧、石棒5、叩石、磨石2、 石庖丁、トチノミ、扁平片刃石斧、コウノ トリの足跡石膏、人面土製品、土錘、弥生 土器32、U字型土製品、石製品105、円 筒埴輪2、近江、ガラス製勾玉、ガラス製 小玉4、ガラス製玉4、韓式系土器5、吉 備系甕、金銅製耳環、水晶製切子玉、須恵 器28、製塩土器、炭化米、砥石2、鳥形土 製品、土師器45、埴輪片2、須恵器、金属 製品90、黒色土器2、銅製鈴2、灰釉陶器、 墨書土器4、緑釉陶器、イヌの墓、馬の下 あご骨、瓦器7、柿経2、滑石鍋片2、陶 器2、木製品22、連結卒塔婆、スッポンの 骨、瓦質円板2、小柄、小柄の柄、磁器2、 硯、銭貨9、中国磁器6、鉄製品10、転用 円盤、陶磁器22、土製品33、ミニチュア 土製品4、井戸瓦2、井戸椀瓦、おもり石、 土管、貝化石62、火山灰	598
飛鳥資料館 8月2日～9月4日	平成23年度夏季企画展「鑄造技 術の考古学ー東アジアにひろがる 鑄物師のわざー」	太井遺跡:輪羽口5、トリベ(埴埴)4	9
日本教育情報学会 8月19日～8月22日	第27回例会資料	植松遺跡:甕形製塩土器	1
大阪府立近つ飛鳥博物館 9月17日～10月10日	スポット展「寝屋川市高宮遺跡の 発掘調査」	高宮遺跡:土師器4、須恵器2、韓式土器3、 鉄鋌	11
大阪歴史博物館 9月21日～10月28日	開館10周年記念特別展「民都大 阪の建築力」	旧大阪府庁舎跡:煉瓦7、タイル4、柱頭 装飾、大理石装飾2、瓦片	15
近鉄文化サロン 9月29日～10月7日	共催講座「触れて学ぶ 秀吉の大 坂城」	大坂城跡:青織部2、志野3、志野織部2、 唐津焼9、漳州窯産2、瀬戸美濃、李朝白 磁碗、犬型土製品3、金箔押瓦2、飾瓦3、 軒平瓦、丸瓦2、鯪瓦、漫瓶、木簡、焼塩 壺2	36
二上山博物館 10月1日～11月27日	平成23年度特別展「サヌカイト ー原始の鉄ー」	河原城遺跡:石鏃2、削器、接合資料6 / 三宅西遺跡、石鏃11、削器16、楔形石器 2、石核、石錐10、石小刀、尖頭器、打製 石剣、板状剥片2、剥片3、接合資料7 / 山ノ内B遺跡:石鏃10、石錐3、石匙、削 器5、楔形石器10、尖頭器、石核5、接合 資料 / 池島・福万寺遺跡:楔形石器2、削 器2、石核、石錐2、石鏃15、尖頭器2、 打製石剣5 / 久宝寺北遺跡:石鏃3、石錐、 楔形石器5、サヌカイト集積遺物11 / 久 宝寺遺跡:石鏃5、石小刀、剥片2、打製 石剣9、磨製石剣2 / 志紀遺跡:石鏃5、 削器、大形剥片、石小刀3、尖頭器、打製 石剣7、集積サヌカイト剥片6、敲石 / 山 賀遺跡:異形石器、石鏃2、石小刀4、石匙、 金山産サヌカイト遺物10、楔形石器10、 削器10、石錐11、石鏃15、打製石剣16、 打製石庖丁、磨製石斧 / 美園遺跡:石鏃5、 石錐5、石匙、削器2、楔形石器2、尖頭器2、 打製石剣5、石核4 / 田井中遺跡:石小刀、 楔形石器3、削器5、石核4、石錐3、石鏃5、 尖頭器7、打製石剣5、扁平片刃石斧、磨 製石剣先端部	336
愛媛県歴史文化博物館 10月8日～12月4日	特別展「邪馬台国時代の伊予・四 国」	久宝寺遺跡:準構造船復元資料、船形木製 品形木製品、外来系土器5 / 久宝寺1号墳: 讃岐系土器棺2 / 久宝寺遺跡49号墳:石杵、 石皿、朱塊 / 溝咋遺跡:石杵、石臼、結晶 片岩、外来系土器3	18

貸出先／期間	展示等名称	資 料 名	点数
大阪府立狭山池博物館 10月8日～12月4日	平成23年度特別展「古代狭山池と台地開発のはじまり」	郡戸遺跡：須恵器10、灰釉陶器4、土師器5、緑釉陶器5／河原城遺跡：須恵器5、軒丸瓦2、軒平瓦3、円面硯、中空円面硯、須恵器2、フイゴ羽口3、鉄滓26、円筒埴輪、土師器／観音寺遺跡：墨書土器2、土師器甕5、ミニチュア竈、陶磁器15、灯明台2、鉾滓、溶解炉片／丹上遺跡：円筒埴輪棺、黒色土器3、須恵器8、埴3、フイゴ羽口3、炉壁2、土師器5、不明銅製品／真福寺遺跡：越州窯系青磁2、円筒埴輪（棺転用）、須恵器13、墨書土器、軒平瓦、軒丸瓦、灰釉3、土師器4、緑釉陶器4、緑釉5、和同開珎2／太井遺跡：トリベ（埴塙）11、輪羽口6、くさび状鉄製品、須恵器3、統一新羅土器、軒丸瓦2、軒平瓦4、輪羽口	188
四條畷市歴史民俗資料館 10月12日～12月18日	平成23年度特別展「魂はどこへ―雁屋遺跡の方形周溝墓を中心に―」	讃良郡条里遺跡：甕、深鉢、石庖丁、炭化米	4
交野古文化同好会 10月13日～11月14日	平成23年度交野市文化祭「第二京阪道路巡りと周辺遺跡探訪」	上私部遺跡・私部南遺跡・有池遺跡・東倉治遺跡：いずれも写真パネル	パネル 4
尼崎市立田能資料館 10月25日～12月4日	第41回特別展「土器の一生―弥生時代の日常の道具―」	山賀遺跡：甕2、鉢／巨摩遺跡：土器棺2／亀井遺跡：甕2／久宝寺遺跡：壺蓋、壺3、高杯、甕／湊遺跡：製塩土器10	23
橿原考古学研究所附属博物館 12月10日～1月15日	「十二支の考古学―辰―」	八尾南遺跡：長頸壺	1
写真展実行委員会 11月8日～11月10日	「カメラは見ていた！第2京阪道路の着工から完成まで―上の山地区を定点で撮影―」	上の山遺跡：須恵器2、石庖丁	3
大阪府立近つ飛鳥博物館 1月21日～3月25日	平成23年度冬季特別展「歴史発掘おおさか2011―大阪府発掘調査最新情報―」	私部南遺跡：縄文土器5、須恵器2、角杯、土師器、輪羽口2、椀形滓／旧大阪府庁舎跡：建築材料、煉瓦2／吹田操車場遺跡：瓦器椀、土師質皿6／明和池遺跡：弥生土器12／高宮遺跡：鉄鋌	35
尼崎市立田能資料館 1月24日～3月20日	平成23年度企画展「高杯～食べ物を盛る器～」	城山遺跡：弥生土器7／亀井遺跡：赤彩高杯／八尾南遺跡：高杯脚部／小島北磯遺跡：製塩土器転用高杯	10
大阪府立弥生文化博物館 3月16日～	平成24年度春季企画展Ⅰ「弥生事件簿―弥生博がみた驚きの大ニュース―」	亀井遺跡：イヌ全身骨／下田遺跡：銅鐸／池島・福万寺遺跡：縄文土器、弥生土器3／久宝寺遺跡：土師器8	14
名鉄不動産株式会社 3月29日～	「旧大阪府庁舎出土品の展示」 於：「阿波座ライズタワーズ」マ ンションギャラリー	旧大阪府庁舎跡：煉瓦、柱頭装飾	2
大阪府立近つ飛鳥博物館 平成24年4月19日～	平成24年度春季特別展「王と首長の神まつり―古墳時代の祭祀と信仰―」	瓜生堂遺跡：銅戈、銅鐸形土製品／亀井遺跡：銅鐸形土製品5／讃良郡条里遺跡：斎串2、絵馬4、人面墨書土器3、人形4／難波宮跡：絵馬2、独楽、斎串状木製品、人形代2、男根状木製品、船形木製品	28
独立行政法人国際交流基金 平成24年9月3日～	「日本美術が笑う（仮）」 於：パリ日本文化会館	仏並遺跡：土面	1
島根県古代出雲歴史博物館 平成25年1月上旬～	企画展「匠の技―弥生木製品から出雲大社まで―」	亀井遺跡：白／下田遺跡：素環頭把装具	2
27 件			1430 点

b. 常設資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品をおこなった。

貸出先	展示等名称	貸出期間	資 料 名	点数
大阪府立弥生文化博物館	常設展示	4月1日 ～3月31日	新家遺跡／瓜生堂遺跡2／巨摩廃寺6／ 山賀遺跡6／亀井北遺跡／亀井遺跡26／ 田山47／西大路5／脇浜12／貝掛9	115
大阪府立近つ飛鳥博物館	常設展示	4月1日 ～3月31日	久宝寺遺跡6／美園古墳6／小阪遺跡40 ／日置荘遺跡2	54
大阪府立狭山池博物館	常設展示	4月1日 ～3月31日	城山遺跡：韓式土器5／日置荘遺跡：青 磁碗	6
吹田市立博物館	常設展示	4月1日 ～3月31日	吹田操車場遺跡：須恵器大型甕	1
堺市立みはら歴史博物館	常設展示	4月1日 ～3月31日	真福寺遺跡：梵鐘鑄造遺構切り取り	1
堺市立みはら歴史博物館	常設展示	4月1日 ～3月31日	真福寺遺跡：梵鐘鑄型等8、鑄型（外型） 用途不明、鑄型（外型）磬、瓦器碗2、東 播系こね鉢、土師器羽釜、鑄型（外型）鍋 2、轆轤口2、円面硯／余部遺跡：磬鑄型2、 釜鑄型／太井遺跡：轆轤口2、統一新羅印 花文陶器、延喜通寶3、埴塼4、轆轤口2、 須恵器高杯、丸柄／さば山古墳：円筒埴輪 2、朝顔形埴輪2／丹上遺跡：巡方	41
和泉市いずみの国歴史館	常設展示	4月1日 ～3月31日	福瀬遺跡：墨書皿（寺）、木製弓2、下駄 2、鉋台、桶底、椀、雁股式有茎鏃、小刀 ／仏並遺跡：縄文土器（鉢）、縄文土器（深 鉢）、土面レプリカ、パネル2／池田寺遺跡： 縄文土器（深鉢）、文字瓦（池田・堂）2	16 パネル 2
泉佐野市立歴史館いずみさの	常設展示	4月1日 ～3月31日	上町東遺跡：白磁碗2／若宮遺跡：檀波 羅密寺銘平瓦8／日置荘遺跡：鉄瓶	11
独立行政法人国立文化財機構 九州国立博物館	文化交流 常設展示	4月1日 ～3月31日	大庭寺遺跡：須恵器6	6
9件				253点

c. 写真資料の貸出

出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

貸出先	使用目的・展示等名称	資 料 名	点数
出雲弥生の森博物館	特別展「弥生人の姿－倭人伝の 人々－」	池島・福万寺遺跡：人形土製品／溝咋遺跡： 人面線刻土器／亀井遺跡：邪視文土器、分 銅形土製品	4
株式会社ベストセラーズ	一個人×歴史人物別冊「戦国武将 の城 MOOK」	大坂城跡：堀の発掘調査の様子	1
株式会社 NHK エディケー ショナル	NHK 高校講座 日本史「豊臣秀吉 の経済力」	大坂城跡：金箔瓦	1
滋賀県立安土城考古博物館	平成23年度春季特別展「大岩山 銅鐸から見えてくるもの」	池島・福万寺遺跡：コウノトリと人の足跡	1
阪神高速道路株式会社	阪神高速道路大和川線事業紹介パ ンフレット	池内遺跡：土師器甕、黒色土器碗	1

貸出先	使用目的・展示等名称	資 料 名	点数
大阪府立弥生文化博物館	平成 23 年度春季企画展「河内の ムラの物語ー池島・福万寺遺跡の 3500 年ー」	池島・福万寺遺跡：瓦器の埋納ピット、古 墳時代ムラ検出状況、コウノトリの足跡 2、 近世島島、島島断面、平安時代条里水田、 弥生時代前期前半墓域、弥生前期前半木棺 墓、弥生時代前期前半土器棺墓、弥生前記 前半墓の歯、弥生時代前期流路出土土器、 中世イヌの墓、中世出土銅銭、弥生時代前 期水田、前期ムラの検出状況、前期ムラ溝 木製品の検出状況、前期ムラ土錘の出土状 況、前期ムラ出土土器集合写真、弥生時代 後期水田、ウラカガミ、縄文後期土器集合 写真、断面のアカホヤ火山灰、断面の海棲 貝、縄文晩期土偶、石棒、弥生土器土器棺、 弥生時代後期堰、鳥形土製品、古墳時代装 飾品、古墳時代滑石製品、中世島島、土人 形、井戸 3、噴砂、古墳時代青銅製品、墨 書土師器「日下宅」、板塔婆、銅鈴、弥生 時代後期木製導水管、古墳時代玉出土状況 (池島地区)、治水緑地全景、断面	45
大阪府立近つ飛鳥博物館	平成 23 年度夏季企画展「動物大 百科ー出土品から探る動物との関 わりー」	亀井遺跡：亀井 1・2 号犬出土状況／讃良 郡条里遺跡：絵馬出土状況、獣骨出土状況 ／大坂城跡：犬形土製品／池島・福万寺遺 跡：馬鐙の歯の痕跡、コウノトリの足跡、 人と動物の足跡／亀井北遺跡：鳥形木製品 ／難波宮跡：絵馬／瓜生堂遺跡：線刻須恵 器（轡引く馬）	10
独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所飛鳥資料館	平成 23 年度夏季企画展「鑄造技 術の考古学ー東アジアにひろがる 鑄物師のわざー」	太井遺跡：鑄造工房出土埴塼、鑄造工房溝 出土輪羽口実測図 11	12
大阪府立弥生文化博物館	平成 23 年度夏季特別展「豊饒を もたらす響き 銅鐸」 リーフレット、展示パネル	下田遺跡：銅鐸側面 2、銅鐸 A 面、銅鐸 B 面、銅鐸上面、銅鐸下面、埋納された銅鐸 ／瓜生堂遺跡：青銅器鋳型、弥生土器高杯、 弥生土器壺 2／亀井遺跡：銅鐸 2 点俯瞰、 青銅器鑄造関連遺物俯瞰、弥生土器高杯 2、 弥生土器壺 2、冠状木製品、銅鐸形土製品、 銅鐸形土製品俯瞰／池島・福万寺遺跡：コ ウノトリの足跡検出状況写真 2／山賀遺 跡：弥生土器壺 2／池上・曾根遺跡：弥 生土器／瓜生堂遺跡・亀井遺跡：銅鐸形土 製品集合／上フジ遺跡：銅鐸形銅製品／東 奈良遺跡：銅鐸形土製品 2	29
奈良大学入学センター	講演会、シンポジウム「縄文人の 精神生活ーその秘密に迫るー」広 報用資料	仏並遺跡：土製仮面	1
大阪歴史博物館	講演会「大阪の歴史を掘る 2011」	大庭寺遺跡：TG232 号窯跡灰原全景、 TG232 号窯跡灰原出土土器、TG231 号窯 跡灰原出土土器	3
神戸新聞但馬総局	記事	池島・福万寺遺跡：コウノトリの足跡	1
二上山博物館	平成 23 年度特別展「サヌカイト ー原始の鉄ー」展示図録	久宝寺遺跡：縄文時代包含層サヌカイト集 積出土状況	1
阪南市	「阪南市市制施行 20 周年記念誌」	井山城跡：遠景	1
独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所	HP「コラム作寶楼」	池島・福万寺遺跡：コウノトリ足跡、人と コウノトリの足跡群	2
財団法人交野市文化財事業団	「交野の歴史」(DVD)	上の山遺跡：掘立柱建物 2／私部南遺跡： 竪穴建物完掘状況 2、竪穴建物検出状況 4、 出土遺物 2	10
	交野市広報誌 8 月号	茄子作遺跡：織機部材	1

貸出先	使用目的・展示等名称	資 料 名	点数
株式会社学研教育出版	独立行政法人国立科学博物館発行「milsil」	池島・福万寺遺跡：コウノトリ足跡	1
鈴鹿市	平成 23 年度鈴鹿市考古博物館企画展「河曲の考古学―各地との交流―」	溝咋遺跡：人面土器	1
個人	日本教育情報学会第 27 回例会 発表要旨集	植松遺跡：実測図／遺跡調査基本マニュアル	2
財団法人交野市文化財事業団	交野市広報誌 9 月号	私部南遺跡：腰帯具巡方	1
財団法人八尾市文化財調査研究会（八尾市立歴史民俗資料館）	平成 23 年度特別展「八尾の至宝―八尾市指定文化財 20 周年記念―」	美園古墳：周濠内埴輪出土状態 2、家形埴輪・壺形埴輪	3
個人	東大阪市岩田西地区郷土史誌「岩田のれきし」	瓜生堂遺跡：周溝墓主体部、円筒埴輪集合／岩田遺跡：古代遺構面全景、井戸出土遺物、水田検出状況、井戸枠出土状況、中世遺構面全景	8
大阪歴史博物館	常設展「近代都市の建設」、写真パネルコーナー	旧大阪府庁舎跡：発掘調査状況 5	5
大阪歴史博物館	写真パネルコーナー	旧大阪府庁舎跡：発掘調査状況 8	8
東京法令出版株式会社	「みつけよう？と！歴史資料」（中学生向け副読本）	大庭寺遺跡：須恵器	1
株式会社童夢	光村教育図書株式会社発行「広がる！漢字の世界② 漢字が日本にやってきた！」	亀井遺跡・巨摩遺跡：貸泉	1
財団法人元興寺文化財研究所	平成 23 年度秋季特別展「極楽行きのタイムカプセル」展示解説書	栗栖山南墳墓群：石組	1
貝塚市教育委員会	市史「貝塚市の 70 年」	石才南遺跡：竪穴建物等検出状況	1
個人	学生社「古墳社会と地域経営」	上の山遺跡：掘立柱建物図版／尺度遺跡：庄内期集落変遷図、集落中枢部推定復元図	3
四條畷市歴史民俗資料館	平成 23 年度特別展「魂はどこへ―雁屋遺跡の方形周溝墓を中心に―」	讃良郡条里遺跡：調査地全景、甕棺、弥生土器、土器、炭化米、石包丁	6
大阪府立狭山池博物館	平成 23 年度特別展「古代狭山池と台地開発のはじまり―」	河原城遺跡：竪穴建物と掘立柱建物、竪穴建物、円筒埴輪転用井戸、井戸、鍛冶炉検出状況／郡戸遺跡：調査地全景、建物群／真福寺遺跡：土壇墓群、土壇墓遺物出土状況、白炭窯、瓦窯群、条里坪境溝、建物 2、溝群／観音寺遺跡：調査地全景、F 地区全景 2、第二遺構面、竪穴建物内竈、ピット群全景、断面、大溝／丹上遺跡：調査区全景、飛鳥時代遺構全景、溝、円筒埴輪棺、掘立柱建物 4、土坑遺物出土状況、溝 2、A 地区全景、土師器出土状況／太井遺跡：調査区と黒姫山古墳、鑄造工房 3、トレンチ 2、全景 2、さば山古墳と黒姫山古墳、木製導水管、池島・福万寺遺跡：取水施設、堰	48
但馬国府・国分寺館	速報展「国内最古のコウノトリの足跡」	池島・福万寺遺跡：全景、足跡群	2
愛媛県歴史文化館	特別展「邪馬台国時代の伊予・四国」	久宝寺遺跡：準構造船模型、準構造船出土状況／溝咋遺跡：石杵・石臼／久宝寺遺跡 49 号墳：朱・石杵・石臼	4

貸出先	使用目的・展示等名称	資 料 名	点数
尼崎市立田能資料館	第 41 回特別展「土器の一生－弥生時代の日常の道具－」	巨摩遺跡：3 号墓／久宝寺遺跡：竪穴建物	2
奈良県立橿原考古学研究所	特別陳列「十二支の考古学－辰－」	八尾南遺跡：弥生絵画土器	1
大阪府立近つ飛鳥博物館	平成 23 年度冬季特別展「歴史発掘おおさか 2011 －大阪府発掘調査最新情報－」	私部南遺跡：土坑出土遺物 2、縄文土器 2、竪穴建物、竈内遺物出土状況、竈内土器設置状況／高宮遺跡：竪穴建物／明和池遺跡：竪穴建物と川の跡／吹田操車場遺跡：木棺墓、出土遺物／旧大阪府庁舎跡：現地説明会資料より 6	17
朝日カルチャー	講座案内	大坂城跡：三の丸調査地全景	1
共同通信社	配信記事	吹田操車場遺跡：汽車土瓶 7	7
財団法人広島市未来都市創造財団	「ひろしま WEB 博物館」	大庭寺遺跡：須恵器集合写真	1
静岡市教育委員会	登呂博物館平成 23 年度企画展Ⅳ「弥生のファッションショー」	巨摩遺跡：木製竪櫛	1
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館	企画展「" 漁具のいまむかし " 展」	山賀遺跡：釜検出状況	1
静岡市教育委員会	登呂博物館平成 23 年度特別展「赤い土器の世界」	山賀遺跡：彩文土器出土状況	1
大阪府立近つ飛鳥博物館	平成 24 年度春季特別展「王と首長の神まつり－古墳時代の祭祀と信仰－」	瓜生堂遺跡：銅戈／亀井遺跡・瓜生堂遺跡：銅鐸を模した土製品 5／下田遺跡：銅鐸／難波宮跡：難波宮と調査地、木製品、絵馬／讃良郡条里遺跡：絵馬 2、人面墨書土器集合、堰・杭列・人形検出状況	14
個人	奈良文化財研究所「文化財論叢Ⅳ」	太井遺跡：鞆羽口 3、鞆羽口実測図	4
尼崎市立田能資料館	平成 23 年度企画展「高杯～食べ物を盛る器～」	八尾南遺跡：弥生土器	1
独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所飛鳥資料館	「飛鳥資料館研究図録」第 14 冊	太井遺跡：鞆羽口 3	3
大阪府教育委員会文化財保護課	発掘調査成果の公開啓発	久宝寺遺跡：水田遺構 2、墳墓群 2、土器 2	6
茨木市史編さん委員会	「新修茨木市史」第一巻 通史 I	溝咋遺跡：線刻土器、製塩土器、外来系土器割合図、搬入礫／栗栖山南墳墓群：全体図	5
世界塩の探検館「ソルトクルーズ」	情報誌「えんむすび」	湊遺跡：製塩土器群	1
	写真展示	西大路遺跡：製塩土器	1
大阪府立弥生文化博物館	平成 24 年度春季企画展Ⅰ「弥生事件簿－弥生博がみた驚きの大ニュース－」	亀井遺跡：亀井 1・2 号犬出土状況／下田遺跡：銅鐸／久宝寺遺跡：井戸、井戸出土土器	4
株式会社汲古書院	東アジア海域叢書 10「寧波と宋風石造文化」	椋谷石切場跡：石切場跡、工具痕 2	3
株式会社中央公論新社	中公新書「飛鳥の木簡」	大坂城跡：戊辰年木簡、赤外線写真	2

貸出先	使用目的・展示等名称	資 料 名	点数
個人	学生社「土器から見た日本と新羅の国家形成（仮）」	太井遺跡：土器実測図	1
堺市博物館	常設展「よみがえる中世の堺ー堺環濠都市遺跡の発掘調査ー（仮）」	堺環濠都市遺跡：濠全景、濠断面	2
大阪府教育委員会文化財保護課	報道提供資料	難波宮跡：木簡	1
個人	文部科学省科学研究費成果報告書	太秦遺跡・巨摩遺跡・大庭寺遺跡：いずれも石斧、実測図／尺度遺跡・軽部池西遺跡：いずれも石斧実測図／石才南遺跡：石斧	9
株式会社長谷工コミュニティー	大阪府立江之子島文化芸術総合センターオープニングフェスタ	旧大阪府庁舎跡：現地説明会資料掲載写真	18
57 件			327 点

（２）出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

（３）図書の出版・販売

a. 図書の出版

平成 23 年度は、下記の図書を出版した。

1	池島・福万寺遺跡 12
2	池島・福万寺遺跡 13
3	吹田操車場遺跡Ⅶ
4	大和川今池遺跡・天美西遺跡
5	瓜生堂遺跡 4・岩田遺跡 2・花屋敷遺跡 3
6	菰屋北遺跡Ⅱ
7	大町遺跡Ⅲ
8	和泉寺跡・府中遺跡
9	平尾遺跡
10	金岡遺跡
11	芹生谷遺跡Ⅱ
12	狭山藩陣屋跡
13	ミヤケ北遺跡
14	府中遺跡・豊中遺跡・板原遺跡
15	奥井遺跡Ⅱ・太井遺跡Ⅰ発掘調査概要
16	高木遺跡発掘調査概要

※ 6 から 16 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

b. 図書の販売

平成 23 年度は、次のとおり販売した。

販売総数 1,969 冊

販売金額 10,2398,299 円（税抜き）

V 大阪府立弥生文化博物館事業

1 常設展示

(1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米づくりの始まり」「新しい技術の誕生」「ムラ・戦い・クニ」「交流」「死とまつり」「弥生人」の6つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示。

弥生プラザ（最新情報コーナー）展示替

「銅鐸づくりのムラの土器―茨木市東奈良遺跡の方形周溝墓供献土器―」

平成22年9月4日（日）～平成23年5月12日（木）≪206日間≫

「府中遺跡の縄文土器」 平成23年5月14日（土）～ 11月11日（金）≪156日間≫

「守口市八雲遺跡の石器」 平成23年12月10日（土）～平成24年3月31日（金）≪89日間≫

(2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」という名称で、池上曾根遺跡から出土した資料のみを展示。

2 特展企画展事業

(1) 春季企画展「河内のムラの物語 池島・福万寺遺跡の3500年」

≪入館者数： 5,965名≫

開催概要 池島・福万寺遺跡は、弥生時代前期にいち早く稲作を取り入れて以来、現代に至るまでたび重なる洪水を克服しながら水田耕作が営まれてきた。本展では、20年以上にわたる調査で出土した農耕具をはじめ、彩文のある木器や柿経などの資料をもとに洪水とともに生きた人びとの軌跡をたどった。

開催期間 平成23年5月21日（土）～7月3日（日） ≪38日間≫

開催場所 特別展示室

入館料 一般400円（320円） 65歳以上および高校大学生300円（240円）（ ）内は団体割引料金

印刷物 リーフレット「河内のムラの物語 池島・福万寺遺跡の3500年」（5月20日発行）

展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

5月22日（日）、6月11日（土）、6月25日（土）

≪参加者数：計75名≫

ワークショップ 6月4日（土）「子ども絵画教室―卑弥呼の時代を描こう―」

講師：早川和子（イラストレーター）

≪参加者数： 9名≫

(2) 夏季特別展「豊饒をもたらす響き 銅鐸」

≪入館者数：7,175名≫

開催概要 銅鐸は、稲作の伝来からはじまった弥生時代において、古くより作られ、稲作で生きる人びとの社会の成熟とともに、その姿や大きさを変えながらまつりの道具として使われていた。

古墳時代のはじまりとともに姿を消した銅鐸は、弥生時代に生きた弥生人の思いを伝える弥生文化のシンボルであり、本展では、弥生時代前期末から中期後半の銅鐸を中心に展示し、弥生人が銅鐸に託した想いについて探った。

開催期間 平成23年7月16日（土）～9月11日（日） ≪50日間≫

開催場所 特別展示室

入館料 一般600円（480円） 65歳以上および高校大学生400円（320円）（ ）内は団体割引料金

印刷物 図録「豊饒をもたらす響き 銅鐸」（7月16日発行）

大人用リーフレット「豊饒をもたらす響き 銅鐸」（7月16日発行）

子ども用リーフレット「豊饒をもたらす響き 銅鐸」（7月16日発行）

展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。 ≪参加者数：計250名≫

7月16日（土）、7月23日（土）、7月31日（土）、8月7日（日）、8月14日（日）、
8月27日（土）、9月11日（日）

ワークショップ 7月29日（金）「銅鐸に色をぬろう」 ≪参加者数： 33名≫

8月13日（土）・28日（日）「銅鐸をつくろう」※定員各日50名

≪参加者数：計209名≫

（3）秋季特別展「弥生文化のはじまりー土井ヶ浜遺跡と響灘周辺ー」

≪入館者数：11,893名≫

開催概要 山口県土井ヶ浜遺跡で見つかった弥生人の骨は、朝鮮半島からの渡来者と縄文人との関連をものがたり、弥生時代のはじまりについての研究をうながす契機となった。本展では、土井ヶ浜遺跡を中心に、響灘周辺の遺跡の最新資料をもとに、弥生時代のはじまりと彼らを取りまく社会に迫った。

開催期間 平成23年9月23日（金祝）～11月23日（水祝） ≪53日間≫

開催場所 特別展示室

入館料 一般600円（480円） 65歳以上および高校大学生400円（320円）（ ）内は団体割引料金

印刷物 図録「弥生文化のはじまりー土井ヶ浜遺跡と響灘周辺ー」（9月23日発行）

大人用リーフレット「弥生文化のはじまりー土井ヶ浜遺跡と響灘周辺ー」（9月23日発行）

子ども用リーフレット「弥生文化のはじまりー土井ヶ浜遺跡と響灘周辺ー」（9月23日発行）

展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。 ≪参加者数：計273名≫

9月23日（金祝）、9月25日（日）、10月2日（日）、10月15日（土）、10月30日（日）、
11月13日（日）

ワークショップ 10月8日（土）「土笛（陶埴）つくって演奏会」※定員30名 ≪参加者数：21名≫

11月5日（土）「消しゴムで？ができちゃった」※定員30名 ≪参加者数：46名≫

（4）冬季企画展Ⅰ「子規の叔父 加藤拓川が残した絵葉書ー明治を生きた外交官の足跡」

≪入館者数：4,086名≫

開催概要 外交官である加藤拓川が、甥の正岡子規や秋山好古、真之兄弟、西園寺公望など、多彩な人物との交流や時代のようにすを描いた絵葉書をもとに、小説「坂の上の雲」に表現された明治時代を身近に感じてもらう展示をおこなった。

開催期間 平成23年12月3日（土）～平成24年1月29日（日） ≪42日間≫

開催場所 特別展示室

入館料 一般 400 円 (320 円) 65 歳以上および高校大学生 300 円 (240 円) () 内は団体割引料金
印刷物 リーフレット「子規の叔父 加藤拓川が残した絵葉書—明治を生きた外交官の足跡」(12 月 3 日発行)
展示解説 特別展示室において所蔵者(正岡 明)による展示解説を実施した。
12 月 3 日(土)、12 月 17 日(土)、1 月 14 日(土) ≪参加者数: 計 124 名≫

(5) 冬季企画展Ⅱ「とんぼ玉 100 人展—ガラスの中の夢—」

≪入館者数: 9,354 名≫

開催概要 エジプトやメソポタミア地方から中国を経て、弥生時代に日本に伝わってきたとんぼ玉が、小さな球体の中に繰り広げる世界は、夢幻そのもの。その逸品を現代とんぼ玉作家の作品を全国から公募し、展示した。

開催期間 平成 24 年 2 月 4 日(土)～3 月 20 日(火祝) ≪39 日間≫

開催場所 特別展示室

入館料 一般 400 円 (320 円) 65 歳以上および高校大学生 300 円 (240 円) () 内は団体割引料金

製作実演 2 月 26 日(日) 増井敏雅 ≪参加者数: 184 名≫

3 月 3 日(土) 内田敏樹 ≪参加者数: 179 名≫

3 月 11 日(日) 西川友敬 ≪参加者数: 172 名≫

製作体験 2 月 12 日(日)、2 月 18 日(土)、2 月 25 日(土)、3 月 10 日(土)、3 月 17 日(土)
※定員各日 54 名 ≪参加者数: 計 265 名≫

3 その他展示事業

(1) 春季企画展示「創作展 いずみ」

≪入館者数: 10,736 名≫

開催概要 地元和泉市文化協会の美術 11 部門(押し花、木彫り、写真、書道、水墨画、ちぎり絵、陶芸、南画、日本画、俳画、洋画)の粋を集めた展示をおこなった。

開催期間 平成 23 年 4 月 1 日(金)～5 月 8 日(日) ≪34 日間≫

開催場所 特別展示室・エントランスホール

入館料 一般 400 円 (320 円) 65 歳以上および高校大学生 300 円 (240 円) () 内は団体割引料金

4 講演会事業

(1) 春季企画展関連

考古学セミナー

5 月 22 日(日) ≪参加者数: 79 名≫

「弥生のムラの物語」三宮昌弘(公益財団法人大阪府文化財センター)

「古墳のムラの物語」森本 徹(大阪府立近つ飛鳥博物館)

6 月 11 日(土) ≪参加者数: 87 名≫

「ムラの地形の変化」井上智博(公益財団法人大阪府文化財センター)

「ムラの環境の変化」辻本裕也(パリノ・サーヴェイ株式会社)

6 月 25 日(土) ≪参加者数: 121 名≫

「ムラの祈り」水野正好(公益財団法人大阪府文化財センター理事長・奈良大学名誉教授)

(2) 夏季特別展関連

a. 特別講演会

7月16日(土)「銅鐸とは何か」 《参加者数：96名》

水野正好(公益財団法人大阪府文化財センター理事長・奈良大学名誉教授)

9月11日(日)「弥生時代祭祀と銅鐸」 《参加者数：262名》

金関 恕(大阪府立弥生文化博物館館長)

b. 考古学セミナー

7月31日(日)「銅鐸の出現と展開」 難波洋三(奈良文化財研究所) 《参加者数：150名》

8月7日(日)「銅鐸に描かれた世界」 《参加者数：137名》

春成秀爾(国立歴史民俗博物館名誉教授)

8月14日(日)「銅鐸を発掘した人びとの語り」 《参加者数：137名》

水野正好(公益財団法人大阪府文化財センター理事長・奈良大学名誉教授)

藤沢真依(大阪府教育委員会)

c. ジョイントセミナー

8月27日(土)「大岩山銅鐸からみえてくるもの」 《参加者数：136名》

鈴木康二(滋賀県立安土城考古博物館)

(3) 秋季特別展関連

a. 考古学セミナー

9月23日(金祝)「人骨から弥生人のルーツをさぐる」 《参加者数：214名》

松下孝幸(土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム名誉館長)

10月30日(日)「長門豊浦の地—女王国の門戸—」 《参加者数：143名》

水野正好(公益財団法人大阪府文化財センター理事長・奈良大学名誉教授)

11月13日(日)「響灘沿岸砂丘に眠る弥生人」 《参加者数：165名》

乗安和二三(山口県埋蔵文化財センター所長)

b. 記念シンポジウム

《参加者数：407名》

開催日 11月23日(水祝)

場 所 オーバルホール

内 容 「弥生土器からみた土井ヶ浜弥生人」田畑直彦(山口大学埋蔵文化財資料館助教)

「韓国・金海会峴里貝塚の発掘と弥生文化への影響—骨角器と金属器を中心に—」

松井 章(奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長)

「貝製品から見える韓半島との関係」木下尚子(熊本大学教授)

「弥生人骨が解き明かした日本人の起源」中橋孝博(九州大学大学院教授)

討論「弥生文化のはじまり」

コーディネーター：金関 恕(大阪府立弥生文化博物館館長)

パネリスト：田畑直彦、松井 章、木下尚子、中橋孝博、三好孝一(大阪府立弥生文化博物館副館長兼学芸課長)

(4) 冬季企画展 | 関連

a. 講演会

- 12月10日(土)「絵はがき事始め」生田 誠(絵葉書研究家) 《参加者数: 43名》
12月17日(土)「拓川と明治の人びと」正岡 明(正岡子規研究所) 《参加者数: 130名》
1月14日(土)「拓川と子規」和田克司(大阪成蹊短期大学名誉教授) 《参加者数: 143名》
1月28日(土)「拓川と関西財界人」大塚 融(経済史研究家) 《参加者数: 95名》

(5) 春の連続講演会

- 3月24日(土)「年輪からここまでわかった弥生の年代」 《参加者数: 95名》
光谷拓実(奈良文化財研究所埋蔵文化財センター年代学研究室客員研究員)
3月25日(日)「描かれた弥生」 《参加者数: 97名》
水野正好(公益財団法人大阪府文化財センター理事長・奈良大学名誉教授)
3月26日(月)「3世紀の頃の倭と韓半島―邪馬台国問題の背景を考える―」 《参加者数: 137名》
藤田憲司(元大阪府立近つ飛鳥博物館副館長兼学芸課長)
3月27日(火)「弥生時代の生活を復原してみよう」 《参加者数: 73名》
深澤芳樹(奈良文化財研究所都城発掘調査部長)
3月28日(水)「ラオスの少数民族の村から弥生文化を想う」 《参加者数: 77名》
松井 章(奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長)
3月29日(木)「木の鳥のさえずり」 《参加者数: 97名》
金関 恕(大阪府立弥生文化博物館館長)
3月30日(金)「東アジアにおける穀物の伝わり―東アジア穀物文化圏とは?―」 《参加者数: 96名》
佐藤洋一郎(総合地球環境学研究所副所長)
3月31日(土)「高地性集落研究の最前線」 《参加者数: 112名》
森岡秀人(芦屋市教育委員会文化財担当主査)
《8回シリーズ参加者数: 延べ784名》

(6) 弥生時代入門講座(近畿弥生の会)

- 6月18日(土)「遺跡・遺構から考える弥生時代」 《参加者数: 97名》
伊藤淳史(京都大学文化財総合研究センター助教)
8月20日(土)「発掘調査の方法―和泉市内遺跡の事例から―」 《参加者数: 76名》
土屋みづほ(大阪府教育委員会副主査)
10月15日(土)「大和の弥生遺跡を考古学的に観る」 《参加者数: 89名》
池田保信(埋蔵文化財天理教調査団主任)
12月3日(土)「櫛描簾状文様がとりもつ縁―弥生中期の泉州と中河内地域―」 《参加者数: 55名》
濱田延充(寝屋川市教育委員会文化振興課技手)
2月11日(土)「韓半島と弥生時代の近畿地域」 《参加者数: 139名》
川上洋一(奈良県立橿原考古学研究所総括研究員)

(7) 学芸員連続講座「考古学から考える日本と世界の食文化」

- 2月3日(金)「ユダヤ人の食生活―イスラエル発掘調査の体験から―」 《参加者数: 51名》
金関 恕(大阪府立弥生文化博物館館長)

- | | |
|-------------------------------------|---------------|
| 2月 7 日（火）「コメ作りがはじまった頃の大阪」 | 《参加者数： 72 名》 |
| 三好孝一（大阪府立弥生文化博物館副館長兼学芸課長） | |
| 2月 10 日（金）「古代北海道オホーツク海沿岸の食文化」 | 《参加者数： 60 名》 |
| 塚本浩司（大阪府立弥生文化博物館主任学芸員） | |
| 2月 14 日（火）「出土遺物からみる食文化」 | 《参加者数： 59 名》 |
| 正岡大実（大阪府立弥生文化博物館主任学芸員） | |
| 2月 17 日（金）「池上曾根遺跡の台所事情」 | 《参加者数： 80 名》 |
| 角南なつみ（大阪府立弥生文化博物館学芸員） | |
| 2月 21 日（火）「いま「石鍋」がアツい！ー長崎から北へ、南へー」 | 《参加者数： 57 名》 |
| 柴田妃三光（大阪府立弥生文化博物館学芸員） | |
| 2月 24 日（金）「中米食文化を支えたもの」 | 《参加者数： 65 名》 |
| 木野戸 直（大阪府立弥生文化博物館学芸員） | |
| 2月 29 日（金）「古代日本の食はかにかに東アジアの影響を受けたか」 | 《参加者数： 115 名》 |
| 水野正好（公益財団法人大阪府文化財センター理事長・奈良大学名誉教授） | |

- | | |
|--------------------------|------------|
| 2月28日（火）「道昭和尚と救済－その考古学」 | 《参加者数：86名》 |
| 3月7日（水）「行基菩薩と救済－その考古学」 | 《参加者数：95名》 |
| 3月13日（火）「重源上人と救済－その考古学」 | 《参加者数：93名》 |
| 3月20日（火祝）「叡尊上人と救済－その考古学」 | 《参加者数：92名》 |
- 水野正好（公益財団法人大阪府文化財センター理事長・奈良大学名誉教授）

a. 池上曾根史跡公園開園 10 周年記念協賛フォーラム「池上曾根遺跡と史跡整備」

「古代ロマン再生への道のり」 広瀬雅信（大阪府教育委員会）
 「池上曾根遺跡の調査と史跡整備」 乾 哲也（和泉市教育委員会）
 鼎談「池上曾根遺跡と史跡整備」 コーディネーター：金関 恕（大阪府立弥生文化博物館館長）
 パネリスト：広瀬雅信、乾 哲也

6月19日(日) 《参加者数：58名》

「縄文人のエコロジーとエコノミー—関西人の原型を探る—」

「弥生人のものづくり—人はいかに木を利用してきたか—」

c. 弥生プラザ関連講演会

大野 薫（大阪府教育委員会）

2月 4 日（土）「八雲遺跡の石器－入門！弥生石器の見方－」　　　　　《参加者数： 27 名》
西口陽一（大阪府教育委員会）

d. 「古代史発掘—この大阪」

江浦 洋（公益財団法人大阪府文化財センター）

水野正好（公益財団法人大阪府文化財センター理事長・奈良大学名誉教授）

市村慎太郎（公益財団法人大阪府文化財センター）

1月21日（土）「貝は語る」

「大坂における中・近世の遺跡から出土する貝類」池田 研（大阪歴史博物館学芸員）

討論「貝は語る」 コーディネーター：金関 恕（大阪府立弥生文化博物館館長）

f. 水野正好先生特別講演会

2月9日(木)「古代日本の国家と外交」

3月31日(木)「池上曾根遺跡と弥生文化博物館」 《参加者数：98名》

g. 四條畷市立公民館平成 23 年度歴史講座〈考古学から見る歴史〉

正岡大実（大阪府立弥生文化博物館主任学芸員）

2月 1 日 (水)「古代の社会」

《参加者数：44名》

5 「府民が参加する博物館」事業

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会がおこなった。

5月8日(日) フルートとピアノ 珠玉の名曲たち

竹内あすか（フルート）小濱加奈子（ピアノ）

- 5月15日(日) ピアノでめぐる世界の旅
金田仁美(ピアノ) 《参加者数：207名》
- 5月29日(日) Le monde irisé ～虹色の世界～
Piano duo Enjoue：鈴木彰子・西山亜弓(ピアノ) 《参加者数：128名》
- 6月12日(日) 水面に歌う～旅と憧れの調べ～
シューベルティアード・ブルンネン
：笹山晶子(ソプラノ) 岡本篤子(メゾソプラノ) 橋本久美子(ホルン)
岡村星見(作曲・ピアノ) 黒田千賀子(ピアノ) 《参加者数：238名》
- 6月26日(日) 水無月コンサート～ピアノと木管の饗宴～
デュオ・インティモ PLUS：水藻俊明(フルート) 中澤 保(ファゴット)
米倉典子(ピアノ) 《参加者数：194名》
- 7月10日(日) 19世紀に活躍したロマン派の作曲家たち
宇賀治和子(ピアノ) 《参加者数：166名》
- 7月24日(日) 癒し音たまたま箱～風に乗って～
びばる～ん：井谷清子(カリンバ) 高橋公世(オカリナ) 堀内徹三(チェロ)
浅野昭二(パーカッション) 《参加者数：249名》
- 7月30日(日) SOUVENIR ～井阪あゆみ・北住里恵 デュオコンサート～
井阪あゆみ(ピアノ) 北住里恵(フルート) 《参加者数：186名》
- 8月21日(日) 音の情景
大淵雅子(ピアノ) 《参加者数：204名》
- 9月 4日(日) À la carte du Rêve
Rêve：勝田真優(フルート) 中塚真紀(ヴァイオリン) 出口頼子(ピアノ) 《参加者数：191名》
- 9月10日(日) ブルースの歴史をたどる～ビートルズもビヨンセも、すべてはここから始まった～
ORG.PROJECT：野田充有(ピアノ) 篠原 聡(ギター) 前川和生(ドラム) 《参加者数：269名》
- 9月25日(日) 秋風と虹の音色にのせて
Rainbow Notes：上畑藍子・瀧川あづさ・田仲真弓・吉岡奈美(ソプラノ)
／秋本久美(ピアノ) 《参加者数：204名》
- 10月 9日(日) ～光と愛と水の戯れ～☆クラシックピアニスト藤井輝彦の世界☆
藤井輝彦(ピアノ) 《参加者数：192名》
- 10月29日(土) Piano Duo Recital ～ピアノソロと連弾で綴る秋の調べ～
福島聖子(ピアノ) 武市直子(ピアノ) 《参加者数：173名》
- 11月 6日(日) ピアノとともに☆爽やかに、華やかに、楽しいひとときを
もりのくるみ(ピアノ) 《参加者数：129名》
- 11月20日(日) ヘンデルとグレーテル～オペラで楽しむグリム童話～
北井春花・高木未知子・仁田多恵(ソプラノ) 松田恵美(メゾソプラノ)
高垣 節(ピアノ) 《参加者数：247名》
- 12月 4日(日) 音のたまたまばこ
藤井朋子(ソプラノ) 中本吉啓(クラリネット) 石田真由・吉澤友里絵(ピアノ) 《参加者数：188名》
- 12月18日(日) 天使の響き Part 5～ハンドベル・コンサート～
ドリーム 21 ハンドベル教室 指揮・指導：高木至通・高木希見子 《参加者数：229名》

- 1月8日(日) やよい新春コンサート～煌くピアノの調べ～ 《参加者数：264名》
大槻知世・野崎沙織(ピアノ)
- 1月22日(日) 音楽の泉～きらめく音の戯れ～ 《参加者数：298名》
アンサンブル・テオフィール：辻合佑璃(フルート) 田久保友妃(ヴァイオリン)
古川真也(サクソフォン) 植田祐加里(ピアノ)
- 2月5日(日) ドイツの息吹”かぜ” 《参加者数：302名》
中牟田 信(ホルン)・中牟田豊子(ピアノ)
- 2月19日(日) ドイツ浪漫紀行～シューマン・ブラームスを訪ねて～ 《参加者数：315名》
奥村由起(ソプラノ)・池本三太(ピアノ)
- 3月4日(日) My Favorite Things 《参加者数：324名》
玉井都茂子(ソプラノ) 仲西 真(コントラバス)
霧 圭子・吉田 薫・仲西洋子(ピアノ)
- 3月18日(日) ピアノで春めく弥生のひととき 《参加者数：176名》
常瑠里子・原田祐子・佐藤さや香(ピアノ)

(2) ミニギャラリー

エントランスホールで絵画等の展示をおこなった。

- 10月10日(月祝)～10月28日(金)「佐藤一正絵画展～日本の風景を描く～」(油絵他)
出展：佐藤一正 《16日間・会期内入館者数：5,311名》
- 11月8日(火)～11月19日(土)「光とガラスが織りなす色の演出～G.A.G.ステンドグラス教室作品展～」
出展：G.A.G.ステンドグラス教室 《11日間・会期内入館者数：2,680名》
ワークショップ 11月11日(金)、11月12日(土)、11月16日(水)
「ランプシェードをつくろう」※定員各日8名 《参加者数：計30名》
- 2月7日(火)～2月18日(土)「藤岡早苗のパッチワークキルト展」
出展：藤岡早苗 《11日間・会期内入館者数：2,278名》
- 3月6日(火)～3月17日(土)「清水千真と社中展－希望の光 歩みだせ日本－」(書)
出展：清水千真 ほか 《11日間・会期内入館者数：3,154名》

(3) 第16回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品をエントランスホールで展示するとともに、全作品を第一展示室内等に展示した。

審査員：小灘一紀(洋画家・日展評議員) 上田正克(児童画指導者・元泉大津市立浜小学校校長)

応募期間：6月1日(水)～6月30日(木)

応募点数：1,059点(小学生1,031点・中学生28点)

表彰式：8月6日(土) 《参加者数：67名》

金賞「米をはこぶ人」竹内春樹(堺市立福泉上小学校6年)

金賞「卑弥呼の時代を描こう」宮田寛太(堺市立茶山台小学校6年)

優秀作品展：8月6日(土)～8月20日(土) 《13日間・会期内入館者数：2,231名》

金賞2点、銀賞2点、銅賞2点、佳作10点、入賞84点

(4) ボランティア活動

4分野で活動をおこなった（重複参加あり）。※定員 25 名

《登録者数：22 名》

点訳ボランティア：図録の点訳、視覚障がい者の来館補助等

翻訳ボランティア：開催要項等の英語訳等

平日ボランティア：展示室巡回、書庫整理、体験学習素材の作成等

土曜ボランティア：土器パズル等体験学習の補助

《活動日数：72 日 活動人数：延べ 134 名》

6 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 小中学校の団体見学受け入れ

a. 見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しをおこなうことで事前学習の一助とした。また、見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上にワークシート 8 種類を用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説をおこない、展示室での学習を支援した。

b. 下見説明会

学校団体の利用促進のため、小学校教諭を対象とした下見説明会を実施した。

4月6日（水）、4月7日（木）、4月8日（金）

《開催回数：4 回 参加校数：計 63 校》

c. 説明会

小中学校団体の利用促進のため、小学校校長会、中学校校長会、PTA協議会等に出向き、博物館の利用案内をおこなった。

6月9日（木）、6月10日（金）、6月13日（月）、6月15日（水）、6月28日（火）、7月1日（金）、
7月5日（火）、7月6日（水）、7月8日（金）、7月11日（月）

《開催回数：15 回 参加者数：計 668 名》

(2) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。

《利用者数：計 6,653 名・192 回》

6 (1) a. 小中学校団体見学受け入れ

来館園校名			実績
小 学 校	枚 方 市	津田小学校、東香里小学校	2 校
	大 阪 市	安立小学校、生野小学校、今川小学校、遠里小野小学校、苅田北小学校、北津守小学校、喜連西小学校、桑津小学校、栄小学校、小路小学校、新平野西小学校、住吉川小学校、千本小学校、大開小学校、玉出小学校、築港小学校、聴覚特別支援学校、佃小学校、天王寺小学校、梅香小学校、萩之茶屋小学校、深江小学校、弁天小学校、宝栄小学校、宮原小学校、矢田北小学校、依羅小学校	27 校
	守 口 市	下島小学校	1 校
	東大阪市	加納小学校	1 校
	八 尾 市	刑部小学校、美園小学校	2 校
	松 原 市	天美南小学校、松原小学校、松原南小学校	3 校
	堺 市	浅香山小学校、市小学校、上野芝小学校、英彰小学校、鳳小学校、久世小学校、城山台小学校、新浅香山小学校、高倉台小学校、竹城台東小学校、茶山台小学校、錦小学校、西百舌鳥小学校、庭代台小学校、浜寺昭和小学校、原山台小学校、日置荘小学校、日置荘西小学校、東浅香山小学校、東三国ヶ丘小学校、深井小学校、福泉小学校、福泉上小学校、福泉東小学校、三国丘小学校、百舌鳥小学校、安井小学校	27 校
	高 石 市	加茂小学校、清高小学校、高陽小学校、高石小学校、羽衣小学校	5 校
	泉大津市	旭小学校、穴師小学校、上条小学校、楠小学校、条東小学校、条南小学校、浜小学校	7 校
	和 泉 市	青葉はつが野小学校、芦部小学校、いぶき野小学校、北松尾小学校、黒鳥小学校、国府小学校、光明台北小学校、光明台南小学校、幸小学校、信太小学校、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校、南松尾小学校、横山小学校、和気小学校	15 校
	忠 岡 町	忠岡小学校、東忠岡小学校	2 校
	岸和田市	旭小学校、太田小学校、新条小学校、中央小学校、東葛城小学校、八木南小学校	6 校
	貝 塚 市	北小学校、二色小学校	2 校
	泉 南 市	新家小学校、新家東小学校、東小学校	3 校
	泉佐野市	大木小学校、北中小学校	2 校
	伊 丹 市	鴻池小学校	1 校
	和歌山市	有功小学校、紀伊小学校、喜志小学校、砂山小学校、中ノ島小学校、名草小学校、宮北小学校	7 校
	橋 本 市	紀見小学校、清水小学校、城山小学校、柱本小学校	4 校
	海 南 市	大東小学校	1 校
	国 立	大阪教育大学附属池田小学校、大阪教育大学附属天王寺小学校	2 校
	私 立	建国小学校、智弁学園和歌山小学校、仁川学院小学校	3 校
	大阪府立	堺聴覚支援学校、生野聴覚支援学校	2 校
保 育 園	和泉市立鶴山台第一保育園、和泉市立鶴山台第二保育園、和泉市立芦部保育園、和泉市立国府第二保育園	4 園	
中 学 校	大阪府立和泉支援学校中等部、大阪市立上町中学校、大阪市立阪南中学校、守口市立第三学校夜間学級、和泉市立富秋中学校、忠岡町立忠岡中学校	6 校	
135 校・11,476 名			

(3) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業をおこなった。

a. 出前授業

対 象			実績
小 学 校	豊 中 市	桜井谷東小学校	1 校
	大 阪 市	荻田南小学校、栄小学校、千本小学校、玉出小学校、築港小学校、日吉小学校、淀川小学校	7 校
	枚 方 市	津田小学校、長尾小学校、藤阪小学校	3 校
	八 尾 市	亀井小学校、刑部小学校、美園小学校	3 校
	富田林市	高辺台小学校	1 校
	松 原 市	天美南小学校	1 校
	羽曳野市	高鷲北小学校、古市南小学校	2 校
	堺 市	赤坂台小学校、北八下小学校、錦綾小学校、竹城台東小学校、土師小学校、原山台東小学校、日置荘西小学校、深井小学校、南八下小学校、三原台小学校、八上小学校	11 校
	泉大津市	戎小学校	1 校
	岸和田市	旭小学校	1 校
	岬 町	深日小学校	1 校
	和歌山市	宮北小学校	1 校
高 等 学 校	大阪府立伯太高等学校（2 回）、大阪府立成城高等学校		2 校
幼 稚 園	羽曳野市立丹比幼稚園		1 園
36 校（延べ 37 校）・3,401 名			

b. わくわく弥生体験

対 象			目 的	実施日	実績
小 学 校	松 原 市	松原小学校	土曜体験活動	12 月 3 日（土）	50 名
	羽 曳 野 市	白鳥小学校	放課後子ども教室	9 月 10 日（土）	60 名
		丹比小学校	放課後子ども教室	10 月 15 日（土）	89 名
		高鷲小学校	放課後子ども教室	10 月 22 日（土）	93 名
		西浦小学校	放課後子ども教室	11 月 12 日（土）	80 名
		埴生小学校	放課後子ども教室	11 月 19 日（土）	30 名
		古市南小学校	放課後子ども教室	12 月 21 日（土）	35 名
		羽曳が丘小学校	放課後子ども教室	2 月 4 日（土）	106 名
	泉大津市	楠小学校	歴史クラブ	9 月 28 日（水） 10 月 26 日（水） 11 月 30 日（水） 12 月 14 日（水）	計 120 名
		浜小学校	浜小パティオ	1 月 28 日（土）	70 名
10 校（延べ 13 校）・733 名					

(4) 博学連携授業

a. あつまれ博物館

小学校から大学までを対象にクラブ活動や授業の一環として受入れ、展示解説やバックヤードツアー、体験学習等を実施した。

対 象			目 的	実施日	実績
小 学 校	大 阪 市	栄小学校	(5年生)	11月1日(火)	22名
		聴覚特別支援学校		4月28日(水)	20名
	泉大津市	条東小学校	歴史クラブ	6月8日(水)	16名
		条南小学校	歴史クラブ	6月22日(水)	26名
				10月5日(水)	25名
				2月22日(水)	25名
		楠小学校		1月18日(水)	26名
	和 泉 市	池上小学校	土曜放課後教室	7月2日(土)	22名
				2月18日(土)	4名
		池上小学校・伯太小学校	仲良しクラブ	11月12日(土)	39名
	泉 南 市	東小学校	(4・5年生)	10月20日(木)	24名
	大阪府立	生野聴覚支援学校	(5・6年生)	4月21日(木)	35名
		堺聴覚支援学校		5月6日(金)	4名
	そ の 他	智弁学園和歌山小学校	林間学校	7月12日(火)	86名
保 育 園	和泉市鶴山台第一・二保育園			5月24日(火)	46名
	和泉市立芦部・国府第二保育園			9月29日(木)	60名
中 学 校	忠岡町立忠岡中学校		支援学級体験学習	2月15日(水)	8名
高 等 学 校	大阪府立成美高等学校		歴史体験学習	7月13日(水)	17名
	大阪府立登美丘高等学校		夏休み日本史課題	7月20日～8月31日	264名
	大阪府立伯太高等学校		夏休み日本史課題	7月20日～8月31日	52名
	大阪府立今宮高等学校	夏季集中考古学入門講座		7月29日・8月1日	7名
		施設訪問		11月10日(木)	15名
	大阪府立・府内私立高等学校		博物館見学ツアー(7校)	8月11日(木)	39名
	大阪府立千里星雲高等学校		考古学講座	12月17日(土)	7名
大 学	桃山学院大学		学芸員資格取得課程 (バックヤード見学)	5月28日(土)	8名
30校・897名					

(5) 大学生博物館学実習

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

実施日	対 象	実績
7月27日(水)～28日(木)	奈良大学通信教育部	49名
8月2日(火)～6日(土)	12大学	23名
2回・72名		

(6) 職場体験

依頼のあった学校から生徒を1～2日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

a. 大学生・高校生高校生インターンシップの受入れ

実施日	対 象	実績
7月21日(木)～23日(土)・26日(火)	大阪府立和泉総合高等学校	2名
8月19日(金)	京都大学・近畿大学	2名
3校・4名		

b. 中学生職場体験学習の受入れ

実施日	対 象	実績
9月29日(木)～30日(金)	高石市立高石中学校	3名
10月27日(木)～28日(金)	高石市立取石中学校	2名
11月8日(火)～9日(水)	和泉市立信太中学校	3名
11月16日(水)～17日(木)	和泉市立郷荘中学校	3名
	忠岡町立忠岡中学校	3名
1月31日(火)～2月2日(木)	和泉市立石尾中学校	3名
2月1日(水)～2日(木)	泉大津市立誠風中学校	3名
7校(11日間)・20名		

(7) 博学連携セミナー

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、学校教員との意見交換会の場を設けた。

募集方法は、各学校へ開催案内を送付し、教員が自主的に応募することとした。

実施日	対 象	参加者数
8月9日(火)～10日(水)	大阪府高校教員初任者研修(職場体験)※	9名
8月18日(木)	高等学校教員対象博学連携セミナー	13名
8月25日(木)	小・中学校教員対象博学連携セミナー	11名
12月6日(火)	大阪府高校教員初任者研修(見学)※	42名
1月5日(木)～6日(金)	教員対象博学連携セミナー※	6名
81名		

※は大阪府教育センターによる募集

(8) 教員研修の受け入れ

教員の研修を博物館に誘致し連携を深めた。

実施日	対 象	参加者数
7月29日(金)	和泉市小学教育研究会事務部会	49名
10月19日(水)	高石市・忠岡町小学校教育研究会社会科部会	6名
3月6日(火)	和泉市校長会	26名
81名		

7 「どこでも博物館」事業

(1) 出張展示

他館や他団体と連携し、当館資料やパネル等を展示した。

期 間	場 所	対 象	入場者数
4月25日(月)～5月8日(日)	大阪府立狭山池博物館	「卑弥呼の食卓」	7,752名
4月1日(木)～3月31日(土)	池上曾根弥生学習館	サテライトミュージアム	13,490名
4月1日(木)～3月31日(土)	池上曾根弥生情報館	サテライトミュージアム	104,694名
9月13日(火)～9月25日(日)	大阪府立中央図書館	「卑弥呼の時代を描こう」展 (絵画コンテスト優秀作品展示)	24,494名
9月15日(木)～10月25日(火)	泉大津市織編館	第47回特別展 「弥生以降の池上曾根」	551名
12月3日(土)～1月29日(日)	泉大津市織編館	第48回企画展 「収蔵品展 近代の絵はがき」	484名
2月26日(日)	羽曳野市立生活文化情報センター	古代史フォーラム2012 百舌鳥・古 市古墳群世界遺産をめざす二つの響き	434名
3月7日(水)～3月31日(日)	太子町立竹内街道歴史資料館		297名
3月11日(日)～3月21日(水)	羽曳野市役所ロビー		200名

(2) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出店した。

実施日	場 所	内 容	参加者数
5月5日(木)	池上曾根弥生学習館ふれあいまつり	土器・銅鐸パズル	62名
7月30日(土)	旧大阪府庁舎跡現地公開 (公益財団法人大阪府文化財センター)	土器・銅鐸パズル	50名
8月11日(木)	西宮阪急 子育てコミュニティールーム コトコトステージ「親子で歴史を学ぶ」	「銅鐸に色を塗ろう」	75名
8月19日(金)	大阪府庁咲洲庁舎	土器・銅鐸パズル	177名
8月27日(金)	第3回泉州弥生の郷まつり	土器・銅鐸パズル	49名
9月11日(日)	音☆楽市※(和泉市・和泉市文化財活性化推進実行委員会)	土器・銅鐸パズル	36名
9月17日(土) 24日(土)	大阪府立中央図書館	土器・銅鐸パズル	211名
10月2日(日)	音☆楽市※	土器・銅鐸パズル	45名
10月9日(日)	御堂筋 Kappo2011	土器・銅鐸パズル	341名
10月17日(日)	升の市(「住吉っさん升の市」実行委員会)	P R	1,000名
10月22日(土) 23日(日)	和泉市商工まつり	土器・銅鐸パズル、入館無料P R	657名
10月29日(土) 30日(日)	高校軽音フェスタ in 弥生の杜 2011 ～悠久の時間を奏でて3～※	土器・銅鐸パズル	247名
11月19日(土)	日本民家集落博物館まつり	土器・銅鐸パズル	60名
11月20日(日)	J A いずみの農業まつり	土器・銅鐸パズル	204名
11月23日(水祝)	富田林市民ふれあいまつり	土器・銅鐸パズル	450名
3月18日(日)	池上曾根遺跡現地説明会(和泉市教育委員会)	土器・銅鐸パズル	150名

(3) 講演・講座

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演・解説をおこなった。

- a. 滋京阪連携歴史講演会「祈る・作る・運ぶの考古学」(全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック)
於：滋賀県立図書館
5月22日(日)「地域の祈りー山あいの小さなお堂からー」 《参加者数： 61名》
三好孝一(大阪府立弥生文化博物館副館長兼学芸課長)
- b. 滋賀・大阪連携企画ジョイントセミナー(滋賀県立安土城考古博物館との連携)
於：滋賀県立安土城考古博物館
6月5日(日)「豊饒をもたらす響き 銅鐸ー弥生時代中期社会の一側面ー」 《参加者数： 46名》
正岡大実(大阪府立弥生文化博物館主任学芸員)
- c. 四條畷市立公民館平成23年度歴史講座〈考古学から見る歴史〉 於：四條畷市立公民館
6月14日(火)「入門・文化財探査」 《参加者数： 31名》
辻井なつみ(大阪府立弥生文化博物館学芸員)
- d. 大東・四條畷の歴史を考える市民講座 於：四條畷岡山自治会館
8月7日(日)「北河内縦断発掘ー明らかにされた地域の歴史像ー」 《参加者数： 52名》
三好孝一(大阪府立弥生文化博物館副館長兼学芸課長)
- e. 羽曳野市小学校教育研究会社会科部会
9月14日(水)「出前授業の実体験ー火おこしと脱穀ー」 《参加者数： 35名》
山本 清 (大阪府立弥生文化博物館教育専門員)
辻井なつみ(大阪府立弥生文化博物館学芸員)
- f. でかける博物館講座「大阪歴史探訪」 於：大阪府立中央図書館ライティーホール
(公益財団法人大阪府文化財センター・大阪府立近つ飛鳥博物館・日本民家集落博物館との共催)
9月15日(木)「大形掘立柱建物のゆくえー池上曽根遺跡を中心にー」 《参加者数： 74名》
三好孝一(大阪府立弥生文化博物館副館長兼学芸課長)
10月20日(木)「大阪の銅鐸ー前半期銅鐸を中心にー」 《参加者数： 66名》
正岡大実(大阪府立弥生文化博物館主任学芸員)
1月19日(木)「生駒山麓の縄文遺跡」 《参加者数： 77名》
塚本浩司(大阪府立弥生文化博物館主任学芸員)
3月15日(木)「はさみの考古学ー和泉にもたらされたものー」 《参加者数： 37名》
角南なつみ(大阪府立弥生文化博物館学芸員)
- g. よみうり伊丹文化センター
10月1日(土)「本州西端の弥生文化ー響灘沿岸を中心にー」 《参加者数： 13名》
三好孝一(大阪府立弥生文化博物館副館長兼学芸課長)

- h. 大阪ふみんネットワーク 於：大阪府立さいかくホール
 10月19日（木）「おおさかコメ作りことはじめー弥生時代の到来ー」 ≪参加者数：40名≫
 三好孝一（大阪府立弥生文化博物館副館長兼学芸課長）
- i. 泉大津市条東小学校PTA総会講演
 10月29日（土）「親子で学ぼう池上曾根遺跡ー地域に広がる弥生遺跡ー」 ≪参加者数：68名≫
 三好孝一（大阪府立弥生文化博物館副館長兼学芸課長）
- j. 近鉄文化サロン・大阪府立弥生文化博物館共催講座 於：近鉄文化サロン阿倍野
 11月5日（土）「着て学ぶ、卑弥呼の衣装」 ≪参加者数：22名≫
 三好孝一（大阪府立弥生文化博物館副館長兼学芸課長）
 1月19日（木）「銅鐸を作る」 ≪参加者数：20名≫
 2月16日（木）「鏡を作る」 ≪参加者数：20名≫
 3月15日（木）「ガラスの勾玉を作る」 ≪参加者数：23名≫
 正岡大実（大阪府立弥生文化博物館主任学芸員）
- k. 桃山学院大学インテグレーション科目共通自由特別講義（図書館・博物館へのいざない）
 12月月7日（水）「博物館の現実ー歴史博物館の視点から」 ≪参加者数：35名≫
 三好孝一（大阪府立弥生文化博物館副館長兼学芸課長）
- l. 東大阪埋蔵文化財センター歴史講演会 於：東大阪市立郷土資料館
 1月21日（土）「銅鐸群と中期弥生社会」 ≪参加者数：78名≫
 正岡大実（大阪府立弥生文化博物館主任学芸員）
- m. 高齢者大学自然文化を楽しむ科 於：大阪市教育会館
 1月25日（水）「古代人の生活」 ≪参加者数：55名≫
 塚本浩司（大阪府立弥生文化博物館主任学芸員）

8 「体験する博物館」事業

（1）体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連以外にもワークショップや遺跡巡りツアー等をおこなった。

a. 「土器パズル」

4月10日（土）、7月9日（土）、7月23日（土）、8月6日（土）、8月27日（土）、9月10日（土）、10月8日（土）、11月26日（土）、12月10日（土）、2月11日（土）、2月25日（土）、3月3日（土）、3月17日（土）に開催した。 ≪計13回 参加者数：計262名≫

b. GW特別企画 Let's Try !

内 容	実施日	参加者数
弥生の米つき	4月29日（金祝）、5月4日（水祝）	145名
富福亭 in 大阪府立弥生文化博物館 ※	4月29日（金祝）	30名
狩人きぶん	4月30日（土）、5月1日（日）、5月3日（火祝）	297名
土器パズル	4月30日～5月4日（水祝）	213名
銅鐸にお絵かきしよう	4月30日（土）	37名
犬の土人形をつくろう	5月1日（日）	75名
石の道具をつくろう	5月3日（火祝）	74名
こいのぼりをつくろう	5月5日（木祝）	149名
火おこし選手権	5月5日（木祝）	203名
		1,223名

協力 ※ 富田林落語サークル富福亭

c. 夏休み Let's Try !

内 容	実施日	参加者数
縄文ポシェットをつくろう	8月3日（水）	51名
棒はかりをつくって計量に挑戦！ ※	8月7日（日）	52名
計量クイズ ※	8月7日（日）	85名
健康器具体験 ※	8月7日（日）	47名
サヌカイトで風鈴をつくろう	8月10日（水）	140名
火おこし体験	8月14日（日）	53名
手軽にプラネタリウム	8月16日（火）	50名
		478名

協力 ※ 大阪府計量検定所

d. 関西文化の日

内 容	実施日	参加者数
泥めんこをつくろう	11月12日（土）	118名
棒はかりをつくって計量に挑戦！ ※	11月12日（土）、13日（日）	203名
計量クイズ ※	11月12日（土）、13日（日）	521名
健康器具体験 ※	11月12日（土）、13日（日）	115名
家庭用計量器具無料診断 ※	11月12日（土）、13日（日）	24名
土器パズル	11月12日（土）、13日（日）	243名
海渡くんはどこ	11月12日（土）	145名
火おこしに挑戦	11月13日（日）	124名
		1,493名

協力 ※ 大阪府計量検定所

e. 弥生フェスティバル

内 容	実施日	参加者数
縄文ポシェットを作ろう	3月24日(土)、26日(月)	124名
えんぴつこすってあらわれた	3月24日(土)	143名
フェイスペイントで変身	3月24日(土)、26日(月)、28日(水)	268名
めざせ考古学者のタマゴ	3月24日(土)、28日(水)、29日(木)	397名
こんぺいとうを作ってみよう ※1	3月24日(土)	30名
探れ! キミの顔	3月25日(日)	217名
はり絵をしよう	3月25日(日)、29日(木)	541名
ガラス勾玉を作ろう	3月25日(日)、31日(土)	731名
竪穴住居をたてよう	3月25日(日)	120名
チリメンモンスターをさがせ ※2	3月25日(日)、31日(土)	95名
紙すき体験 ※3	3月26日(月)	57名
作って遊ぼうブンブンごま	3月26日(月)	170名
コメ、炊きはじめました～	3月26日(月)、27日(火)	119名
ガラス玉プレスレット ※4	3月27日(火)、28日(水)	143名
はにわ貯金箱 ※5	3月27日(火)、28日(水)	122名
立版古を作ろう	3月27日(火) 竪穴住居編、30日(金) みのり編	139名
金印つかって封をしよう	3月27日(火)、30日(金)	253名
銅鐸を作ろう	3月28日(水)、29日(木)	78名
夜光貝でアクセサリを作ろう ※6	3月29日(木)	66名
FUN!DO! 消しゴム	3月30日(金)、31日(土)	435名
狩人きぶん	3月30日(金)	150名
古代船ペーパークラフト ※7	3月31日(土)	133名
		4,531名

協力 ※1 コンペイトウミュージアム

※2 きしわだ自然資料館・きしわだ自然友の会

※3 日本民家集落博物館

※4 八尾市立しおんじ山古墳学習館 (NPO 法人楽古)

※5 大阪府立近つ飛鳥博物館

※6 奄美市立奄美博物館・工房海彩

※7 兵庫県立考古博物館ボランティア 考古学倶楽部

(2) 「みんないっしょに考古楽！ 2011」 こどもファーストデイ企画

親子でコミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習「みんないっしょに考古楽！ 2011」をおこなった。そのうち毎月第3土曜日は、大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動の「こどもファーストデイ」参加企画とした。 ※印：こどもファーストデイ企画

内 容	実施日	参加者数
石器を使ってみよう	4月16日(土)※、6月18日(土)※、 11月19日(土)※	43名
弥生の米つき体験	5月21日(土)※、10月20日(土)※	42名
火おこし体験	7月16日(土)※、8月20日(土)※、 12月17日(土)※、3月17日(土)※	124名
狩人きぶん(弓矢体験)	9月17日(土)※	45名
探れ！キミの顔	9月24日(土)、10月10日(月祝)、 11月3日(木祝)	61名
火きり臼でストラップをつくろう	10月1日(土)	27名
粘土 de 文様	10月2日(日)貝殻文、10月16日(日)縄文、 11月3日(木祝)オノコログサ	96名
カブトをつくろう！	11月3日(木祝)	23名
えんぴつこすってあらわれた	11月3日(木祝)、11月27日(日)	63名
立版古をつくろう	12月11日(日)	19名
大すごろく大会	12月23日(金祝)、1月5日(木)	56名
ほんものの土器にふれてみよう	1月21日(土)※	24名
作って飛ばそう 鳥形紙ひこうき	2月18日(土)※	43名
		666名

9 その他各種連携事業

(1) 企業、民間団体等との連携

a. 株式会社国際交流サービス

講師派遣の要請をうけ、遺跡見学ツアーに当館学芸員が随行した。

「山口県 史跡と考古の旅」11月9日(水)～11日(金)

《参加者数： 37名》

b. 近畿弥生の会 4(6)参照

「弥生時代入門講座」の開催を依頼した。

c. 近鉄文化サロン 7(3) j. 参照

公益財団法人大阪府文化財センターをとおして依頼を受け、講師を派遣した。

d. 大阪府都市開発株式会社(泉北高速鉄道)

「泉北ぐるりんウォーキング スタンプラリー」スタンプポイントを館内に設置した。

9月23日(金祝)～12月4日(日)

e. 阪急百貨店（西宮阪急） 7（2）参照

依頼を受け、体験学習ブースを出店した。

f. 富田林落語サークル富福亭 8（1）b. 参照

出前寄席の出店を依頼した。

g. 「住吉っさん升の市」実行委員会 7（2）参照

PR活動に協力いただいた。

（2）公共機関、大学、法人等との連携

a. 和泉市教育委員会

講演「展示デザインの視点～池上曾根遺跡を”テンジ”する～」11月19日（土） ≪参加者数：30名≫

池上曾根遺跡現地説明会 3月18日（日） ≪参加者数：150名≫

b. 和泉市文化財活性化推進実行委員会 7（2）参照

音☆楽市、高校軽音フェスタ in 弥生の杜～悠久の時間を奏でて～、に体験学習ブースを出店した。

c. 和泉市商工労働室商工観光担当

「和泉コダイ・ロマン55（ゴーゴー）スタンプラリー」スタンプポイントを館内に設置した。

9月1日（木）～10月30日（日）

d. 泉大津市教育委員会

弥生以後の池上曾根を歩く「二田物部氏ゆかりの地を歩く」6月11日（土） ≪参加者数：10名≫

弥生以後の池上曾根を歩く「都びとゆかりの地を歩く」 6月25日（土） ≪参加者数：24名≫

弥生以後の池上曾根を歩く「中世武士ゆかりの地を歩く」 7月9日（土） ≪参加者数：22名≫

講演「展示デザインの視点～池上曾根遺跡を”テンジ”する～」11月19日（土） ≪参加者数：30名≫

e. 泉大津市産業政策課

貫頭衣コンテスト入賞作品展 11月23日（水祝）～29日（火） ≪参加者数：375名≫

f. 池上曾根弥生学習館（池上曾根史跡公園協会）

池上曾根弥生学習館が実施する「野焼き体験」において、団体見学を受け入れるとともに、展示解説をおこなった。 11月3日（木祝） ≪参加者数：31名≫

g. 大阪府立中央図書館

絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」優秀作品の出張展示ならびに展示期間中に体験学習ブースを出店した。 7（1）（2）参照

また、同館ライティーホールにおいて講演をおこなった。 7（3）e. 参照

h. 大阪府計量検定所 8（1）c. d. 参照

計量に関する体験学習ブース、計量クイズ、健康器具体験、家庭用計量器無料診断等の出店を依頼した。

i. 和泉弥生ロマン・ツーデーウォーク

参加者は当日の入館を無料とし、来館をうながした。 10月15日（土）～16日（日）

j. 御堂筋 kappo 実行委員会 7（2）参照

御堂筋 kappo2011 に体験学習ブースを出店した。

k. 滋賀県立安土城考古博物館 4（2）、7（3）b. 参照

夏季特別展を 第2回大阪・滋賀博物館連携企画「銅鐸を探る」と位置づけ、広報連携を図るとともに、相互の学芸員による講演会をおこなった。

滋賀県立安土城考古博物館春季特別展「大岩山銅鐸から見えてくるもの」

4月23日（土）～6月12日（日）

l. 財団法人辰馬考古資料館

団体見学を受入れるとともに、依頼をうけ館内および史跡公園の解説をおこなった。

「禄水苑ウォーク」10月14日（金）

《参加者数：14名》

m. 松山市立子規記念博物館

冬季企画展に関連し、広報連携を図った。

松山市立子規記念博物館特別展「なじみ集」 12月17日（土）～1月22日（日）

n. 八尾市立しおんじ山古墳学習館（NPO 法人楽古） 8（1）e. 参照

弥生フェスティバルへの参加を依頼し、「ガラス玉ブレスレット」作りをおこなった。

o. 大阪府立近つ飛鳥博物館 8（1）e. 参照

弥生フェスティバルへの参加を依頼し、「はにわ貯金箱」作りをおこなった。

p. きしわだ自然資料館・きしわだ自然友の会 8（1）e. 参照

弥生フェスティバルへの参加を依頼し、「チリメンモンスターをさがせ」をおこなった。

q. 奄美市立奄美博物館・工房海彩 8（1）e. 参照

弥生フェスティバルへの参加を依頼し、「夜光貝でアクセサリを作ろう」をおこなった。

r. 関西広域機構 8（1）d. 参照

「関西文化の日」に参加した。 11月12日（土）～13日（日）

s. 全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック

「関西考古学の日2011」に参加した。 9月～11月

t. NPO法人大阪府高齢者大学校

団体見学を受入れるとともに、依頼をうけ展示解説をおこなった。

4月27日（水）、5月17日（火）、10月6日（木）、11月18日（金）、2月1日（水）

(3) 史跡と一体となった事業

a. 池上曾根弥生情報館（和泉市教育委員会）、池上曾根弥生学習館（泉大津市）

当館3回および両館各1回の入館で当館入館無料となるスタンプカードを作成し、3館の利用促進に努めた。

b. 泉州弥生の郷まつり実行委員会 7(2) 参照

第3回泉州弥生の郷まつりに体験学習ブースを出店した。 8月27日(土)

c. 和泉市商工会議所 7(2) 参照

和泉市商工まつりに体験学習ブースを出店した。また当日は入館無料日とし、来館をうながした。

10月22日(土)～23日(日)

d. J Aいずみの農業まつり 7(2) 参照

体験学習ブースを出店した。 11月20日(日)

(4) 研究会等の誘致

a. 全日本博物館学会

総会の開催を誘致し、ホールを提供した。11月20日(日)

《参加者数：42名》

10 広報普及事業

(1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市・忠岡町の各教育委員会に依頼し、各市全児童にチラシを配付した。

開催期間 平成24年3月24日(土)～31日(土) 《8日間》

《入館者数：9,232名》

入館料 無料

イベント 前掲 ※8(1) e. 参照

(2) 要覧の作成

『平成22年度弥生文化博物館要覧』（平成24年3月28日発行）を作成し、関係諸機関に配付した。

(3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレット（日本語・英語・中国語・韓国語）を配布した。

(5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。

また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート（８種）を用意し、ホームページからダウンロードしてご利用いただけるようにした。

（６）解説シート

常設展示の解説シート（７種）、およびボランティアが作成した常設展示点字解説シート、特別展示点字解説シート、外国語解説シート等を用意した。

（７）問合せ対応

マスコミ、出版社等弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

（８）マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞五大紙やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。《報道提供回数 48 回／紙面掲載・ラジオ放送等 380 回以上》

（９）インターネットホームページ

ホームページおよびブログによる情報提供をおこなった。 《年間アクセス件数：435,595 件》

11 資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。

《資料 13 件・63 点／写真 60 件・129 点／映像 13 件・39 本》

12 研究事業

（１）独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所、大阪府教育委員会との連携

研究題目：大阪府守口市八雲遺跡出土極細石器の実体研究

研究機関：８月１日～３月３１日

（２）海外の研究者との学術交流

６月 21 日（火） Nu Mra Zan（ミャンマー歴史民俗博物館、国立歴史民俗博物館客員研究員）

随員 田代克己（国立歴史民俗博物館）

７月 ８日（金） 高皎敬、高慶華、高永萬、洪辰淑、金石出、金英淑（済州・日本神話交流美術展出展者）

随員 川端康男、玉野勢三、辻川信孝（済州・日本神話交流美術展出展者）

10 月 20 日（木） 趙現鐘（国立光州博物館館長）

随員 田中清美（公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所）

11 月 19 日（土） 金才喆（大東文化財研究院調査研究総括課長）

随員 田中清美、喜谷美宣、武末純一、扇崎 由、高橋 敦、桃井宏和

（木器検討会）

13 資料製作事業

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

また、大阪ミュージアム活性化事業（文化庁）により、体験学習資料を作成した。

14 サービス事業

（１）アンケート調査の実施

よりよい館運営をおこなうため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

（２）音声ガイド

展示資料に対する理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイド（常設展示・特別展示）と英語版音声ガイド（常設展示）を用意し、無料で貸し出した。

（３）館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しをおこなった。

《貸出件数： 67 件》

（４）設備

来館者の便宜供与あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置ないし更新した。

- ① 特別展示室系統排風ファン防音工事
- ② 第一展示室、特別展示室にLEDスポットライトを導入。
- ③ 第一展示室大型プロジェクターのランプ交換
- ④ 第一展示室のモニターに、天井からの照明を遮蔽するため幌を設置。
- ⑤ 竪穴住居復原模型の囲炉裏にフリッカーランプを埋め込む
- ⑥ 見学者の安全を確保するため、「卑弥呼の館」周囲にアクリルパーテーションを設置。
- ⑦ 特別展示室の展示ケース2台に免震台を導入
- ⑧ 特別展示室において、展示品の細部を観賞しやすくするためミニマグライトを設置。
- ⑨ 特別展示室において、展示品の観賞補助にiPadを導入。
- ⑩ 体験ゾーン土ブロックをEVA樹脂製に更新
- ⑪ 利用者の安全を確保するため、体験ゾーンにEVA樹脂製セーフティーガードを設置。
- ⑫ OAシステム機能向上のためミキサーを購入
- ⑬ 国旗等掲揚ポールを改修
- ⑭ 災害に即時対応するため、地震速報受信装置を導入。
- ⑮ エントランスホール北側ステンレス製パーテーションを撤去

15 自主事業

(1) ミュージアムショップの整備

オリジナルグッズや受託販売商品の充実に努めた。

16 入館者数および入館料収入

(平成 23 年度)

区 分	入 館 者 数			入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	有料	無料	合計		
常 設 展	1,030 名	12,984 名	14,014 名	¥ 195,220	51
割 合	1.6 %	20.5 %	22.1 %		
春季企画展示	1,139 名	9,597 名	10,736 名	¥ 288,120	34
割 合	1.8 %	15.2 %	17.0 %		
春季企画展	1,620 名	4,345 名	5,965 名	¥ 416,400	38
割 合	2.6 %	6.9 %	9.4 %		
夏季特別展	3,223 名	3,952 名	7,175 名	¥ 1,173,000	50
割 合	5.1 %	6.3 %	11.4 %		
秋季特別展	2,102 名	9,791 名	11,893 名	¥ 792,680	53
割 合	3.3 %	15.5 %	18.8 %		
冬期企画展Ⅰ	1,718 名	2,368 名	4,086 名	¥ 479,460	42
割 合	2.7 %	3.7 %	6.5 %		
冬期企画展Ⅱ	4,067 名	5,287 名	9,354 名	¥ 1,210,120	39
割 合	6.4 %	8.4 %	14.8 %		
合 計	14,899 名	48,324 名	63,223 名	¥ 4,555,000	307
割 合	23.6 %	76.4 %	100 %		

<年度比較>

平成 22 年度実績	58,413 名	¥ 4,953,420	303
平成 21 年度実績	49,738 名	¥ 6,272,760	304
平成 20 年度実績	45,717 名	¥ 4,276,000	303

VI 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1 常設展示

(1) 常設展示

第1ゾーンで「近つ飛鳥と国際交流」、第2ゾーンで「古代国家の源流」、第3ゾーンで「現代科学と文化遺産」のテーマで展示。

2 特展企画展事業

(1) 春季特別展「倭人と文字の出会い」

開催趣旨 文字は「記録」としての重要性と共に、国家の形成や王権、そして支配と深く結びついた存在である。弥生時代から古墳時代、そして飛鳥時代にかけて、倭人たちがどのように文字を使い、記録してきたのか、文字記録によって明らかにされる倭人の歴史にスポットをあてた。

主な展示資料 京都府広峯15号墳（「景初四年」銘盤龍鏡）、奈良県清水風遺跡・唐古・鍵遺跡（絵画土器・記号文土器）、千葉県稲荷台1号墳（「王賜」銘鉄剣）、三重県片部遺跡（墨書壺「田」）、大阪府光明池234号窯（「伊飛寅安留白作」銘陶棺片）、大阪府難波宮跡（木簡）等

開催期間 平成23年4月23日（土）～6月26日（日） ≪57日間≫

主催 大阪府立近つ飛鳥博物館、文化庁、朝日新聞社

後援 堺市、太子町、太子町教育委員会、河南町、河南町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

入館者数 展示室入館者9,433名／1日あたり165名（総入館者25,567名）

(2) 夏季企画展「動物大百科ー出土品からさぐる動物とのかかわりー」

開催趣旨 便利な機械が存在しなかった時代には、人と生き物の関わりは今より濃いものであった。生き物をあらわした品々、生き物を利用した道具、生き物を捕るための道具などをみていくことで、生き物をどのようにとらえていたのか考える。夏休み期間、歴史を学ぶ児童向けにわかりやすい展示をおこなった。

主な展示資料 八尾市亀井遺跡（弥生犬の模型「海渡くん」）、八尾市亀井北遺跡（鳥形木製品）、東大阪市瓜生堂遺跡（須恵器）、茨木市南塚古墳（装飾台付き壺）、藤井寺市土師の里遺跡（土馬）等

開催期間 平成23年7月16日（土）～9月4日（日） ≪44日間≫

主催 大阪府立近つ飛鳥博物館

後援 堺市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

入館者数 展示室入館者4,285名／1日あたり97名（総入館者12,776名）

（３）秋季特別展「百舌鳥・古市の陵墓古墳－巨大前方後円墳の実像－」

- 開 催 趣 旨 平成 22 年 10 月、世界遺産国内暫定リストに追加記載することが決定した百舌鳥・古市古墳群は、世界的にみても有数の巨大墳墓で構成される国内最大の古墳群といえる。宮内庁所蔵資料を中心に百舌鳥・古市古墳群を探り、巨大古墳群の重要性を考える。
- 主な展示資料 大阪府応神天皇陵古墳（朝顔形埴輪）、大阪府白鳥陵古墳（朝顔形埴輪・円筒埴輪）、大阪府藤井寺陵墓参考地津堂城山古墳（斜縁二神四獣鏡）、大阪府履中天皇陵古墳陪冢七観古墳（馬具）、大阪府墓山古墳陪冢野中古墳（三角板草綴襟付短甲）、大阪府仁徳天皇陵古墳（大仙陵出土甲冑石棺絵図）等
- 開 催 期 間 平成 23 年 10 月 1 日（土）～ 12 月 4 日（日） ≪ 56 日間 ≫
- 主 催 大阪府立近つ飛鳥博物館、堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、産経新聞社
- 後 援 河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社
- 特 別 協 力 宮内庁書陵部
- 入 館 者 数 展示室入館者 9,423 名／ 1 日あたり 168 名（総入館者 21,896 名）

（４）冬季特別展「歴史発掘おおさか 2011 －大阪府発掘調査最新情報－」

- 開 催 趣 旨 大阪府下の最新発掘調査速報を府民に知ってもらう機会とし、大阪の魅力を発信する。府内市町村との協力・連携をはかった。
- 主な展示資料 太子町ミヤケ北遺跡（縄文土器棺）、八尾市木の本遺跡（銅鏃）、藤井寺市野中宮山古墳（人物埴輪）、富田林市畑ヶ田遺跡（銭貨を埋納した土師器甕）等
- 開 催 期 間 平成 24 年 1 月 21 日（土）～ 3 月 25 日（日） ≪ 56 日間 ≫
- 主 催 大阪府立近つ飛鳥博物館
- 後 援 太子町、太子町教育委員会、河南町、河南町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社
- 入 館 者 数 展示室入館者 4,618 名／ 1 日あたり 82 名（総入館者 16,894 名）

3 その他展示事業

（１）スポット展示

大阪府下における発掘調査最新成果の展示公開を大阪府教育委員会、公益財団法人大阪府文化財センターの協力を得て適宜実施、土曜講座に際し成果発表をおこなった。

- 第 1 回 8 月 10 日（土）～ 9 月 11 日（日）「安松田遺跡の調査成果－東大寺瓦－」 ≪入館者数：1,582 名≫
- 第 2 回 9 月 17 日（土）～ 10 月 10 日（月）「高宮遺跡の発掘調査成果」 ≪入場者数：2,175 名≫
- 第 3 回 11 月 19 日（土）～ 12 月 4 日（日）「藤の森古墳のガラス玉」 ≪入場者数：2,761 名≫

4 普及啓発事業

所蔵資料の展示をおこなうという基本的な博物館事業以外に、広く府民に生涯学習機会を提供する教育普及事業として、古墳・飛鳥文化に関する下記の事業を実施した。

（1）歴史セミナー、シンポジウム及び解説トークの実施

特別展及び企画展の開催期間中に、展示テーマに関連して各分野の専門家を招聘し、講演会シンポジウムを開催するとともに、展示テーマをより理解できるよう解説トークを地階ホールにて実施した。

①春季特別展

a. 講演会

第1回 5月15日（日）「歌木簡の発見と日本語表記」 《参加者数：176名》

大阪市立大学教授 栄原永遠男

第2回 5月22日（日）「古代刀剣の文字資料」 《参加者数：154名》

奈良大学名誉教授 水野正好

第3回 5月29日（日）「古代日本の文字資料」 《参加者数：151名》

奈良大学教授 東野治之

第4回 6月19日（日）「5世紀の刀剣銘文が語るもの」 《参加者数：175名》

近つ飛鳥博物館長 白石太一郎

b. シンポジウム「王権と鉄剣銘文－ヲワケとムリテとは何者か？－」

6月5日（日） 《参加者数：342名》

「埼玉稲荷山古墳の被葬者を考える－ヲワケとは何者か？－」 前埼玉県立博物館館長 高橋一夫

「江田船山古墳の被葬者を考える－ムリテとは何者か？－」 宇土市教育委員会 高木恭二

「古代史からみたヲワケとムリテ」 京都教育大学名誉教授 和田 萃

討論

進行／近つ飛鳥博物館長 白石太一郎

c. 展示解説

4月29日、5月4日、5月14日、6月4日、6月11日 《参加者数：計155名》

d. れきしウォーク

5月28日（土）「文字資料の宝庫 飛鳥・藤原宮を訪ねて」※当日雨天 《申込者58名 参加者21名》

②夏季企画展

a. 講演会

8月7日（日）「犬と馬の考古学」 大阪府教育委員会 宮崎泰史 《参加者数：60名》

8月21日（日）「馬はどうして日本列島にやって来たのか－騎馬民族征服王朝説をめぐって－」

近つ飛鳥博物館館長 白石太一郎 《参加者数：165名》

b. 展示解説

7月18日、8月6日、8月28日 《参加者数：29名》

③秋季特別展

a. 講演会

第1回 10月9日（日）「陵墓の調査とその成果－最近の事例より－」 《参加者数：180名》

宮内庁書陵部主席研究官 徳田誠志

第2回 11月6日（日）「古市・百舌鳥になぜ天皇陵が集中するのか」 《参加者数：297名》

奈良大学名誉教授 水野正好

第3回 11月13日（日）「百舌鳥・古市古墳群の形成過程が語るもの」 《参加者数：198名》

近つ飛鳥博物館長 白石太一郎

b. 研究報告会

10月30日(日)「仁徳陵古墳・応神陵古墳の実像をさぐる」 《参加者数：197名》

【報告1】「仁徳天皇陵古墳前方部 石室、石棺とその遺物」 堺市世界文化遺産推進室 白神典之

【報告2】「古代～近世の応神天皇陵古墳」 近つ飛鳥博物館長 白石太一郎

c. 調査成果報告会

第1回 10月23日(日)「百舌鳥古墳群の最新調査成果」 《参加者数：136名》

【報告1】「仁徳天皇陵と百舌鳥陵墓参考地の調査」 宮内庁書陵部 清喜裕二

【報告2】「ニサンザイ古墳と周辺の古墳－最近の調査成果から－」 堺市文化財課 内本勝彦

第2回 11月23日(水祝)「古市古墳群の最新調査」 《参加者数：142名》

【報告1】「允恭天皇陵古墳周辺部の調査」 藤井寺市教育委員会 上田 睦

【報告2】「応神天皇陵古墳周辺部の調査」 羽曳野市教育委員会 井原 稔

d. 展示解説

10月2日 10月10日 11月5日 11月20日 11月27日 《参加者数：176名》

e. れきしウォーク

第1回 11月3日(木祝)「百舌鳥古墳群を歩く」 《参加者数：81名》

第2回 11月19日(土)「古市古墳群を歩く」※当日雨天 《参加者数：18名》

④冬季特別展

a. 講演会

第1回 2月5日(日)「津堂城山古墳の再検討」 《参加者数：189名》

近つ飛鳥博物館長 白石太一郎

第2回 3月11日(日)「天平勝宝四年と明治七年の考古学－大仏開眼会と旧大阪府庁舎－」

奈良大学名誉教授 水野正好 《参加者数：102名》

b. 調査成果報告会「おおさかを掘る－最新発掘調査の成果－」

第1回 1月28日(土) 《参加者数：58名》

「羽曳野市古市鳥飼遺跡－出土した縄文土器について－」 羽曳野市教育委員会 河内一浩

「東大阪市馬場川遺跡－縄文時代後晩期の集落と墓地－」 東大阪市教育委員会 菅原章太

「摂津市明和池遺跡－弥生時代後期の集落跡－」 摂津市教育委員会 西川麻野

第2回 2月25日(土) 《参加者数：71名》

「藤井寺市津堂城山古墳・野中宮山古墳」 藤井寺市教育委員会 上田 睦

「富田林市畑ヶ田遺跡－土師器にこめたもの－」 富田林市教育委員会 角南辰馬

「和泉市和泉寺跡－古代寺院から出土した文字瓦－」 大阪府教育委員会 土屋みづほ

第3回 3月18日(日) 《参加者数：44名》

(主催 公益財団法人大阪府文化財センター、大阪府教育委員会、財団法人大阪博物館協会大阪文化財研究所、大阪市教育委員会)

「大阪市喜連東遺跡－発掘された4基の方墳－」 財団法人大阪市博物館協会 黒田慶一

「泉佐野市安松田遺跡－東大寺鎌倉期再建用瓦の製作地－」 大阪府教育委員会 三木 弘

「旧大阪府庁舎跡」 公益財団法人大阪府文化財センター 市村慎太郎

c. 展示解説

1月22日 2月4日 2月18日 3月17日 《参加者数：47名》

⑤安藤忠雄氏講演会

3月3日(土)「近つ飛鳥を梅いっばいに」 建築家 安藤忠雄

《参加者数：388名》

⑥「桜まつり」講演会

3月24日(土)「邪馬台国の領域と河内・和泉」

《参加者数：141名》

近つ飛鳥博物館館長 白石太一郎

(2) 近つ飛鳥入門講座

当館周辺地域にまつわる考古学・歴史について、考古資料の基本的な見方や知識をわかりやすく解説。
第3木曜日に開催した。

《参加者数：計322名》

第45回 5月8日(日)「仏教文化の開花」「文字の時代」	副館長兼学芸課長	市本芳三
第46回 6月12日(日)「古墳の終わりと墓」「倭の五王と渡来文化」	総括学芸員	森本 徹
第47回 7月9日(土)「竪穴式石室の世界」	総括学芸員	廣瀬時習
第48回 8月13日(土)「埴輪の世界」	学 芸 員	飯田浩光
第49回 9月10日(土)「開発と技術」	総括学芸員	廣瀬時習
第50回 10月8日(土)「一須賀古墳群を歩こう探ろう」	学 芸 員	飯田浩光
第51回 11月12日(土)「王と民衆」	総括学芸員	廣瀬時習
第52回 12月10日(土)「横穴式石室の世界」「石棺」「一須賀古墳群」	学 芸 員	小林千夏
第53回 2月10日(土)「大古墳の造営」「古墳造営のムラ」	総括学芸員	森本 徹
第54回 3月10日(土)「修羅」「現代科学」	学 芸 員	関本優美子

(3) 土曜講座

府内の最新発掘調査の報告や日頃の研究成果について解説。第4土曜日に開催した。

《参加者数：計409名》

第36回 5月21日(土)「堺市大野寺の土塔と文字瓦」	堺市文化財課	近藤康司
第37回 6月25日(土)「倭国における文字獲得の歴史」	総括学芸員	廣瀬時習
第38回 7月23日(土)「夏季企画展をもっと知るにはー動物埴輪を中心にー」	学 芸 員	飯田浩光
第39回 8月27日(土)「安松田遺跡と東大寺瓦」	大阪府教育委員会	三木 弘
第40回 9月24日(土)「寝屋川市高宮遺跡の発掘調査成果」	公益財団法人大阪府文化財センター	奥村茂輝
第41回 10月22日(土)「陵墓古墳の埋葬施設と儀礼」	総括学芸員	森本 徹
第42回 11月26日(土)「藤の森古墳のガラス玉ーこれまでの調査成果と新資料からー」	大阪府教育委員会	阪田育功
第43回 12月24日(土)「櫛のうつりかわり」	学 芸 員	関本優美子
第44回 1月28日(土) 冬季特別展第1回おおさかを掘る発掘調査報告会(前掲)		
第45回 2月25日(土) 冬季特別展第2回おおさかを掘る発掘調査報告会(前掲)		

(4) アウトリーチ(出前授業)

幼稚園、小学校、中学校、高等学校に学芸員が出向き、ワークショップ(体験学習)を通じ古墳・飛鳥文化の理解に努めた。

《授業件数63件・2,173名》

（５）古墳の森コンサート

地域の高等学校間の交流の場とし、博物館・風土記の丘への親しみを育んでいくため当館の特色を活かした屋上階段広場を利用して音楽会を開催した。

実施日 ４月 29 日（金祝） 出場校 5 校・参加者数 436 名

11 月 3 日（木祝） 出場校 5 校・参加者数 327 名

（６）体験学習

a. 修羅引き体験

博物館に展示している古墳時代の運搬具「修羅」の復原品を引き、古代の運搬を体験した。風土記の丘で実施し、古墳築造にかかる古代人の力を想像させた。

実施日 ５月 3 日（火祝） 参加者数 122 名

b. 古代衣裳体験

文化庁の支援事業により作製した古代衣裳を活用して体験を実施した。

実施日 ５月 21 日、10 月 15 日、11 月 19 日、12 月 17 日、2 月 18 日、3 月 17 日、
3 月 31 日 参加者数 計 139 名

（７）こどもファーストデイ・こども博物館探検ツアー・こども古墳探検ツアー

a. こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりの応援のため、毎月第 3 土曜日に、勾玉作りや風土記の丘周辺で採れる木の実等を利用した工作を実施した。

実施回数 12 回 参加者数計 258 名

b. こども博物館探検ツアー

小中学生及びその保護者を対象に、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫等のバックヤードを観察する見学会を実施した。

実施日 ７月 30 日、8 月 21 日 参加者数 計 57 名

c. こども古墳探検ツアー

中学生以下の子供とその保護者を対象にして、風土記の丘の古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

実施日 ５月 5 日、12 月 3 日 参加者数 計 20 名

d. こども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、ペーパークラフトによる博物館の展示品や拓本体験等の工作室を開催した。

実施日 ８月 14 日 参加者数 86 名

e. こども勾玉づくり工房

小学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりをおこなった。

実施日 ７月 24 日、8 月 6 日、8 月 28 日、1 月 21 日 参加者数 計 425 名

(8) こども一日館長

博物館に隣接する地元住民、特に児童に対して、博物館に親しみをもってもらい、利用活用を促し、地元の文化財や大阪府の古墳飛鳥文化の理解を目的として児童による一日館長を任命した。

実施日 8月21日 河南町立近つ飛鳥小学校6年生1名

(9) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリー・古代衣裳着用体験・勾玉作り・修羅引き体験・森の工作等を開催した。

実施日 5月3日 ≪参加者数 605名≫

(10) 校外学習の受入れ（ワークショップ）

小・中学生及び高校生の校外学習に合わせて、工作教室的なワークショップ及び当館展示品の修羅の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘のウォークラリーを実施した。 ≪47校・3,742名≫

(11) 大学生・高校生・中学生のインターンシップ

大学生・高校生・中学生を受け入れて博物館事業運営の体験学習を実施し、職業選択の参考とする体験の支援をした。 ≪高校：1校8名 中学校：4校20名≫

(12) 大学生博物館実習及び大学実習

各大学から学芸員過程の履修学生を受け入れ、博物館実習をおこなった。また、各大学の学科等の実習の場として博物館、風土記の丘を利用しおこなった。

a. 博物館実習

8月10日（水）～8月14日（日） ≪10校・20名≫

7月29日（金） ≪1校・49名≫

b. その他の博物館実習・研修 ≪1校・60名≫

c. 博物館以外の実習・研修 ≪9件・340名≫

(13) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館でおこなうように誘致し、連携を深めた。 ≪9件・271名≫

a. 出前講座、校外学習利用への広報

学校訪問等で、校外学習、アウトリーチ等の利用広報に努め、授業の充実に寄与した。 ≪53団体≫

(14) 「どこでも博物館」事業

a. 出展

各種催しにパネル展示や体験学習ブース等を出展した。 ≪5件・4,516名≫

b. 出前講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援し、来館の機会を促した。大阪府立中央図書館では、公益財団法人大阪府文化財センター、府立弥生文化博物館、日本民家集落博物館と共催で、10回にわたる連続講座「大阪歴史探訪」をおこない、元帝塚山学院大学教授中尾芳治氏と当館長白石太一郎による講演と対談「日本古代史で大阪が果たした役割を考える」をりそな銀行大阪本店地下講堂にて開催した。　　《16件・1,246名》

(15) 開会式の実施

博物館を地元から盛り上げていこうと、地元市町村並びに地元観光ボランティアガイドの方々を招いて開会式を実施した。

春季特別展　4月23日　《参加者数：86名》

秋季特別展　10月1日　《参加者数：80名》

(16) 「桜まつり」の実施

史跡と一体となった事業の拡充を目的として風土記の丘を多くの人に知っていただき、訪れていただくため、太子町・河南町と連携して、物産展、古代衣裳体験、ペーパーバックづくり、記念植樹等を実施した。

3月31日（土）～平成24年度4月1日（日）2日間

3月31日実績　《風土記の丘利用者数：252名　博物館入館者数：725名》

(17) 近つ飛鳥ギャラリー

府民等の文化活動を支援するとともに当館の広報・PRに資するため、地階ロビー、一階ロビーの空間を利用して、絵画、写真等の展示をおこなった。

- | | | |
|-------------------------|-------------------|----------------|
| a. 「人」 | 4月1日～15日（13日間） | 《見学者数：5,887名》 |
| b. 「花の絵展」 | 4月16日～26日（9日間） | 《見学者数：3,386名》 |
| c. 「第3回ふるさと俳画展」 | 4月28日～5月15日（17日間） | 《見学者数：7,801名》 |
| d. 「二つの飛鳥」 | 5月29日～6月19日（19日間） | 《見学者数：7,216名》 |
| e. 「風雅の旅－松尾芭蕉 奥の細道－」 | 7月15日～9月4日（31日間） | 《見学者数：12,908名》 |
| f. 「三田宗博写真展 東日本大震災と遺産」 | 9月7日～10月16日（20日間） | 《見学者数：9,154名》 |
| g. 「MOA美術館 南河内児童作品展」 | 11月22日～27日（6日間） | 《見学者数：3,846名》 |
| h. 「太子町親子で写生大会作品展」 | 1月14日～29日（14日間） | 《見学者数：2,571名》 |
| i. 「三田宗博写真展ユーラシア大陸世界遺産」 | 2月1日～3月1日（26日間） | 《見学者数：5,260名》 |
| j. 「第2回 TO YOU 通友」 | 3月17日～31日（13日間） | 《見学者数：7,159名》 |

5 広報出版事業

(1) 広報事業

当館の事業内容を広く周知するためのPR誌やポスターを作成し情報提供をおこなった。

a. 博物館だより「アスカディア・古墳の森」の発行

第35号 9月30日発行(5,000部)

第36号 3月31日発行(4,000部)

b. 催し物案内(ミュージアムカレンダー)の作成

府民や各種団体に博物館の行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。

c. マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関や、ミニコミ誌へ積極的に情報提供するほか、鉄道会社へのポスター掲示をする等広くPRを展開、博物館周辺の住民へは自治会を通じて実施した。

《報道提供19件／新聞雑誌等広報記事掲載210件》

d. 近つ飛鳥博物館ホームページによる情報発信

《年間アクセス件数：227,893件／ホームページ更新回数57回／ブログ更新回数73回》

(2) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行した。

a. 春季特別展図録「倭人と文字の出会い」(平成23年4月発行)《配付1,000部・販売1,400部》

b. 秋季特別展図録「百舌鳥・古市の陵墓古墳―巨大前方後円墳の実像―」(平成23年10月発行) 《配付1,000部・販売2,000部》

c. 冬季特別展図録「歴史発掘おおさか2011―大阪府発掘調査最新情報―」(平成24年1月発行) 《配付1,000部・販売800部》

d. 館報15(平成24年3月発行) 《配付1,000部・販売200部》

6 研究事業

(1) 他博物館連携との研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業の開催など、相互協力した事業を進めた。

12月11日 「五條をめぐる」バスツアー 《参加者数：47名》

（２）海外研究者との学術交流

韓国、中国の研究者を中心に 24 人の来館があった。

7 資料調査収集事業

（１）図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を購入した。

（２）資料の修理・保存処理

- ①館蔵実物資料の保全状況の点検を実施した。
- ②国重要文化財「修羅」の保存処理後の定期点検を実施した。

8 サービス事業

（１）開館時間の変更

小学校団体の待機場所や風土記の丘の利用、図書コーナーの利用者に対して、利便をはかることを目的として、普及ゾーンの開館時間を 10 時から 9 時 45 分に改定した。

（２）特別開館日の設定

来館者の多い、ゴールデンウィーク中の 5 月 2 日（月）及び盆期間の 8 月 15 日（月）を風土記の丘を含め、臨時開館して利用者への便宜を図った。

（３）マーケットリサーチの実施

特別展等開催時にアンケートをおこない、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

（４）ミュージアムスタッフの人材育成研修

館蔵品や特別展企画展などの展示品の情報をミュージアムスタッフに伝え、来館者からの質問に対応した。

（５）設備の更新等

来館者の便宜或いは省資源化を目的とし、設備の設置ないし、更新を実施した。

- ①スポット照明の変更：特別展示室と常設展示室の一部を LED 電球に変更し、展示品を鮮明に見せると共に省電力化に努めた。
- ②防犯用カメラの設置：博物館隣接駐車場の状況を館内から把握できるように、カメラを設置した。

9 入館者数および入館料収入

(平成 23 年度)

区分	展示室入館者数			普及ゾーン	博物館	入館料	開館日数
	有料	無料	計	利用者数	総入館者数	(円・税込)	(日間)
常 設 展	3,092 名	1,425 名	4,517 名	17,797 名	22,314 名	¥ 750,540	91
割 合	9.6 %	4.4 %	14.0 %	26.5 %	22.4 %	11.6 %	
春季特別展	5,118 名	4,315 名	9,433 名	16,134 名	25,567 名	¥ 2,093,260	57
割 合	15.9 %	13.4 %	29.2 %	24.0 %	25.7 %	32.4 %	
夏季企画展	2,353 名	1,932 名	4,285 名	8,491 名	12,776 名	¥ 758,520	44
割 合	7.3 %	6.0 %	13.3 %	12.6 %	12.8 %	11.7 %	
秋季特別展	4,569 名	4,854 名	9,423 名	12,473 名	21,896 名	¥ 1,856,980	56
割 合	14.2 %	15.0 %	29.2 %	18.6 %	22.0 %	28.7 %	
冬季特別展	2,519 名	2,099 名	4,618 名	12,276 名	16,894 名	¥ 1,008,060	56
割 合	7.8 %	6.5 %	14.3 %	18.3 %	17.0 %	15.6 %	
合 計	17,651 名	14,625 名	32,276 名	67,171 名	99,447 名	¥ 6,467,360	304
割 合	54.7 %	45.3 %	100 %	100 %	100 %	100 %	

<年度比較>

平成 22 年度実績	20,262 名	14,908 名	35,170 名	68,432 名	103,602 名	¥ 7,172,400	306
平成 21 年度実績	24,375 名	18,131 名	42,506 名	65,979 名	108,485 名	¥ 8,177,020	307
平成 20 年度実績	20,272 名	15,711 名	35,983 名	64,621 名	100,604 名	¥ 6,689,600	306

VII 日本民家集落博物館事業

1 展示事業

民家や展示室を活用して、各種展示を開催した。

(1) 常設展示

a. 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリア

国指定重要文化財＝「摂津能勢の民家」「信濃秋山の民家」「日向椎葉の民家」

国指定重要有形民俗文化財＝「飛騨白川の民家」

大阪府指定有形文化財＝「奄美大島の高倉」

未指定＝「河内布施の長屋門」「堂島の米蔵」

その他＝戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。

また、展示室「カルチュアはっとり」を設置している。

b. 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリア

大阪府指定有形文化財＝「大和十津川の民家」「越前敦賀の民家」「南部の曲家」

大阪府指定民俗文化財＝「小豆島の農村歌舞伎舞台」

未指定＝「北河内の茶室」、剝舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。

(2) 市民展示

地域の文化サークルや団体・個人の文化活動の発表の場として、展示室や民家をギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

a. 「吞彩会展」

開催概要 豊中市内在住の絵画サークル「吞彩会」による、市内の風景画を中心とした水彩画作品を展示した。

開催期間 4月1日（金）～4月14日（木）

場 所 「日向椎葉の民家」

b. 「春のてまり展」

開催概要 日本てまりの会「都てまり」による、創作てまりを展示した。

開催期間 4月3日（日）～4月17日（日）

場 所 「堂島の米蔵」

c. 「切り絵展」

開催概要 切り絵作家、阪上隆氏による、古典に題材をとった切り絵作品を展示した。

開催期間 7月31日（日）～8月14日（日）

場 所 展示室「カルチュアはっとり」

d. 「F E B 写真展」

開催概要 写真サークル「F E B」による、民家風景を中心にした写真作品を展示した。

開催期間 9月3日（土）～9月16日（金）

場 所 「日向椎葉の民家」

e.「能面の世界・4」

開催概要 「遊創工房」製作による能面作品を展示した。

開催期間 10月8日(土)～10月21日(金)

場 所 「堂島の米蔵」

f.「慢々会 水墨画展」

開催概要 水墨画同好会「慢々会」による作品を展示した。

開催期間 10月9日(日)～10月16日(日)

場 所 「日向椎葉の民家」

g.「陶芸展」

開催概要 「クリエーションクラブ」による創作陶芸作品を展示した。

開催期間 10月19日(水)～10月30日(日)

場 所 「飛騨白川の民家」

h.「秋の文化芸術祭」

開催概要 北摂地域で活動する芸術グループによる絵画・写真・陶芸などの作品を展示した。

開催期間 11月5日(土)～11月13日(日)

場 所 各民家(「飛騨白川の民家」「南部の曲家」「北河内の茶室」を除く)

(3) 文化庁地域伝統文化総合活性化事業に関わる展示

a.「親子書道教室 作品展」

開催概要 「みんな伝統文化体験教室」の親子書道教室参加者の作品を展示した。

開催期間 3月20日(火・祝)～3月25日(日)

場 所 展示室「カルチュアはっとり」

b.「子ども絵画教室 作品展」

開催概要 「みんな子ども絵画教室」参加者の作品を展示した。

開催期間 3月20日(火・祝)～3月31日(土)

場 所 「日向椎葉の民家」

(4) 企画展示「岩手県・南部地方の民家と暮らし2」

開催概要 当館に移築された、「南部の曲家」の故郷・岩手県紫波郡矢巾町及び遠野市近辺の民家と暮らし、風土や民俗行事を紹介し、当館所蔵の民具資料とともに展示した。

開催期間 11月5日(土)～12月25日(日)

場 所 展示室「カルチュアはっとり」

(5) 特別展示「昔の暮らし」

開催概要 当館所蔵の民具や、一般から寄贈された、古くから残る道具を展示。それらを使用していた頃の暮らしや時代の変化、先人の工夫などを考察する機会とした。

開催期間 1月17日(火)～2月29日(水)

場 所 展示室「カルチュアはっとり」

2 各種催し開催事業

“親しまれる博物館”のための企画として、次の事業を実施した。

(1) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親しんでもらうため、民家を活用して下記の催しをおこなった。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月19日(火)～5月8日(日)	飛騨白川の民家前庭 越前敦賀の民家	
ようか日	5月1日(日)～5月5日(木・祝)	摂津能勢の民家	
七夕かざり 体験 かざり	7月2日(土) 7月2日(土)～7月7日(木)	大和十津川の民家縁側	体験参加者 40名
お盆飾り	8月13日(土)～8月16日(火)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
芋名月	9月13日(火)～9月17日(土)	大和十津川の民家	
正月かざり	1月5日(木)～1月15日(日)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月14日(土)	飛騨白川の民家	雑煮販売 91食
桃の節句・雛飾り	2月4日(土)～3月3日(土)	越前敦賀の民家	

(2) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者
アート＆クラフト (竹細工・折り紙ほか)	4月30日(土)、5月1日(日) ・3日(火)・4日(水)	館内広場 飛騨白川の民家 日向椎葉の民家	江頭文雄 他 約40名
昔の遊び体験	5月5日(木)	館内広場	久保田栄 他 約80名
親子たけのこ掘り	4月9日(土)・16日(土)	館内竹林	奥村管理員 56名
こんにゃく作り	4月24日(日)	日向椎葉の民家前広場	大坪 章 他 約50名
土間たたき ワークショップ	8月20日(土)	大和十津川の民家	山城学芸員 15名

紙すき体験	8月27日（土）	飛騨白川の民家	紙すき工房 約30名
親子芋掘り体験	10月15日（土）・16日（日）	日向椎葉の民家前広場	久保田栄 他 36名
餅つき体験	2月5日（土）・6日（日）	日向椎葉の民家前広場	佐藤文夫 他 約100名
コマ遊び	4月2日～7月2日、 9月3日～12月3日、 2月18日～3月24日 の各土曜日 計34回	日向椎葉の民家前広場	川島正雄 他 各回20名 約700名
石臼体験	4月10日～6月26日の第二・ 四日曜日、9月11日～12月 11日・1月22日～3月25日 の各日曜日 計30回	石臼コーナー	西野誠一 他 各回10名 約300名
わらざうり作り	6月5日（日）・19日（日）、 10月23日～11月13日・3 月4日～25日の各日曜日 計10回	南部の曲家	山本捷子 他 各回5名 約50名
はたおり体験	11月19日（土）～23日（水） 計4回	南部の曲家	かるがも広場 約40名

（３）展示民家を活用しての催し

民家を会場として音楽、古典芸能、茶会、昔話などの催しをおこなった。

あわせて、民家を貸部屋として市民の文化活動団体に提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

a. 市民オープンイベント

① フォークコンサート

内 容 フォークソング愛好会「バガボンズ」による演奏会。

実施日 4月17日（日）

場 所 「日向椎葉の民家」

② みんなで歌おう

内 容 「みんかーず」による童謡・唱歌を中心とした歌声コンサート。

実施日 5月3日（火・祝）

場 所 「大和十津川の民家」

③ 弦楽四重奏と打楽器演奏

内 容 大阪センチュリー交響楽団有志による演奏会。

実施日 5月5日（木・祝）

場 所 「日向椎葉の民家」

④ オカリナとギター演奏

内 容 「S. O. P」によるオカリナとギターのコラボ演奏。

実施日 5月7日（土）

場 所 「日向椎葉の民家」

⑤ むかし話を聞きましょう

内 容 「豊中子ども文庫」による日本の昔話の語りと紙芝居。

実施日 6月12日(日)・11月19日(土)・3月20日(火・祝)

場 所 「大和十津川の民家」「飛騨白川の民家」

⑥ 宮澤賢治の世界

内 容 「でくの工房」による宮澤賢治作品の朗読と映像鑑賞。

実施日 7月9日(土)・10日(日)

場 所 「南部の曲家」

⑦ みんな怪談話

内 容 「雲の会」による昔から伝わる怪談の朗読。

実施日 7月23日(土)

場 所 「日向椎葉の民家」

⑧ 宮澤賢治の童話がたり

内 容 「岩手県大阪事務所」による童話語りとチェロ演奏。

実施日 9月19日(月・祝)

場 所 「南部の曲家」

⑨ 落語で笑うて民家

内 容 「大阪百楽の会」による落語会。

実施日 10月29日(土)

場 所 「日向椎葉の民家」

⑩ 箏の演奏会

内 容 川島正子・柳友紀子氏による春をテーマにした箏の演奏。

実施日 3月20日(火・祝)

場 所 「大和十津川の民家」

b. みんな伝統文化体験教室発表会

① 親子茶道教室 お手前披露会

内 容 「親子茶道教室」参加者によるお茶会。

実施日 3月18日(日)

場 所 「北河内の茶室」

c. 貸部屋提供

118件(施設利用料収入894,000円)の利用があった。

(4) 特別企画事業

a. 第4回「日本民家集落博物館まつり」

内 容 親しめる博物館としてPRするため、民家のふるさと物産展、体験コーナー、しの笛演奏、ミュージックカフェ、模擬店、府立2博物館による「出かける博物館」等を実施。当日は終日荒天の為、中止せざるをえないイベントもあり、入館者は例年に比べ減少した。

《当日入館者数430名》

実施日 11月19日(土)

b. 第3回「観月会」

内 容 中秋の名月を民家で観賞して貰うため、午後6時から夜間開館し、月見団子・民家のお茶の賞味、虫の声・雅楽観賞、月のお話など実施。《当日参加者 159 名、内招待 20 名》

実施日 9月13日（火）

場 所 「日向椎葉の民家」「飛騨白川の民家」

c. 民家ツアー「小豆島農村歌舞伎と四国村を訪ねて」

内 容 小豆島農村歌舞伎の鑑賞及び農村歌舞伎舞台や四国村を見学するツアーを当館の学芸員が同行して実施した。

期 間 10月9日（日）～11日（火）

3 普及啓発事業

（1）民家解説等の開催

a. 民家解説

内 容 当館の19名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説をおこなった。

期 間 通年（開館日毎日）

b. 民家特別公開

内 容 安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

期 間 通年（毎週火曜日午後）

場 所 「飛騨白川の民家」二階、「北河内の茶室」

（2）囲炉裏体験

内 容 44名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスをおこなうとともに、民家の燻蒸に努めた。

期 間 通年（開館日毎日）

場 所 「飛騨白川の民家」「日向椎葉の民家」「摂津能勢の民家」「信濃秋山の民家」「南部の曲家」「越前敦賀の民家」

（3）古民家再生協会との連携

内 容 古民家再生協会に協力し、建築コーディネーター養成プログラム「古民家ツアー」の見学を受け入れた。

実施日 8月28日（日）・11月20日（日）《各回20人参加》

（4）連続講座

企画展「岩手県南部地方の民家と暮らし」に関連して、「南部の曲家」の建築様式、岩手県（旧南部藩）の風土や民俗について考察する連続講座を開催した。

a. 第一回「日本の民家とまつり」

講 師：杉本尚次（国立民族学博物館名誉教授）

開催日：11月19日（土）

b. 第二回「岩手の自然」

講 師：湯本貴和（総合地球環境学研究所教授）

開催日：1月15日（日）

（５）企画展関連イベント「岩手県 早池峰（はやちね）神楽」

内 容 企画展「岩手県南部地方の民家と暮らし２」に関連し、「南部の曲家」の郷土に伝わる「早池峰神楽」（国指定重要無形民俗文化財／ユネスコ無形遺産登録）の公演をおこなった。

公演両日ともに雨天にもかかわらず、各回約 100 名の観覧者があった。

※初日のみ「南部の曲家の話」（瀬川修／岩手県立博物館学芸員）

開催日 11月5日（土）～6日（日）

場 所 「南部の曲家」

観覧者 約 300 名

4 学校教育連携事業

（１）大学博物館実習

内 容 奈良大学通信教育部の博物館実習生を受け入れ、博物館学芸員の実務について指導した。

期 間 7月30日（土）・31日（日）

受入人数 49 名

（２）中学生の職場体験学習

内 容 豊中市立第 17 中学校 2 年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

期 間 11月9日（水）～11日（金）

受入人数 2 名

（３）こども囲碁クラブ

内 容 小学生を対象に「大和十津川の民家」を会場として開催し、ボランティア 12 名が指導にあたった。

期 間 4月9日（土）～3月31日（土） 第一週を除く土曜日 計 38 回実施

生徒数 40 名

（４）みんな伝統文化体験教室

内 容 文化庁地域伝統文化総合活性化事業として、近隣の小学校親子を対象に「親子茶道・書道教室」を開催。

期 間 10月9日（日）～3月18日（日） 毎月 2 回計 12 回実施

参加数 各教室 10 組 20 名

（５）小学校の体験学習

内 容 小学 3 年生社会科「昔の暮らし」・4 年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習メニューを開発し試行した。

試行日 2月28日（火）

受 入 豊中市立緑地小学校 3 年生 97 名

(6) みんな子ども絵画教室

内 容 小学生を対象に、絵画を通じてより民家や囲炉裏に親しみと興味を深めてもらう目的で実施した。

期 間 12月10日(土)～3月24日(土) 毎月3回計12回実施

参加数 15名

5 ボランティア受入活動事業

ボランティアを公募し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。今年度は、7名が新規に活動を開始した。

6 施設整備事業

(1) 土間たたき保存修理工事(朝日新聞文化財団文化財保護助成事業)

内 容 文化財の保護及び見学者の安全面から土間補修を実施した。

期 間 8月17日(水)～30日(火)

対 象 「大和十津川の民家」「越前敦賀の民家」

(2) 危険高木の伐採

内 容 民家の屋根等に悪影響を及ぼす高木の伐採・剪定をおこなった。

実施日 5月16日(月)休館日に実施

対 象 「北河内の茶室」「南部の曲家」周辺

(3) 施設案内表示板の刷新

内 容 館内26箇所にある老朽化した案内表示板を撤去し、英語表示を付加した木製案内表示板を設置して、外国人を含む来館者サービスをさせた。

実施期間 3月13日(火)～3月30日(金)

7 広報事業

(1) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項 目	発 行 月	部 数
秋の催し案内(9月～12月)	8月	10,000部
冬の催し案内(1月～3月)	12月	10,000部
春・夏の催し案内(4月～8月)	3月	10,000部

（２）インターネットによる広報

財団法人大阪府文化財センターホームページや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時図り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

（３）ＤＶＤ・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のＤＶＤ・ビデオの視聴コーナーを設けた。

また、学校等にＤＶＤ・ビデオの貸出をおこない広報に努めた。

（４）諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・ＦＭラジオ、ミニコミ紙、北大阪急行電鉄、緑地公園管理事務所等と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

（５）資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗（上・下巻）」を頒布した。（実績：民家の案内 187 冊、民俗 8 冊）

また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

８ 資料収集・研究事業

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集をおこなった。

9 入館者数及び入館料収入一覧表

月	入館者数 (人)	入館料収入 (税込み・円)	開館日数(日)
4月	5,559	1,956,400	26
5月	4,840	1,317,900	26
6月	1,855	550,000	26
7月	1,522	399,050	27
8月	1,168	278,850	26
9月	2,194	625,800	24
10月	4,218	1,083,450	26
11月	4,440	1,223,150	26
12月	1,606	392,700	22
1月	1,825	376,700	24
2月	2,401	497,750	25
3月	2,877	810,000	27
合 計	34,505	9,511,750	305

<年度比較>

	入館者数 (人)	入館料収入 (税込み・円)	開館日数(日)
平成 22 年度	39,781	11,523,990	306
平成 21 年度	40,730	11,840,900	300
平成 20 年度	42,408	12,468,790	305

事務所一覽



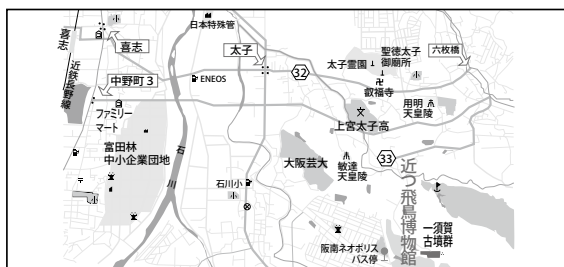
本部事務所 〒590-0105 堺市南区竹城台 3 丁 21-4
TEL.072-299-8791 FAX.072-299-8905
南部調査事務所 TEL.072-284-2233 FAX.072-284-2234



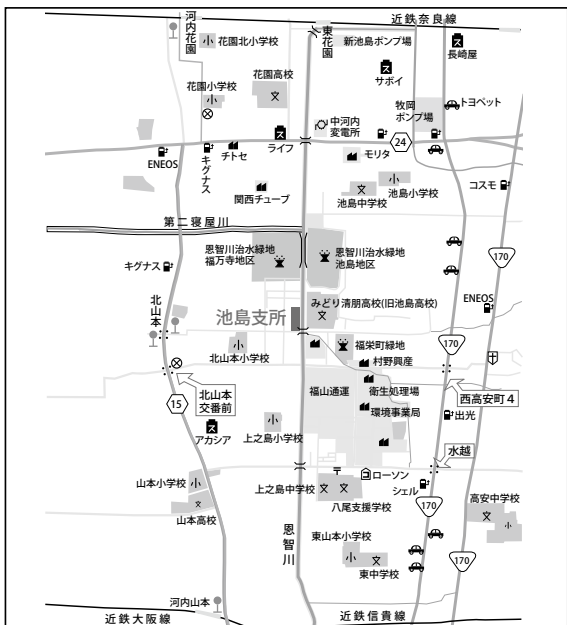
 大阪府立弥生文化博物館
〒594-0083 和泉市池上町4丁目8-27
TEL.0725-46-2162(代) FAX.0725-46-2165
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



中部調査事務所 〒577-0012 東大阪市長田東1丁目9-16
TEL.06-6785-3921 FAX.06-6785-3515
資料室 TEL.06-6785-4531 FAX.06-6785-5431




アスカディア・古墳の森
大阪府立 近つ飛鳥博物館
 〒585-0001 南河内郡河南町大字東山299
 TEL.0721-93-8321 (代) FAX.0721-93-8325
<http://www.chikatsu-asuka.jp/>



池島支所 〒581-0842 八尾市福万寺町8丁目地先
TEL.072-999-9890 FAX.072-990-5131




 むかしのおうちのはくぶつかん
日本民家集落博物館
 〒561-0873 豊中市服部緑地 1-2
 TEL.06-6862-3137 (代) FAX.06-6862-3147
<http://www.occh.or.jp/minka/>

公益財団法人 大阪府文化財センター
年 報

平成 23 年度

発行日 平成 25 年 3 月 22 日 発行
発 行 公益財団法人大阪府文化財センター
〒 590-0105 大阪府堺市南区竹城台 3 丁 21 番 4 号
TEL. 072-299-8791 FAX. 072-299-8905
印 刷 株式会社 近畿印刷センター

